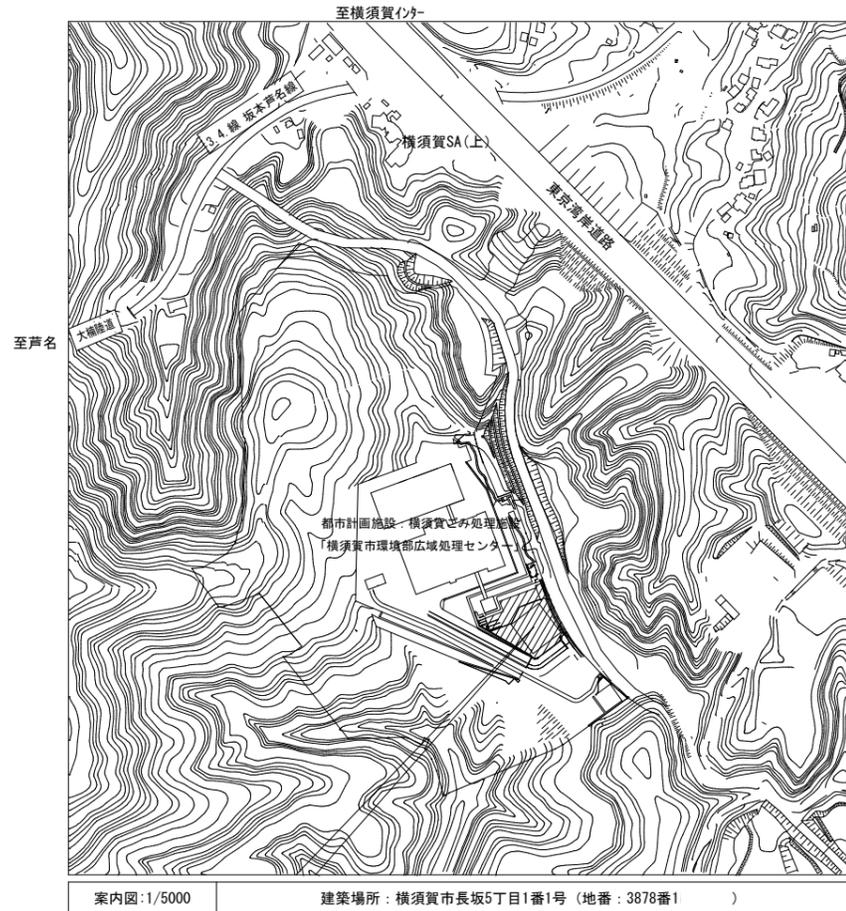


(仮称) 防災備蓄基地新築工事

図面リスト

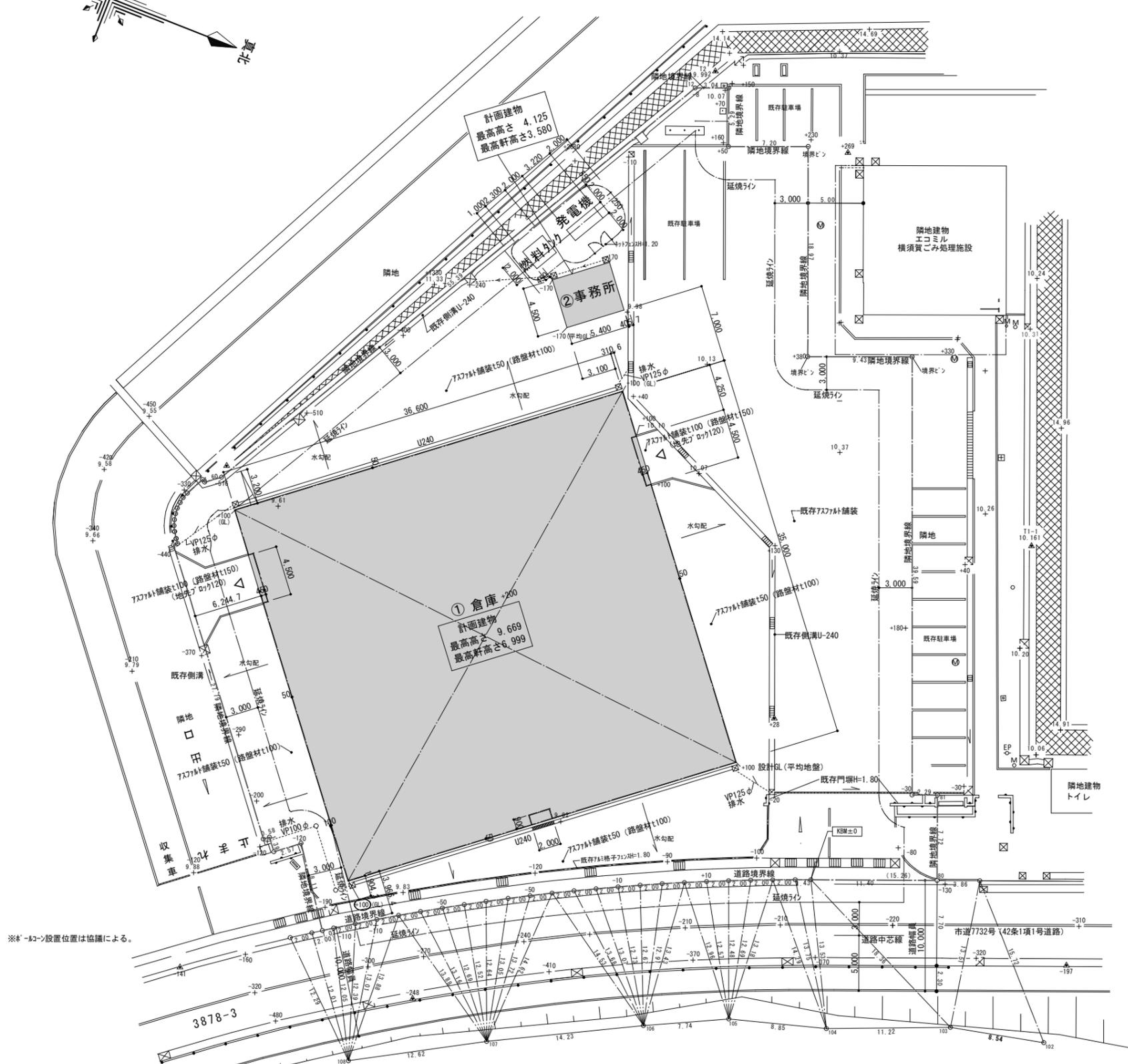
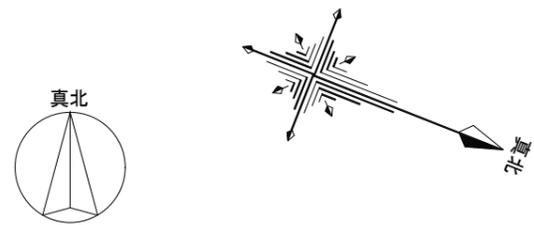
意匠図			構造図			電気設備図			機械設備図		
図番		縮尺	図番		縮尺	図番		縮尺	図番		縮尺
A-00	図面リスト	NS	S-01	構造特記仕様書 (倉庫棟)	NS	E-01	案内図・特記仕様書	1/5000	M-01	機械設備 特記仕様書	NS
A-01	案内図・配置図・工事概要・仕上表・法ヱック	1/300(A2)	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) (倉庫棟)	NS	E-02	配置図	1/400	M-02	工事区分表・凡例・集水樹リスト	NS
A-02	平面図・立面図・建築概要・仕上表・建具表 (倉庫棟)	1/200(A2)	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) (倉庫棟)	NS	E-03	幹線、弱電系統図	NS	M-03	配置図	1/300(A2)
A-03	立面図・断面図 (倉庫棟)	1/200(A2)	S-04	鉄骨構造標準図 (倉庫棟)	NS	E-04	分電盤結線図(1)	NS	M-04	換気設備 機器表・換気計算票	NS
A-04	屋根伏図・天井伏図 (倉庫棟)	1/200(A2)	S-05	膜工事特記仕様書 (倉庫棟)	NS	E-05	分電盤結線図(2)	NS	M-05	換気設備 倉庫棟・事務所棟 平面図・断面図	1/200(A2)
A-05	矩計図 (倉庫棟)	1/40(A2)	S-06	膜納まり詳細図 (倉庫棟)	NS	E-06	発電機、特記仕様書	NS			
A-06	平面図・立面図・断面図・矩計図 (事務所棟)	1/50 1/100 (A2)	S-07	基礎伏図、基礎断面詳細図 (倉庫棟)	1/150(A2)	E-07	動力設備、倉庫平面図	NS			
A-07	建築概要・建具表 (事務所棟)	1/10(A2)	S-08	各部詳細図、柱脚詳細図 (倉庫棟)	1/10(A2)	E-08	照明器具設備	NS			
A-08	パレットラック/逆ネス配置図	1/200(A2)	S-09	小屋伏図、部材リスト (倉庫棟)	1/150(A2)	E-09	電灯設備、倉庫平面図	1/200			
A-09	パレットラック/逆ネス姿図	1/40(A2)	S-10	断面図、軸組図 (倉庫棟)	1/200(A2)	E-10	電灯設備、事務所平面図	1/50			
A-10	外構図	1/1・1/20 1/50(A2)	S-11	妻面詳細図、継手詳細図(1) (倉庫棟)	1/10, 1/50(A2)	E-11	非常照明設備、倉庫平面図	1/200			
A-11	測量図・求積表	1/250(A2)	S-12	継手詳細図(2) (倉庫棟)	1/10, 1/15(A2)	E-12	弱電設備、倉庫平面図	1/200			
A-12	縦横断面図	縦1/100 横1/250(A2)	S-13	庇 詳細図 (倉庫棟)	1/10, 1/30(A2)	E-13	火災報知設備系統図・凡例	NS			
A-13	仮設計計画図-1 (参考)	1/300(A2)	S-14	ベンチレーター詳細図 (倉庫棟)	1/3, 5, 20(A2)	E-14	火災報知設備、倉庫平面図	1/50(A2)			
A-14	仮設計計画図-2 (参考)	1/200(A2)	S-15	妻面ウエザーカバー (倉庫棟)	1/3, 1/15(A2)						
			S-16	断面ウエザーカバー詳細図 (倉庫棟)	1/3, 1/15(A2)						
			S-17	SD-1 スチール片開き扉詳細図 (倉庫棟)	1/5, 1/15(A2)						
			S-18	SD-2 スチール片開き扉詳細図 (倉庫棟)	1/5, 1/15(A2)						
			S-19	シャッター部分詳細図 (倉庫棟)	1/15(A2)						
			S-20	構造標準仕様書 (事務所棟)	NS						
			S-21	基礎伏図・基礎リスト (事務所棟)	1/100 1/30 (A2)						
			S-22	R階梁伏図・軸組図 (事務所棟)	1/100(A2)						
			S-23	部材リスト・架構詳細図 (事務所棟)	1/15, 1/40(A2)						

竣工 図 令和8年1月	保 管 承 認 書 作 成	訂 正	特 記	課長 主査等 担当者	図 面 内 容 縮 尺	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 図面リスト N, S (A2)	図 面 番 号 A - 00 投 入 区 分



案内図: 1/5000 建築場所: 横須賀市長坂5丁目1番1号 (地番: 3878番1)

工事概要	
工事場所	横須賀市長坂5丁目1番1号 (地番: 長坂5丁目3878番1の一部)
用途地域	市街化調整地域 (C地区) ・許容最高高さH=10.00m
防火地域	指定なし
その他の地域	近郊緑地保全全区域・風致地区第4種
日影規制	階数3以上又軒高さH=7.000m超 5.0M: 3H・10M: 2H
建蔽率/容積率	40/80%
敷地面積	3533.97㎡
構造・規模	①倉庫棟 ②事務所棟 鉄骨造平屋建
床面積	①倉庫棟 1281.00㎡ ②事務所棟 24.30㎡
延床面積	1305.30㎡ (①倉庫棟1281.00㎡+②事務所棟24.30㎡)
建築面積	1305.30㎡ (①倉庫棟1281.00㎡+②事務所棟24.30㎡)
最高高さ	9.699m(倉庫棟) 4.125m(事務所棟)
軒高さ	6.999m(倉庫棟) 3.580m(事務所棟)

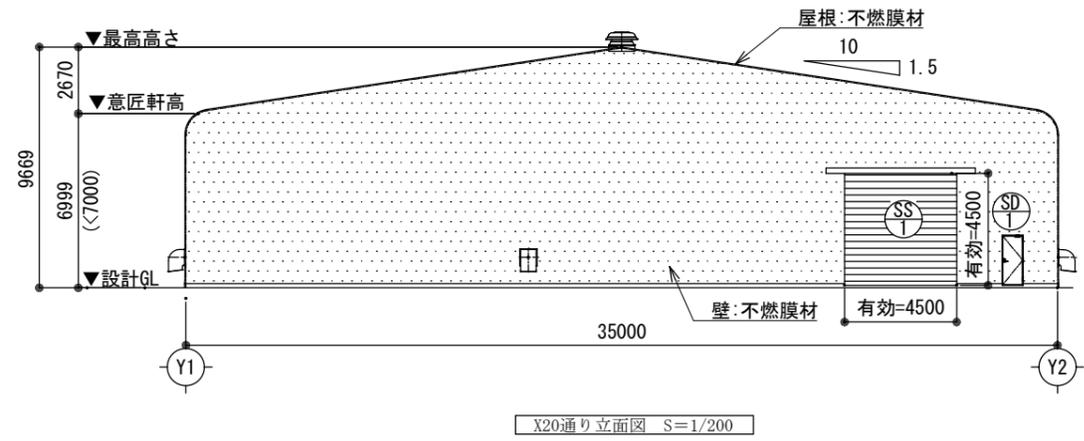
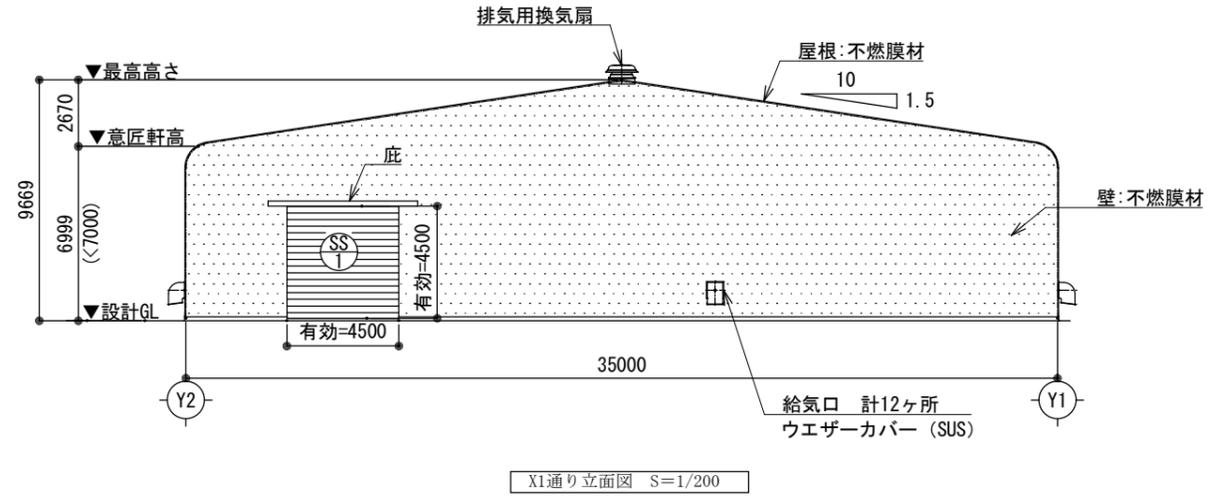
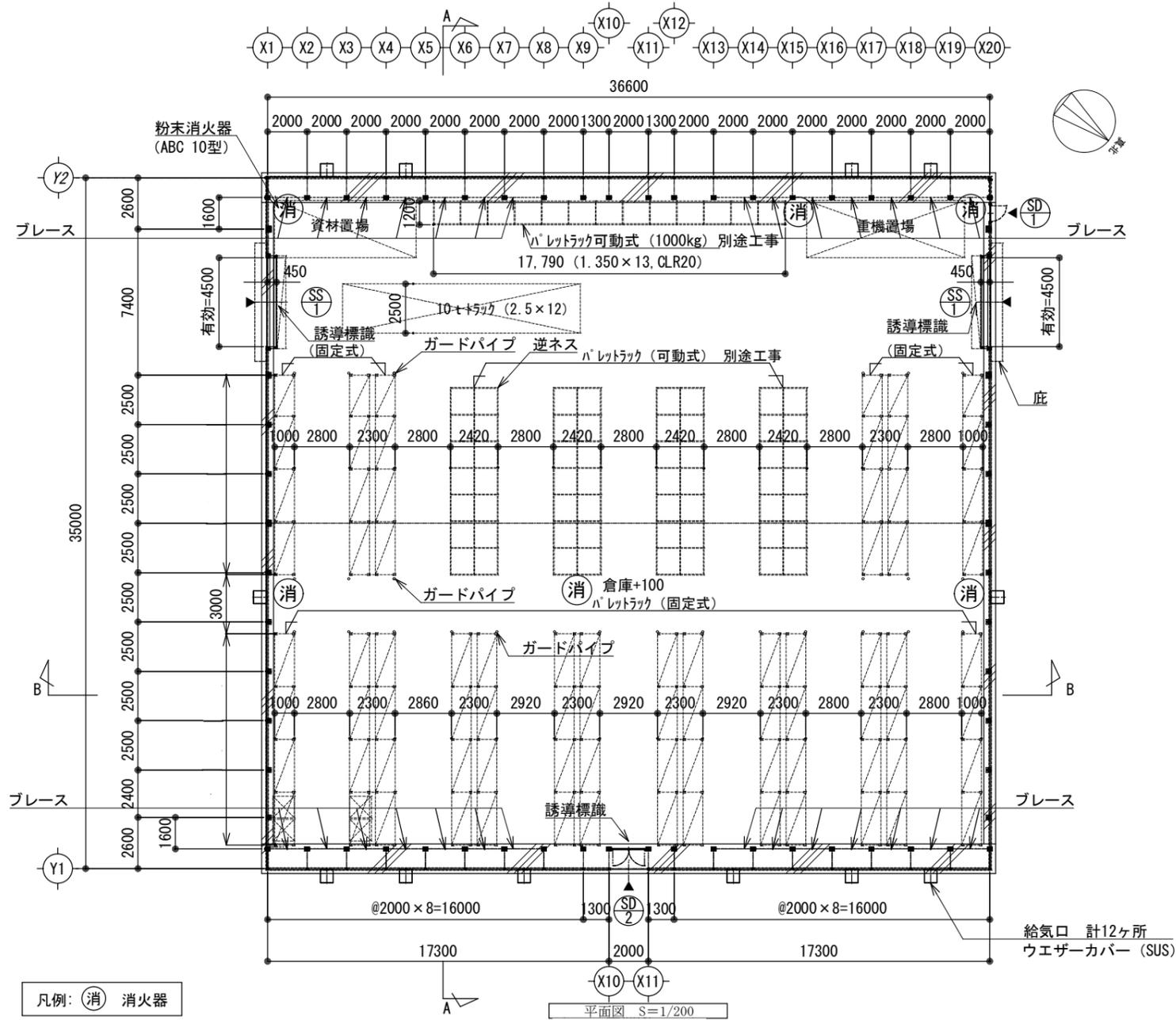


※* -カーン設置位置は協議による。

配置図S=1/300

敷地境界線を示す
 特記事項
 KBM+100 設計GL(平均地盤)を示す
 ※敷地境界点は境界ピンの設置
 境界線は塀等は設置しない

竣工 図 令和8年1月	設計 監理 確認 作成	訂正 訂正 訂正 訂正	特記 特記 特記 特記	課長 主査等 担当者	図面 番号 A-01
	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 配置図・案内図・工事概要				図 内 番号 A-01
	S=1/300 1/5000 (A2)				図 内 番号 A-01



凡例: (消) 消火器

平面図 S=1/200

建築概要 建築面積: 35m × 36.6m = 1281㎡ 延床面積: 35m × 36.6m = 1281㎡ 最高軒高: 6.999 (<7.000)m 最高高さ: 9.669m 用途: 倉庫業を営まない倉庫 ※居室利用・車庫利用・危険物貯蔵は行なわない。	[求積図]
---	-----------

消防法の有窓階の判定 必要開口面積: 1281㎡ / 30 = 42.70㎡ 有効開口面積 [電動シャッター]: 4.5 × 4.5 × 2カ所 + 1.7 × 2.0 × 1カ所 = 43.90㎡ 判定: 43.90㎡ > 42.70㎡ ・ OK 有窓階
--

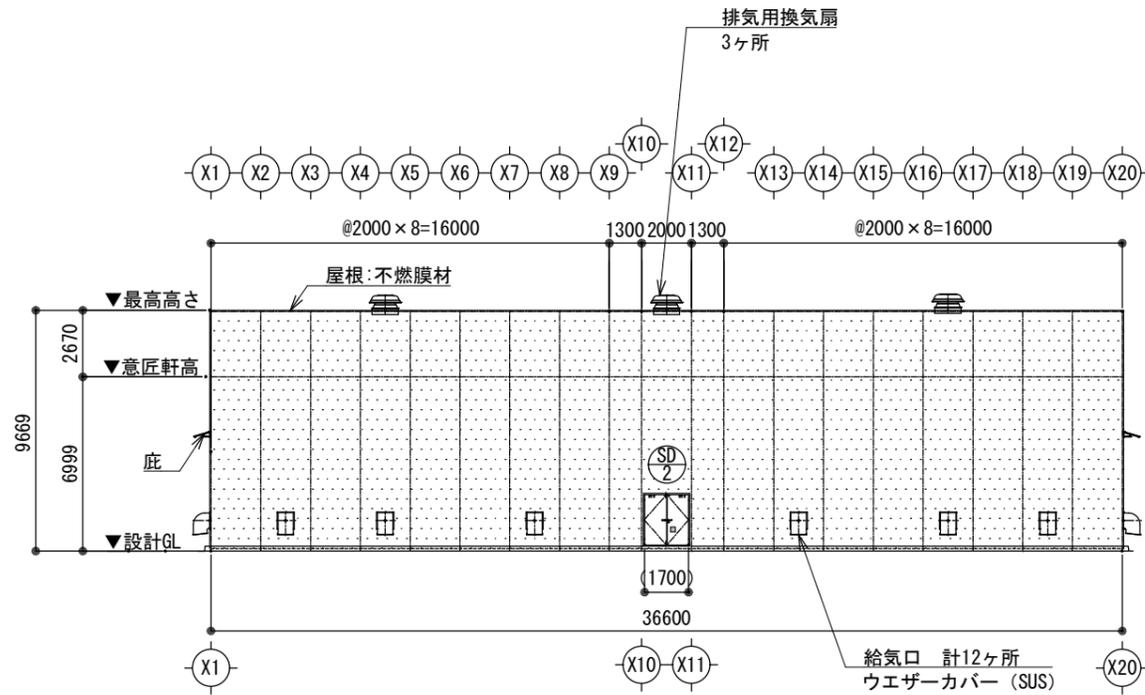
消防設備 誘導標識・消火器具 (粉末消火器: ABC 10型) ・ 自動火災報知設備 ※消火器具・自動火災報知設備は別途
--

備考 ※法37条に準拠した指定建築材料を使用する ※アスベストを含んだ材料を使用しない ※使用材料は全てF☆☆☆☆または規制対象外の材料とする、
--

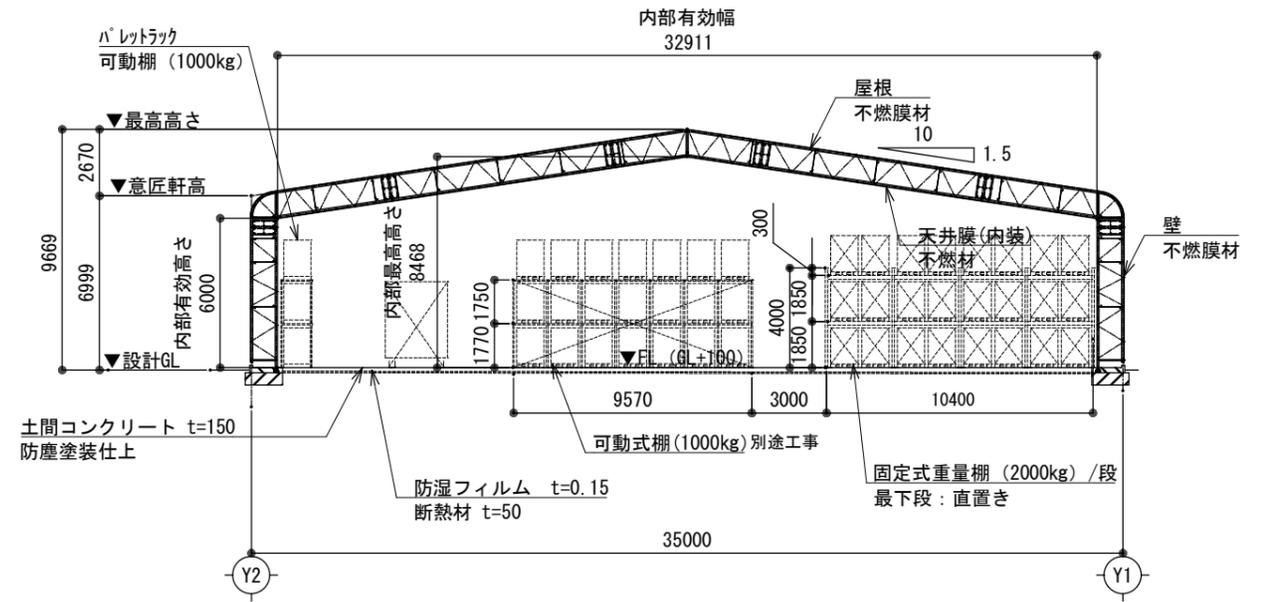
構造・仕上げ		
構造	鉄骨造	
仕上げ	鉄部	溶融亜鉛めっき (JIS規格)
	基礎	鉄筋コンクリート (JIS規格)
	床	土間コンクリート (JIS規格) t=150 防塵塗装仕上
	屋根	不燃膜材 (ヒット100) 材料: MEM-9017 色: アイボリー 防火: NM-5063
	壁	不燃膜材 (ヒット100) 材料: MEM-9017 色: アイボリー 防火: NM-5063
	内 膜	□無し ■有り 不燃材 (天井のみ)
換気扇	底	□無し ■有り 不燃膜材 (ヒット100) 色: アイボリー
	換気扇	□無し ■有り (φ600 / 3台)
照明	仕 様	■強制換気 □自然換気 □単相 100V / ■3相 200V
ウエザーカバー	□無し ■有り (12 台) 600 × 600 (SUS)	
設計条件	平成14年国交省告示第666号による骨組膜構造建築物 基準風速: Vo = 36 m/sec 粗度区分: III 垂直積雪量: d = 30 cm 地耐力: 長期 30 kN/m ² 以上、短期 60 kN/m ² 以上	

建具表 (SS) 電動シャッター 表面X1, X20通り 	建具表 (SD) スチール製片開きドア 表面X20通り 	建具表 (SD) スチール製両開きドア 桁面Y1通り
数量 2	数量 1	数量 1
型式 ブロードシャッター	型式 片開きドア (右)	型式 両開きドア
材質 スチール	材質 スチール	材質 スチール
仕上 カラー鋼板 0.8t	仕上 塗装仕上	仕上 塗装仕上
三方枠 L=450焼付塗装t=1.6	ガラス -	ガラス -
ガラス -	金物 取手・ドアクローザー	金物 取手・ドアクローザー
金物 付帯金物一式	金物 取手・ドアクローザー	金物 取手・ドアクローザー
その他 水圧解放装置付き	その他 サムターン錠 (室内側)	その他 水圧解放装置付き

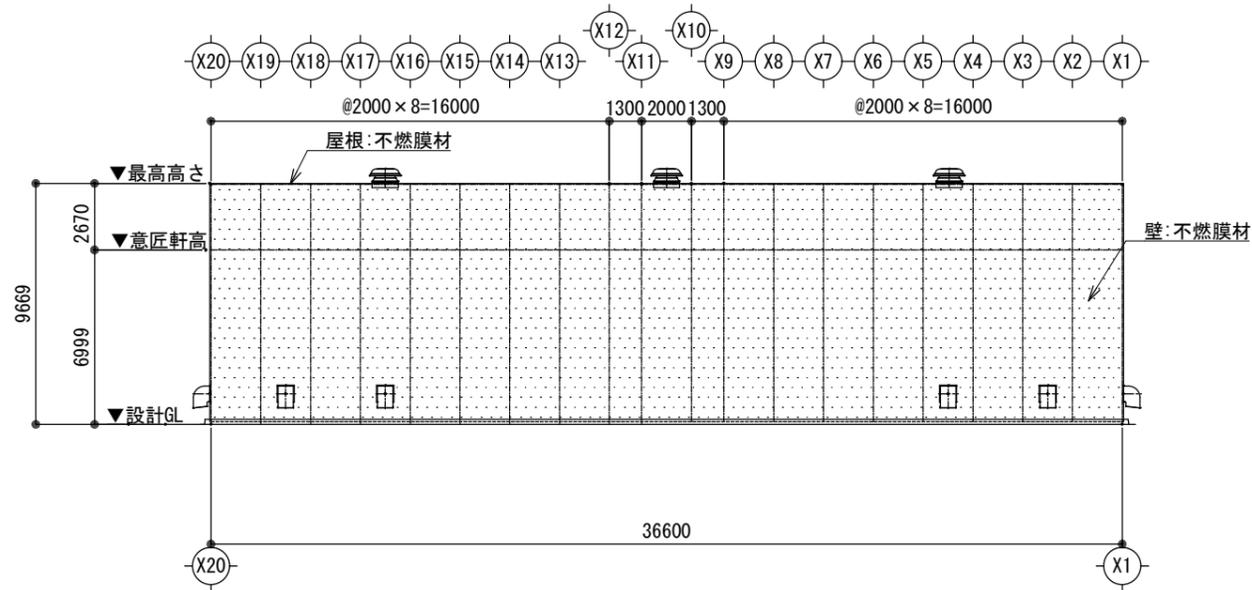
図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 平面図・立面図・建築概要・仕上表・建具表 縮尺 S=1/200 (A2)	課長 _____ 主査等 _____ 担当者 _____	図面番号 A-02 校区内 区分
--	------------------------------------	---------------------------



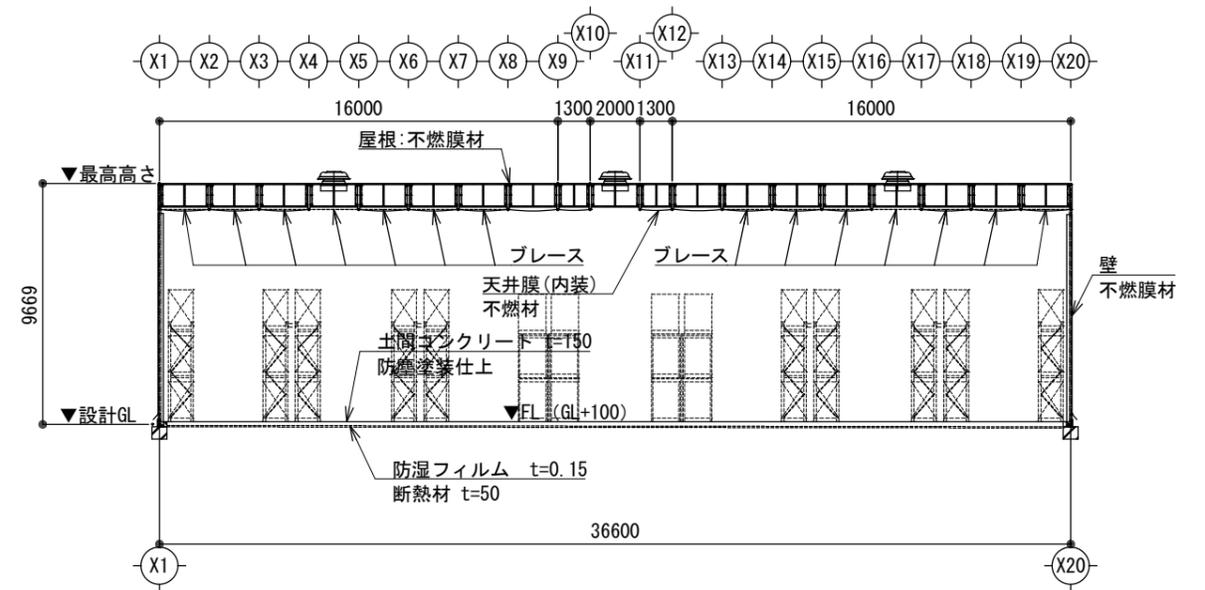
Y1 通り立面図 S=1/200



A-A 断面図 S=1/200

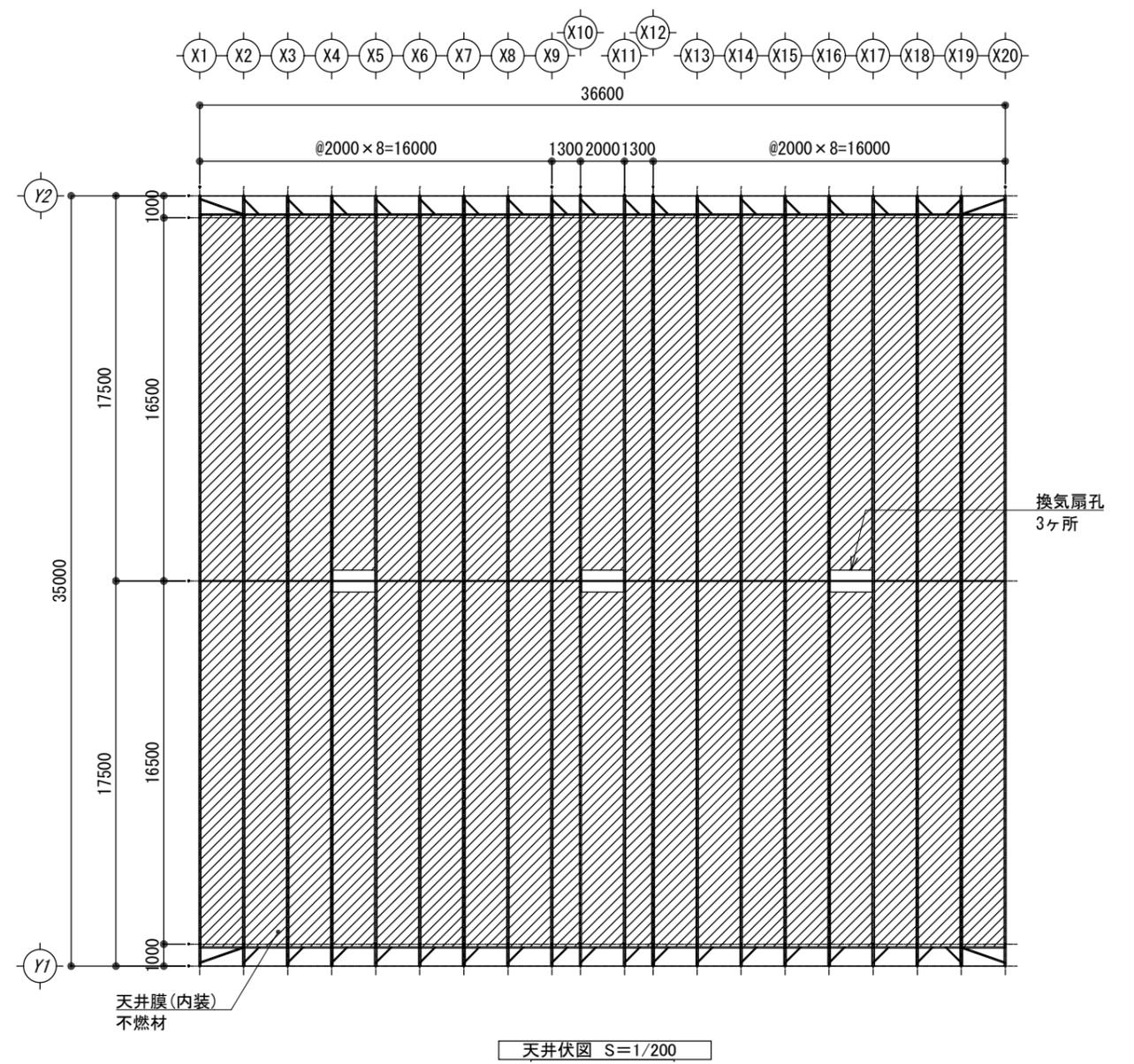
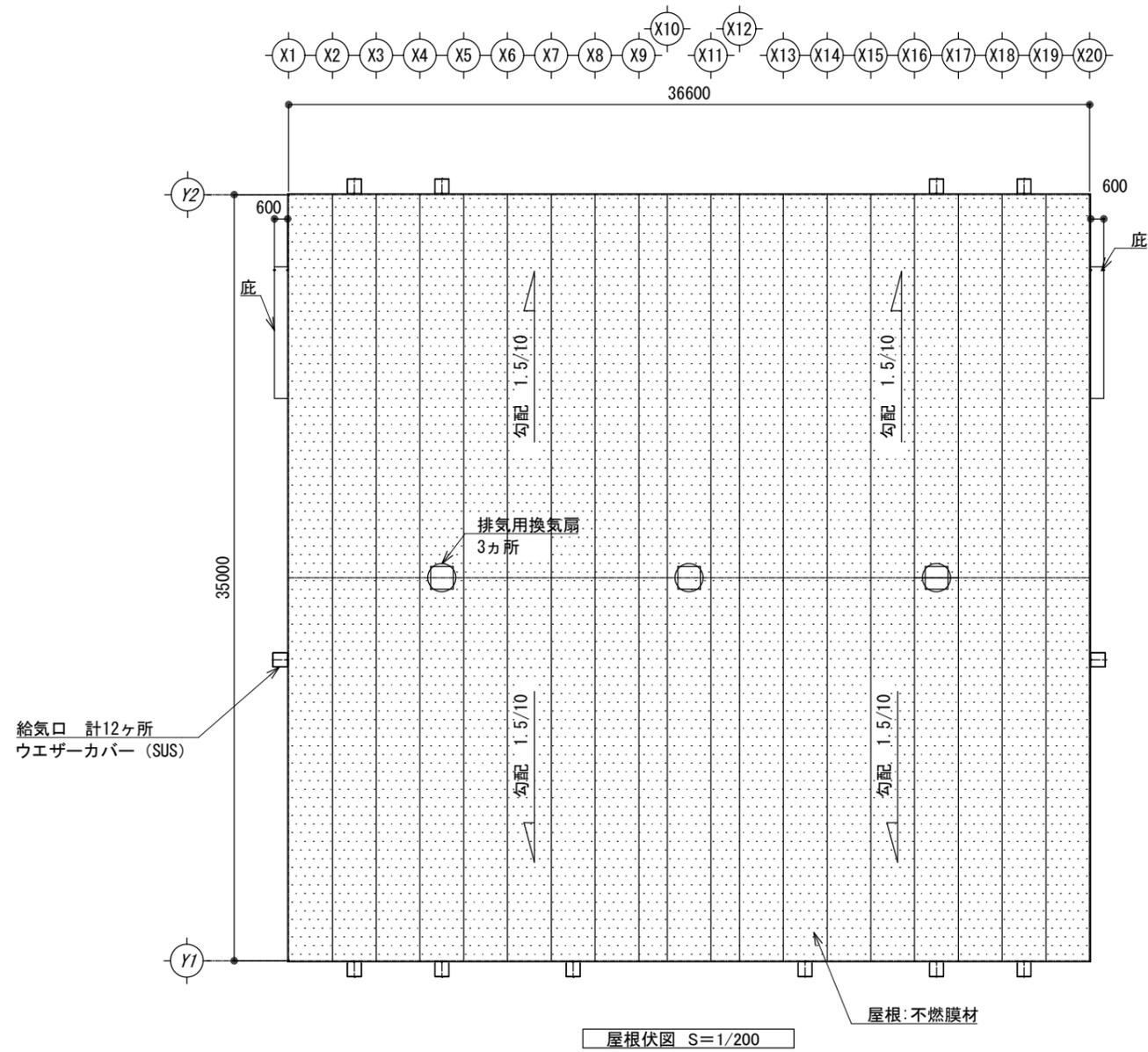


Y2 通り立面図 S=1/200

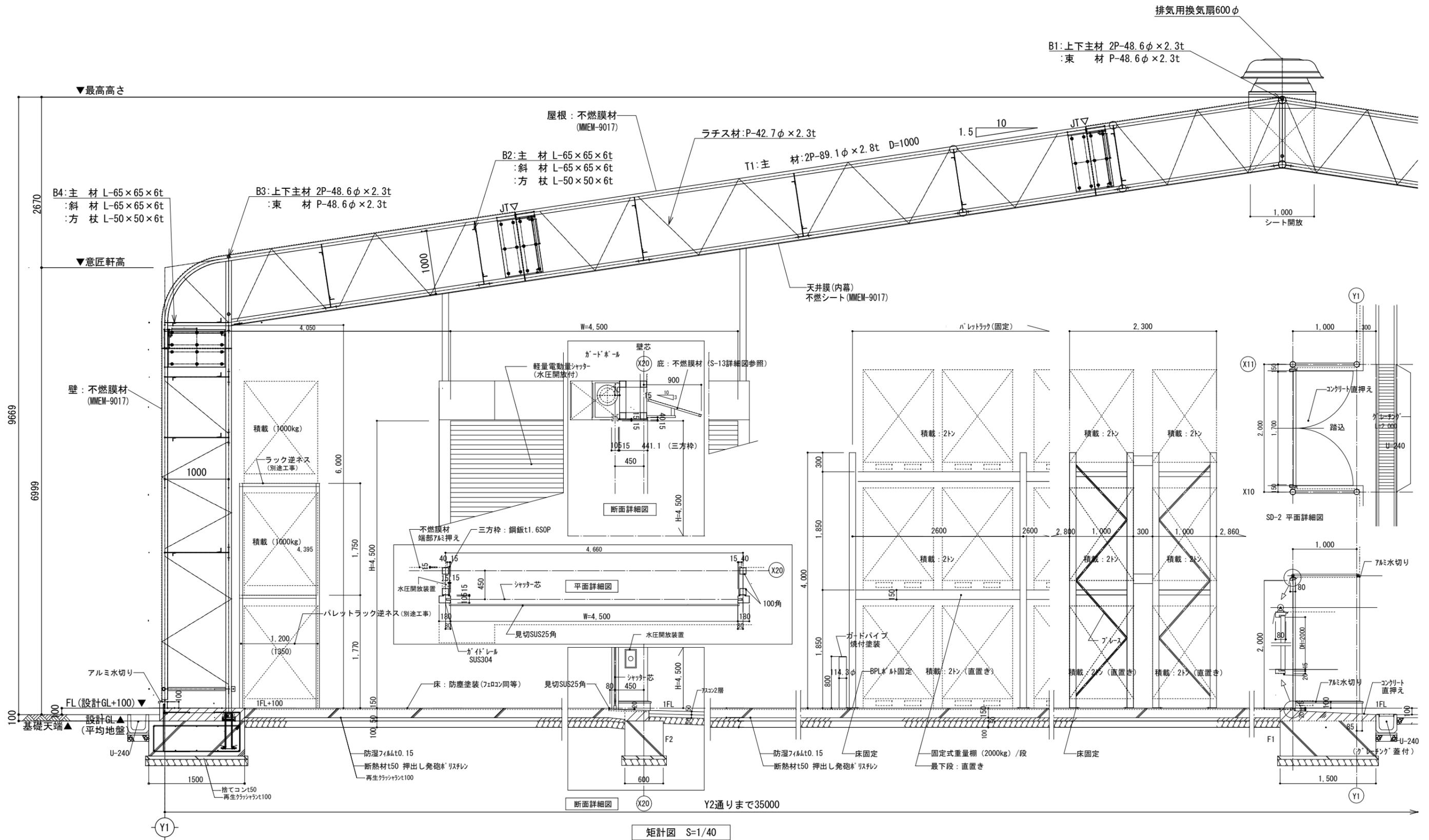


B-B 断面図 S=1/200

竣工 令和8年1月	保管 / . . . 承認 / . . . 確認 / . . . 作成 / . . .	訂正 _____ _____ _____ _____	特記 _____ _____ _____ _____	課長 _____	主査等 _____	担当者 _____	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 立面図・断面図(倉庫棟)	図面番号 A-03
	縮尺 S=1/200 (A2)							校区内 区分

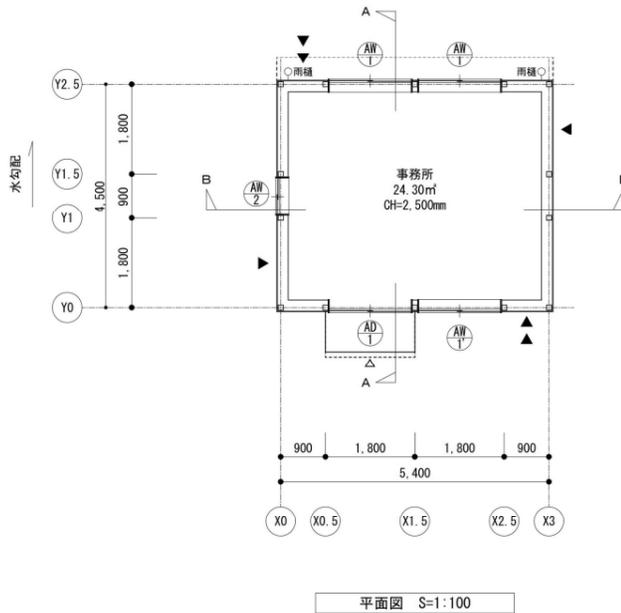
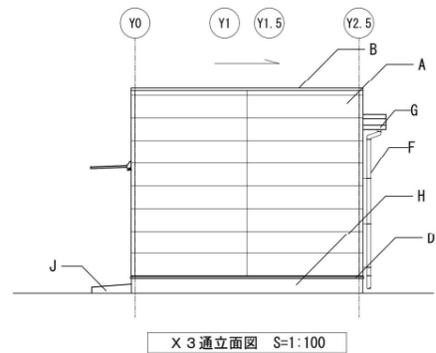
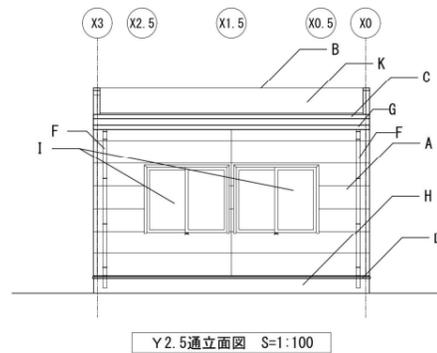
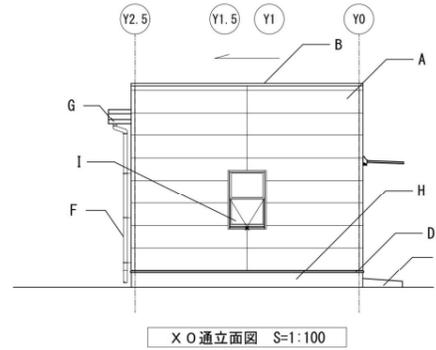
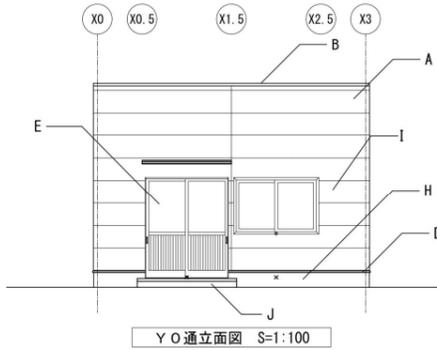


竣工 令和8年1月	保管 / . . . 承認 / . . . 確認 / . . . 作成 / . . .	訂正 _____ _____ _____ _____	_____ _____ _____ _____	特記 _____ _____ _____ _____	課長 _____	主査等 _____	担当者 _____	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 屋根伏図・天井伏図(倉庫棟)	図面番号 A-04
	縮尺 S=1/200 (A2)								棟内区分



矩計図 S=1/40

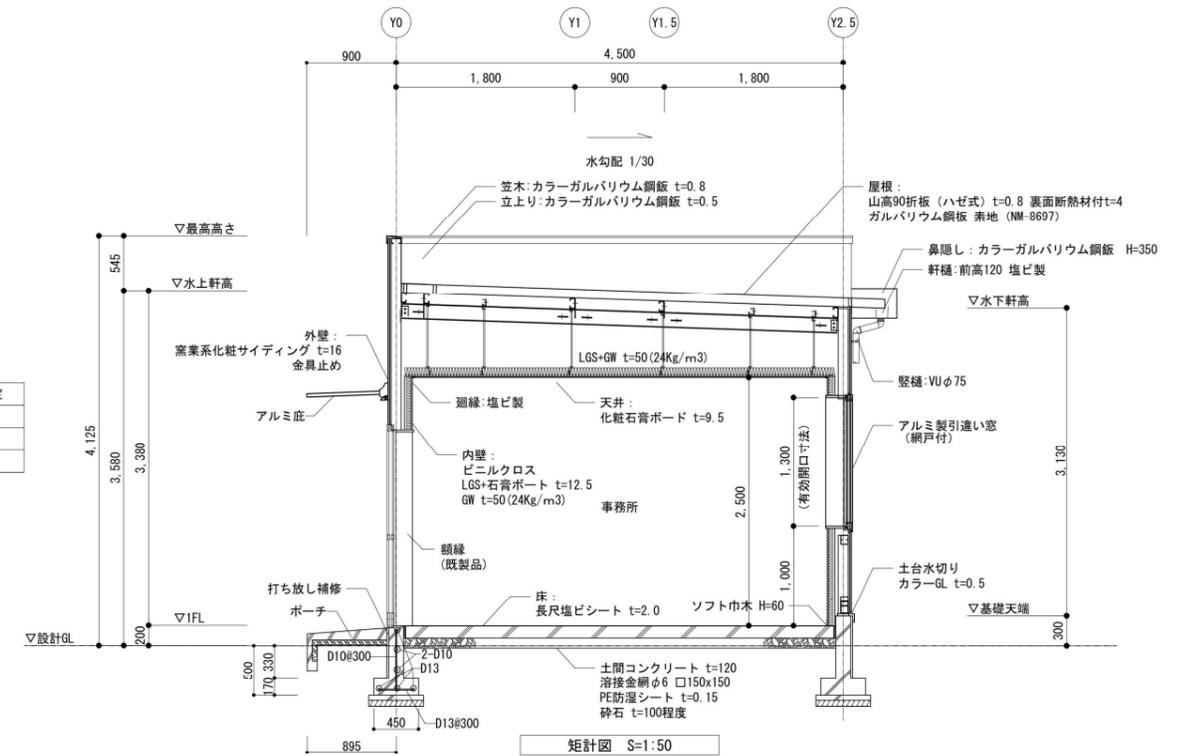
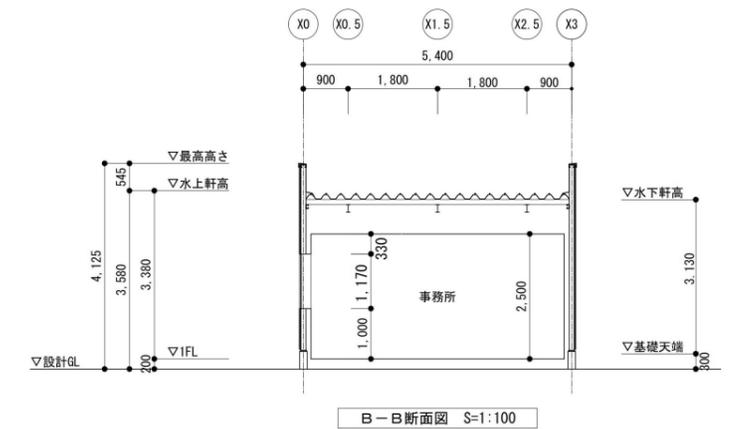
竣工 令和8年1月	保 修 期 1年 作 成	訂			課長 主査等 担当者	図 面 内 容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 矩計図(倉庫棟) 縮尺 S=1/40(A2)	図 面 番 号 A-05
		正					



居室名・面積 (㎡)	項目	必要面積	計算式	判定
事務所 24.30	採光	1/20 1.215	AW1×2 1.65x1.3x2 =4.29 AW1'×1 1.65x1.1x1 =1.815 計6.105	OK
	換気	1/20 1.215	AW1×2 (0.825×1.3)×2=2.145 AW1'×1 1.65x1.1x1 =1.815 計3.96	OK
	排煙	1/50 0.486	AW1×2 (0.825×0.6)×2=0.99 AW1'×1 (0.825×0.33)×1=0.27 計1.26	OK

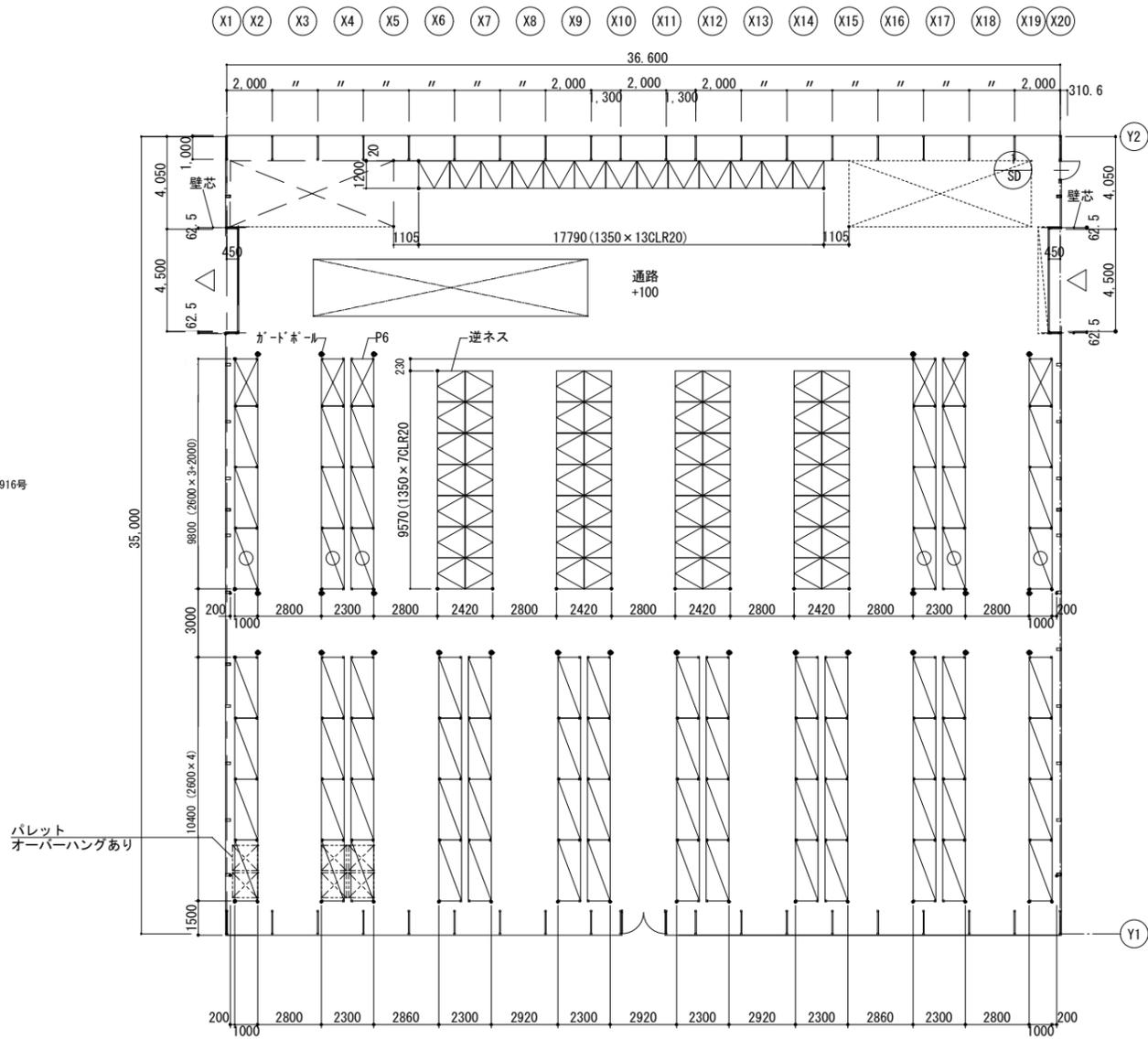
記号	仕上げ
A	外壁：窯業系化粧サイディングt=16 (金具止め) 横張り
B	笠木：カラーガルバリウム鋼板 t=0.8
C	屋根：山高90折板 (ハゼ式) t=0.8 裏面断熱材付t=4 ガルバリウム鋼板 素地 (NM-8697)
D	水切：カラーガルバリウム鋼板 t=0.5
E	アルミ製引き違い戸 (硝子網入り)
F	壁紙：φ75 塩ビ製 (VU)
G	鼻隠し：カラーガルバリウム鋼板 H=350
H	布基礎：コンクリート打ち放し補修
I	アルミ樹脂複合窓 (複層)
J	ポーチ：W1800×D800 コンクリート金鍍仕上げ
K	立ち上がり：カラーガルバリウム鋼板 t=0.5

※使用材料は全てF☆☆☆☆または規制対象外の材料とする、
※使用材料はアスベストを含んだ材料を使用しない



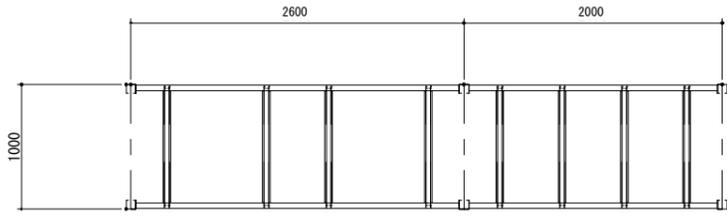
令和8年1月 竣工 竣工 竣工 竣工	訂正 訂正 訂正 訂正	特記 特記 特記 特記	課長	主査等	担当者	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 平面図・立面図・断面図・矩計図 (事務所棟) 縮尺 S=1/50 1/100 (A2)	図面番 A-06 図内 区分

一級建築士大臣登録 第246916号
 股張 梧

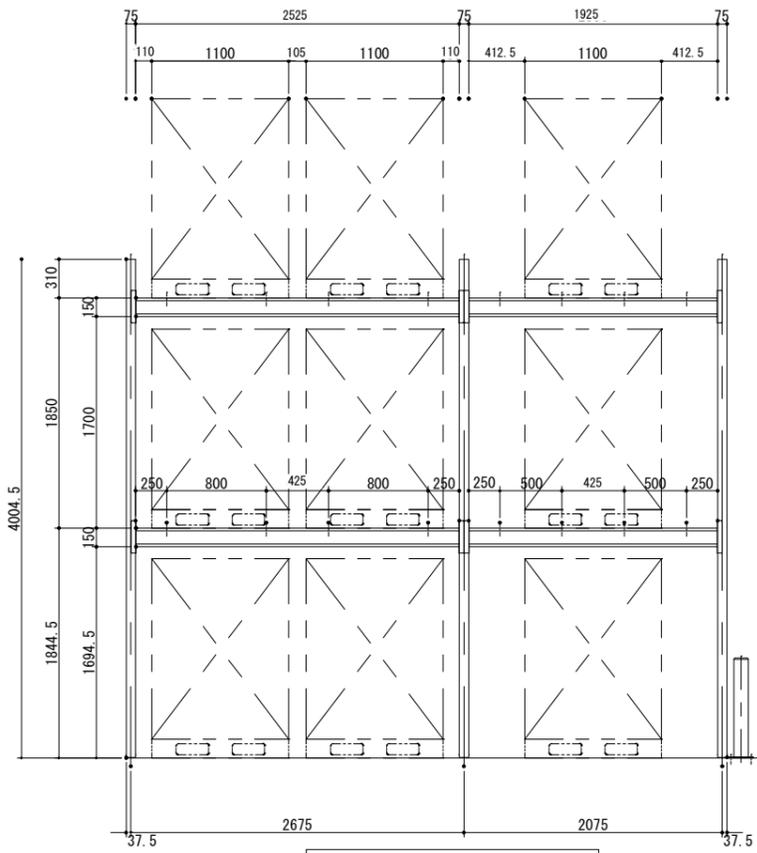


パレットラック/逆ネス配置図S=1/200

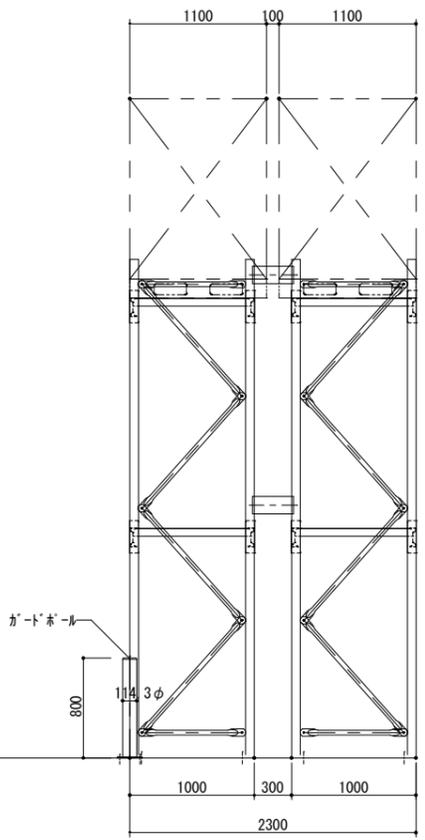
構 造 図	竣工 図	保 管 /	訂 正	特 記	課 長	主 査 等	担 当 者	図 面 内 容	図 面 番 号 A-08
	保 管 /	訂 正	特 記	課 長	主 査 等	担 当 者	図 面 内 容		
製 図 日 期	製 図 者	製 図 内 容	製 図 日 期						
令和8年1月								パレットラック/逆ネス配置図	製 図 日 期
								1/200 (A2)	製 図 日 期



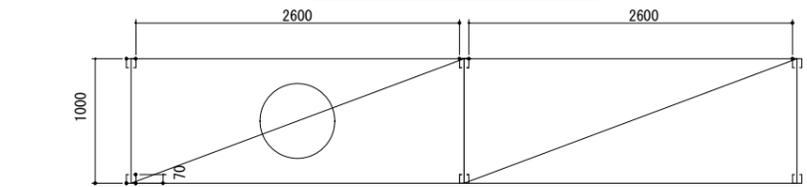
伏図 S=1/40



パレットラック姿図 S=1/40



側面姿図 S=1/40



伏図 S=1/40

パレットラック仕様

規模

高さ	有効間口	奥行	段数		増設		備考
			ビーム有効	基本	連結	増設	
4004.5	2525	1000	2	3	20	54	-
	1925				0	0	-

最大積載量 : 2000kg/段 ※等分布荷重

収納物寸法 : W1100×D1100× (パレットを含む) kg/PL

収容数 : 462PL ※想定

段ピッチ : 50mm

サブビーム : 4本/段 高耐食性めっき鋼板

塗色 : F-50オイスターホワイト(本体、サブビーム・筋かいを除く)

: 58イエローレッド(ガードポール)

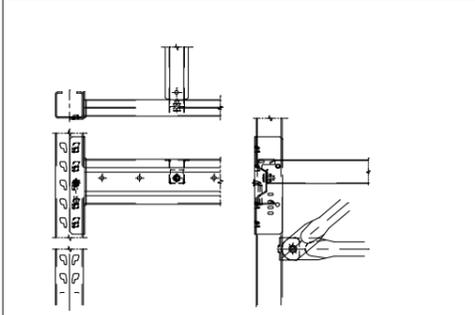
付属品 : 支柱つなぎ300(2ヶ/柱)

: ガードポール(1)

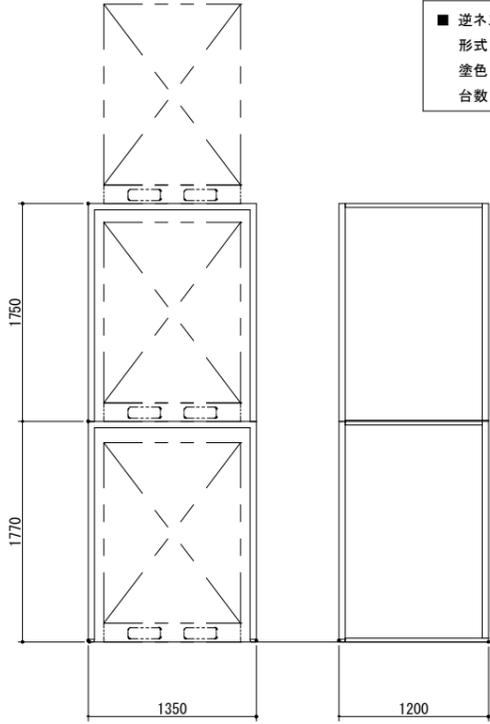
その他 : 床固定あり(アンカーC-1270)

設計深度係数 : k=0.1

設計温度帯 : 常温



部分詳細図



逆ネステナー姿図 S=1/40 別途工事

■ 逆ネス仕様
形式 : NRP377L
塗色 : 赤色
台数 : 138台 (2台/カ所)

竣工 検査 承認 作成 令和8年1月	設計 監理 監工 監査 監造	主任 技師 技師 技師 技師	主任 技師 技師 技師 技師	特記	課長	主査等	担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 パレットラック/逆ネス姿図 縮尺 1/40 (A2)	図面番号 A-09 校ノ内 区分

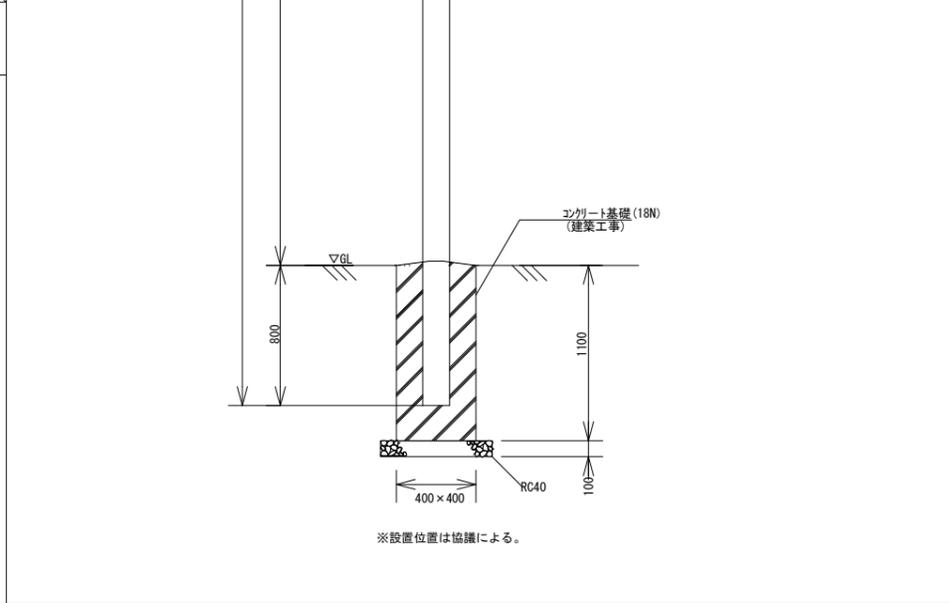
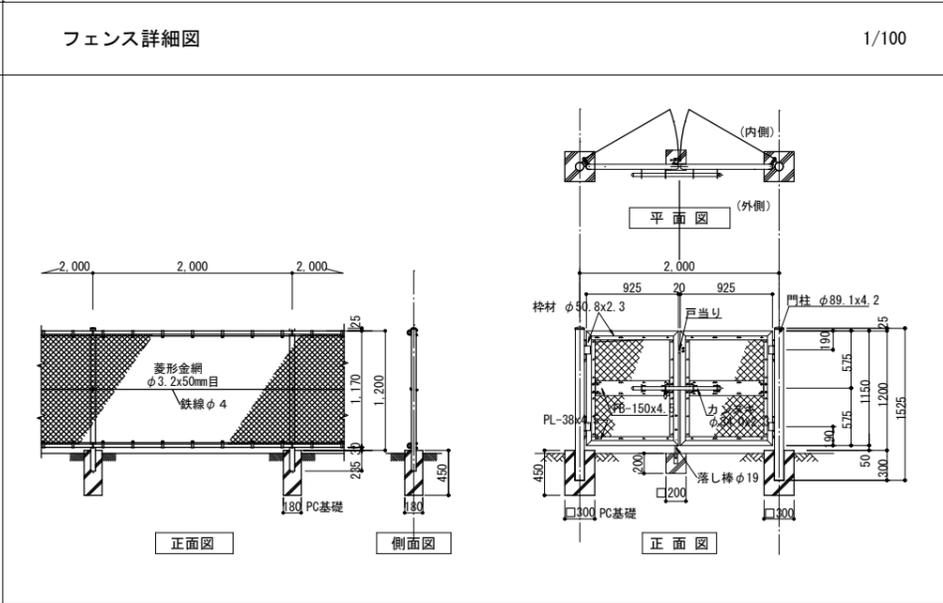
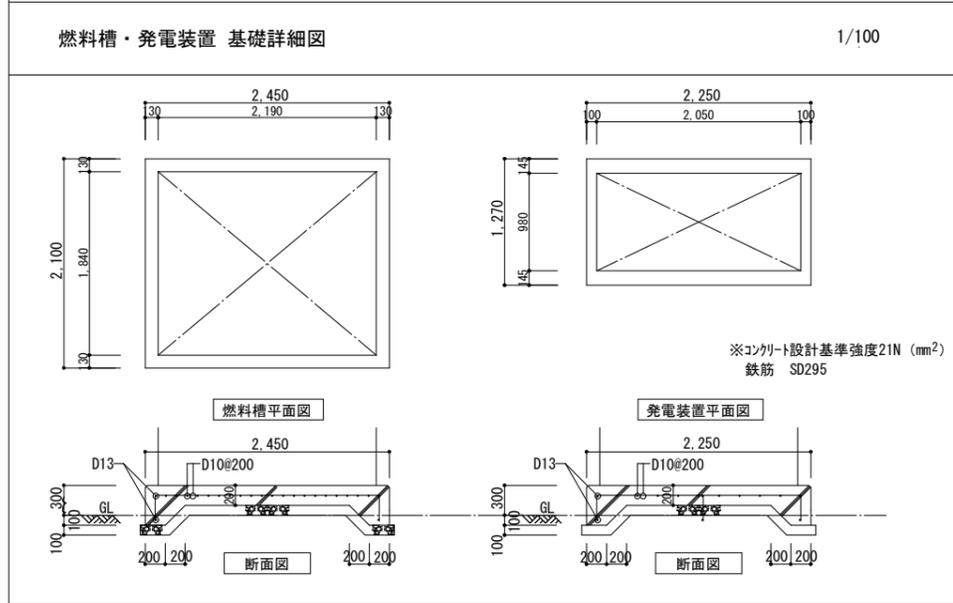
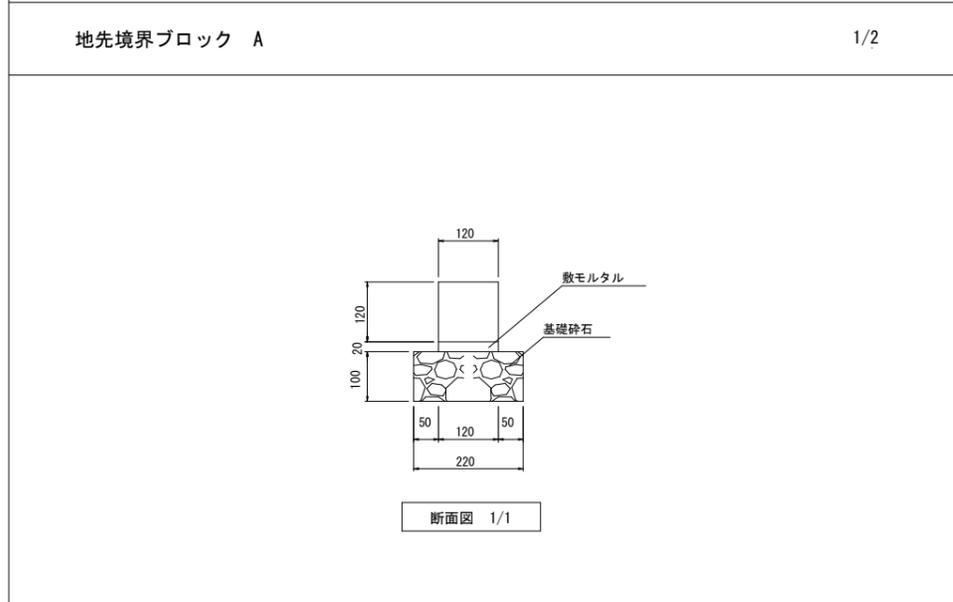
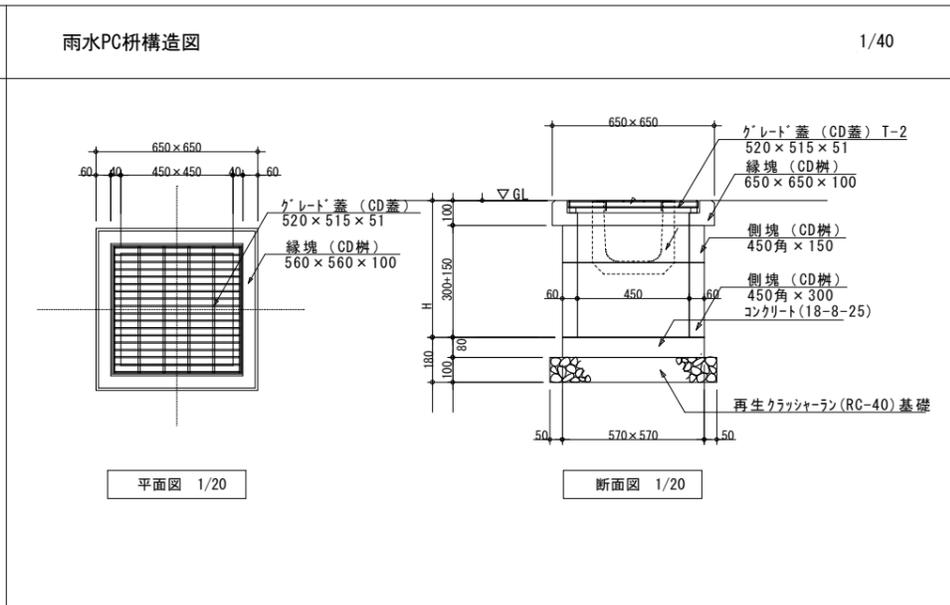
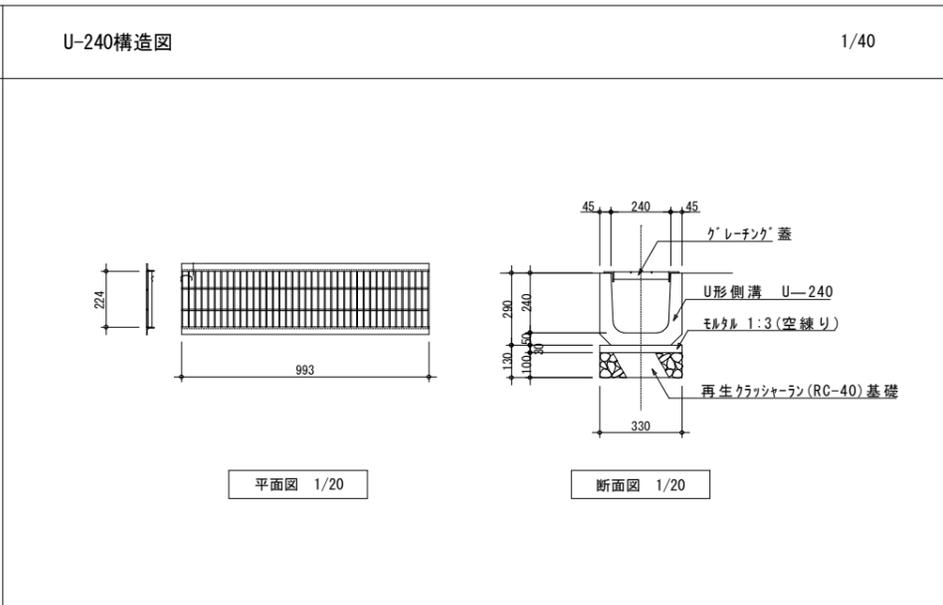
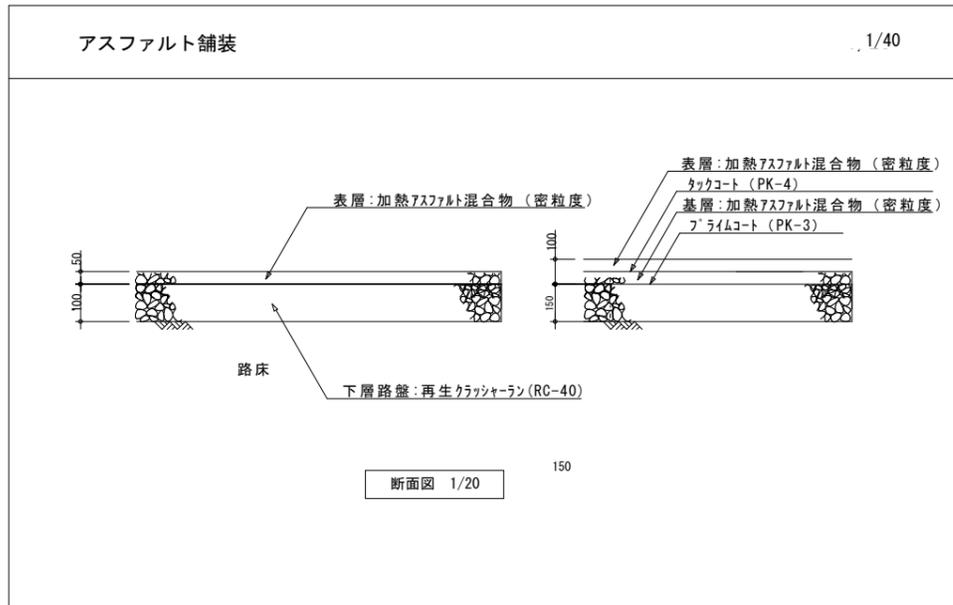
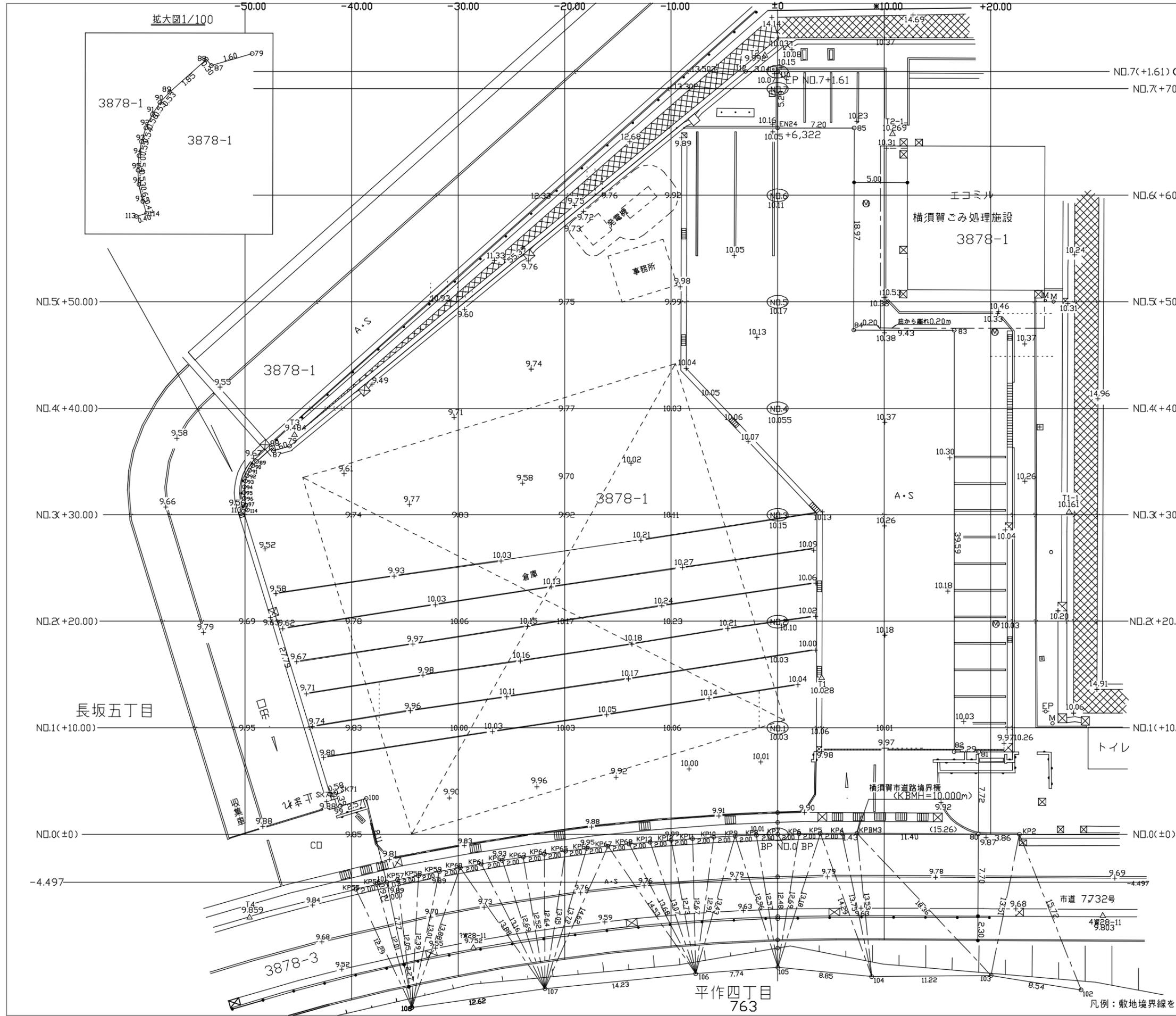


図 番 号 令和8年1月	竣工 図 章 部 門 課 長 主 査 等 担 当 者	訂 正	特 記	課 長	主 査 等	担 当 者	図 面 内 容	(仮称)防災備蓄基地新築工事	図 面 番 号 A-10
		図 面 番 号	外構図				図 面 番 号 A-10		
							縮 尺	S=1/1・1/20・1/50 (A2)	枚 内 区 分

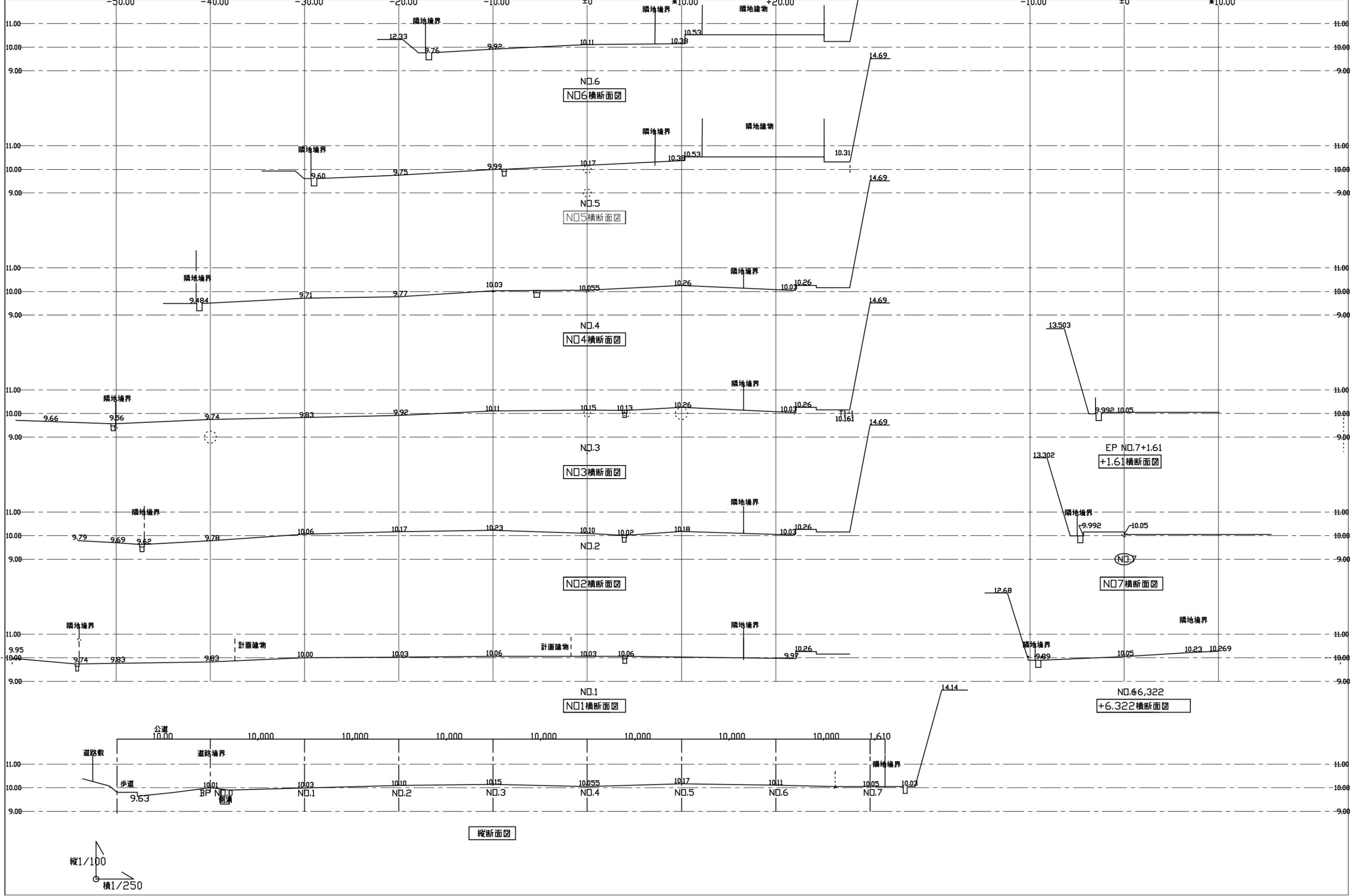


求積表

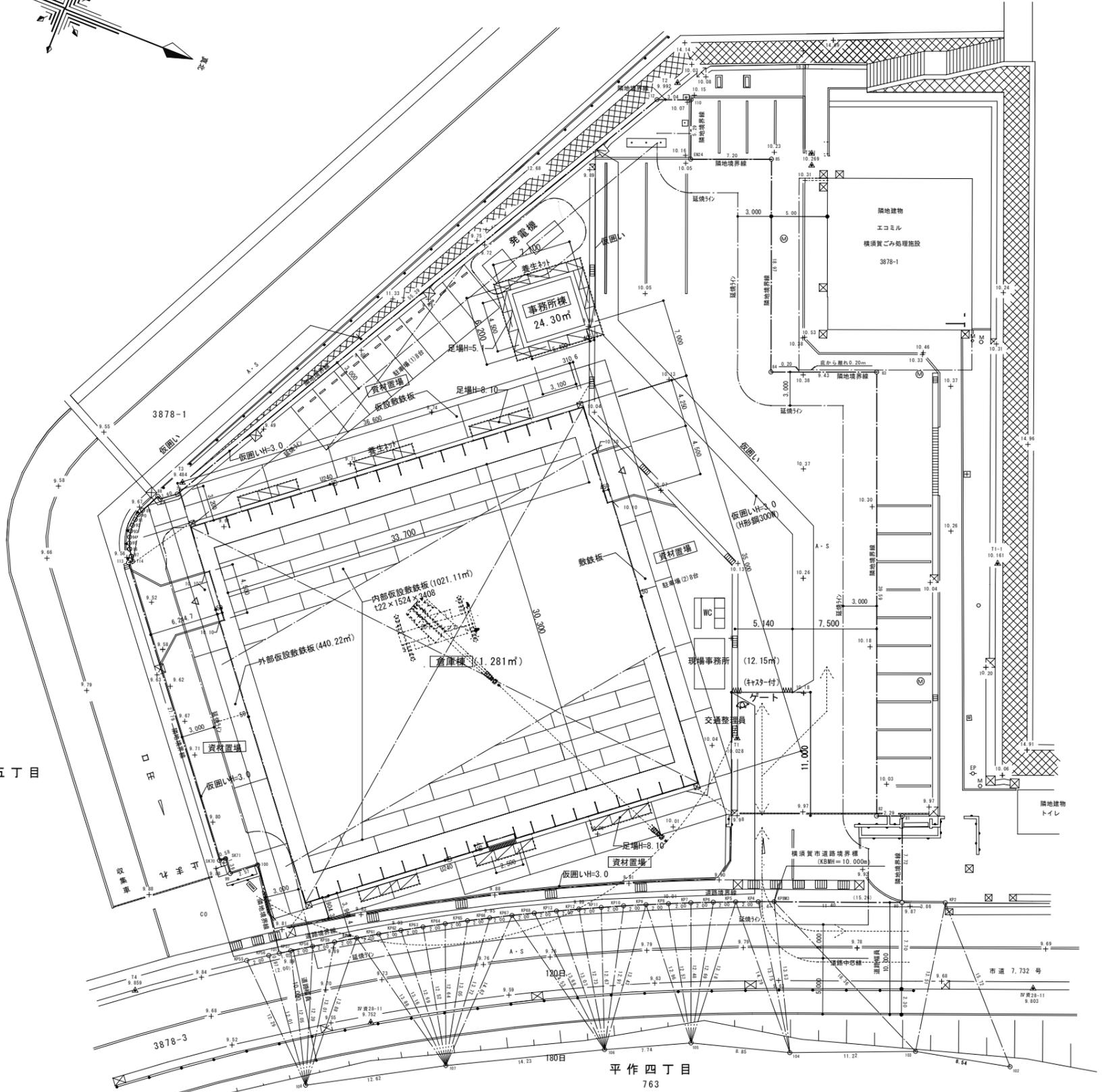
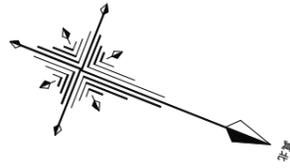
地番	3878-1			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn-(Yn+1-Yn-1)
80	-83320.987	-17510.325	-11.304	941860.4370
81	-83323.796	-17517.515	-6.354	529439.3998
82	-83325.924	-17516.679	-35.984	2998400.0492
83	-83340.461	-17553.499	-33.372	2781237.8645
84	-83349.237	-17550.051	-14.216	1184892.7532
85	-83356.167	-17567.715	-15.022	1252176.3407
EN24	-83362.862	-17565.073	-2.286	190567.5025
110	-83364.781	-17570.001	-3.826	318953.6521
112	-83367.612	-17568.899	49.528	-4129031.0871
79	-83394.509	-17520.473	49.404	-4120022.3226
87	-83395.771	-17519.495	0.834	-69552.0730
88	-83396.036	-17519.639	1.506	-125594.4302
89	-83396.866	-17517.989	2.144	-178802.8807
90	-83397.059	-17517.495	1.018	-84898.2061
91	-83397.157	-17516.971	1.079	-89985.5324
92	-83397.202	-17516.416	1.092	-91069.7446
93	-83397.164	-17515.879	1.075	-89651.9513
94	-83397.060	-17515.341	1.054	-87900.5012
95	-83396.892	-17514.825	0.998	-83230.0982
96	-83396.662	-17514.343	1.021	-85147.9919
97	-83396.290	-17513.804	0.906	-75557.0387
114	-83395.997	-17513.437	0.617	-51455.3301
113	-83396.310	-17513.187	21.982	-1833217.6864
SK70	-83378.993	-17491.455	21.370	-1781809.0804
SK71	-83378.541	-17491.817	0.723	-60282.6851
99	-83377.678	-17490.732	-0.524	43689.9033
100	-83375.678	-17492.341	5.009	-417628.7711
101	-83370.993	-17485.723	6.044	-503894.2817
KP57	-83370.132	-17486.297	-1.665	138811.2698
KP58	-83368.455	-17487.388	-2.172	180176.2843
KP59	-83366.772	-17488.469	-2.140	178404.8921
KP60	-83365.078	-17489.528	-2.103	175316.7590
KP61	-83363.370	-17490.572	-2.071	172645.5393
KP62	-83361.653	-17491.599	-2.042	170224.4954
KP63	-83359.931	-17492.614	-2.007	167303.3815
KP64	-83358.193	-17493.606	-1.971	164298.9984
KP65	-83356.447	-17494.585	-1.939	161628.1507
KP66	-83354.695	-17495.545	-1.902	158540.6299
KP67	-83352.924	-17496.487	-1.865	155453.2033
KP68	-83351.149	-17497.410	-1.822	151865.7935
KP13	-83349.376	-17498.309	-1.790	149195.3830
KP12	-83347.584	-17499.200	-1.761	146775.0954
KP11	-83345.785	-17500.070	-1.733	144438.2454
KP10	-83343.977	-17500.933	-1.695	141268.0410
KP9	-83342.156	-17501.765	-1.650	137514.5574
KP8	-83340.328	-17502.583	-1.624	135344.6927
KP7	-83338.496	-17503.389	-1.591	132591.5471
KP6	-83336.655	-17504.174	-1.541	128421.7854
KP5	-83334.808	-17504.930	-1.511	125918.8949
KP4	-83332.941	-17505.685	-1.281	106749.4974
KPB3	-83331.617	-17506.211	-4.640	386658.7029
合計				-7067.9507
合計面積				3533.9753
地積				3533.97 m ²

座標値一覧表

点名	X座標	Y座標
102	-83306.635	-17500.250
103	-83314.990	-17498.424
104	-83325.385	-17494.201
105	-83333.896	-17491.777
106	-83340.856	-17488.390
107	-83353.502	-17481.866
108	-83364.485	-17475.650
4番28-11	-83307.296	-17507.486
4番28-12	-83361.148	-17482.984
11	-83340.048	-17518.548
12	-83366.462	-17570.963
13	-83394.464	-17521.598
14	-83381.752	-17477.904
11-1	-83324.154	-17541.573
12-1	-83352.628	-17568.517



縦断面図 縦1/100 横1/250	訂正	特記	課長 主査等 担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 縦横断面図 縦1/100・横1/250(A2)	図面番号 A-12 枚/内 区分
	令和8年1月	作成	図面内容 縦横断面図 縦1/100・横1/250(A2)	図面番号 A-12 枚/内 区分	

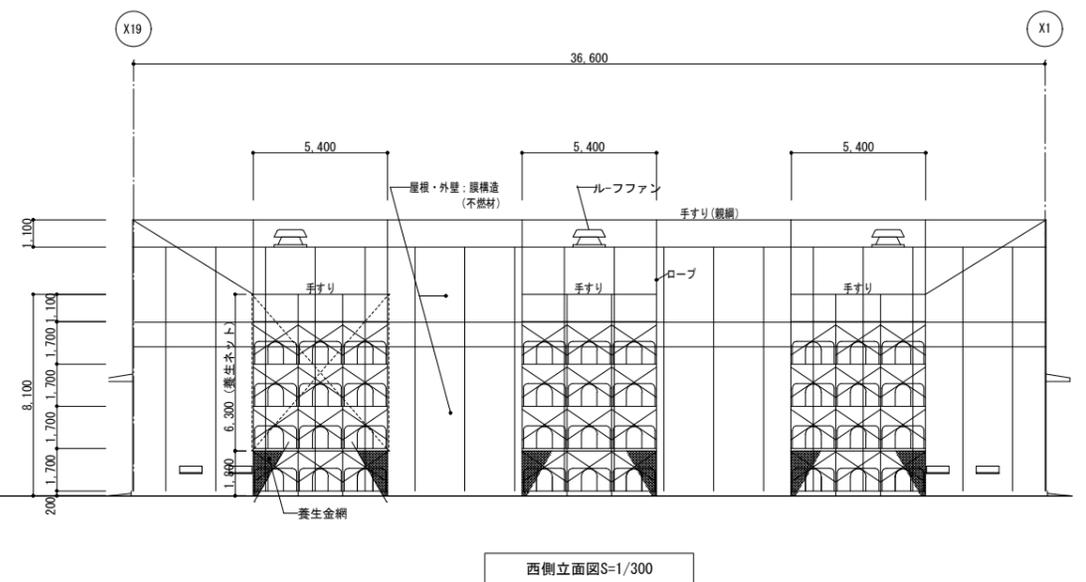
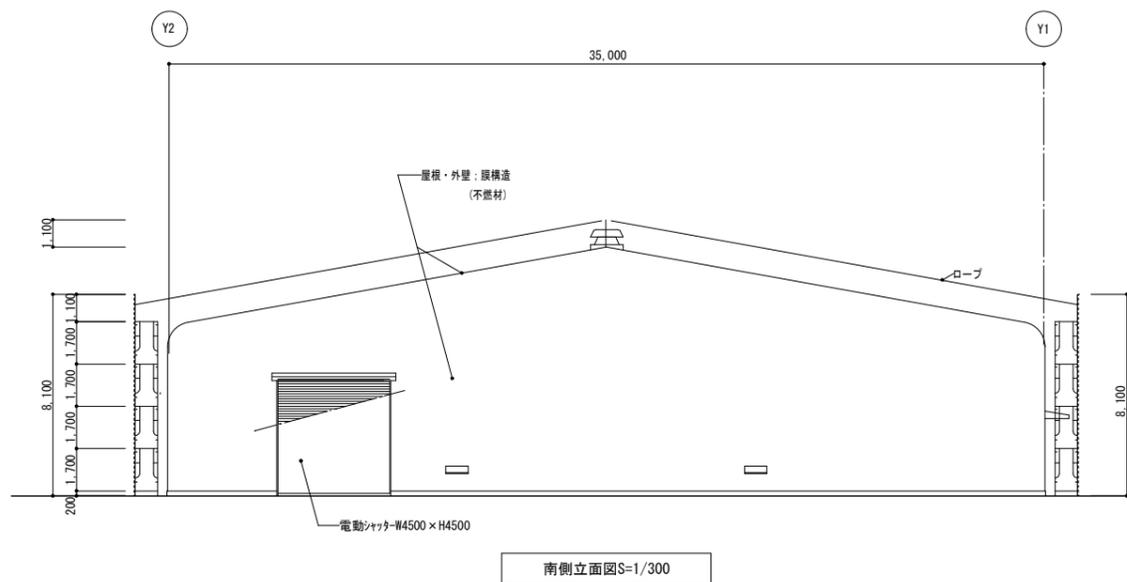


仮設計画概要	
	手すり先行枠組足場 幅木付 W900
	外部全面ネット養生シート張り
仮設敷鉄板	t22×1.524×6.096
	交通整理員
(手摺先行足場取扱い)	
1. 枠組足場については、「手摺先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成15年4月策定) (以下「ガイドライン」という。)によるものとする。	
2. 枠組足場は、ガイドライン別紙「手すり先行工法による足場設置基準」2(2)によるものとする。 安心感のある足場とし、「改善処置機材設置型」による場合は、同基準2(3)「改善処置機材」の内、 木の「幅木」は設置するものとする。	
3. 工事着手前に足場の種類及び設置方法について、監督員と協議しなければならない。 *「ガイドライン」及びガイドライン別紙は、講義労働省神奈川労働局のホームページ「内労働基準部」 安全課一労働災害防止対策を参照してください。	

仮設計画図S=1/300

凡例
 外部足場：枠組足場 建柱900×1700手摺先行
 交通誘導員を示す

竣工 図 令和8年1月	竣工 図 作成	訂 正	特 記	課長	主査等	担当者	図 面 内 容 S=1/300(A2)	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 仮設計画図(参考)	図 面 番 号 A-13
	竣工 図 確認	訂 正	特 記					図 面 番 号 A-13	



竣工 図 令和8年1月	保管 承認 建築 作成	/ / / /	訂 正	特 記	課長 主査等 担当者	図 面 内 容 縮 尺	(仮称) 防災備蓄基地新築工事	図 面 番 号 A-14
							仮設計画図-2(参考)	

構造設計標準仕様(2)

6. 鉄筋コンクリート工事

(2) 鉄筋

- 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。
- 鉄筋の加工寸法、形状、被り厚さ、鉄筋の継ぎ手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
- D19未満は、全て重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超える場合は200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。

外観検査	<input type="checkbox"/> 有	引張試験	<input type="checkbox"/> 有	超音波探傷試験	<input type="checkbox"/> 有
	<input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 無
- 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、下記とする。

<input type="checkbox"/> H型(タガ型)	<input type="checkbox"/> H型(溶接型)	<input type="checkbox"/> H型(スパイラル型)
----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------
- コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。

試験機関名	未定
代行業者名	未定

 ※代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(2) 型枠

- 材料 合板、厚12mmを標準とする。
- 施工はJASS 5による。
- 型枠存置期間

種類 部位	せき板			
	基礎・はり側・壁		スラブ下・はり下	
	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
セメントの種類		高炉セメントA種		高炉セメントA種
存置期間の平均気温		シリカセメントA種		シリカセメントA種
15℃以上	2	3	4	6
5~15℃	3	5	6	10
5℃未満	5	8	10	16
コンクリートの材齢日()				
コンクリートの圧縮強度	5N/*		5N/*	

種類 部位	支柱		
	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント
		高炉セメントA種	普通ポルトランドセメント
セメントの種類		高炉セメントA種	普通ポルトランドセメント
存置期間の平均気温		シリカセメントA種	高炉セメントA種
15℃以上	8	17	28
5~15℃	12	25	28
5℃未満	15	28	28
コンクリートの材齢日()			
コンクリートの圧縮強度	設計基準強度の12N/* かつ 85%		100%

- (注1)片持ち梁、庇、スパン90m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
- (注2)大梁の支柱の盛替は行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
- (注3)支柱の盛り替えは必ず直上階のコンクリート打設後とする。
- (注4)盛り替え後の支柱頂部には、厚い受板、角材又はこれに代わるものを置く。
- (注5)支柱の盛り替えは、小梁が終わってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛り替えをしてはならない。
- (注6)上記以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

7. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示の無い限り下記による。

- 日本建築学会「JASS 6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
- ※但し、建て入れ精度に関しては「建物の倒れ」を基準とする。

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

- 製作工場
 - 製作要領書
 - 工作図
 - 施工計画書
- 国土交通省告示第1033号による認定工場(大臣認定 Mグレード以上)
- 材料規格証明書又は試験成績書
 - 鋼材
 - 高力ボルト
- 社内検査表

(3) 工事監理者が行う検査項目

- 製品検査
- 建方検査

- 東京都アーク溶接工事監理規準 (建築構造設計指針第12章)
- 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱 (建築構造設計指針第12章)
- 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

(5) 接合部の検査

- 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率または検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
□ 突合せ溶接部	超音波探傷試験	個	個	個	
■ 隅肉溶接部	外観(目視)検査	100 %	0 %	- %	
□	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が受け入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社を言う					

- (注1)現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。
- (注2)現場溶接部については超音波探傷試験100%行うこと(突合せ溶接に限る)。

- 高力ボルトは「JIS B 1186の高力ボルト」を使用する際の摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲で ショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤錆状態であること。ただし、ショットブラスト、グリッドブラスト等による処理で表面粗さが50S以上である場合は、赤錆は発生しないままでよい。またリン酸塩処理について、摩擦面はめっき後
- 高力ボルトの締め付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締め付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締め付けは原則として一次・二次締めとする。締め付け後の検査は、各締め付け工法別に適切な締め付けが行われているか検査する。

8. 塗装工事

(1) 一般事項

- 日本建築学会「JASS 18」「塗装工事」
- 塗装材料は日本産業規格(JIS)または建築学会材料規格に適合するものとする。

(2) 塗装仕様

- 錆止め+仕上げ塗装

工場	塗装仕様		回数	膜厚	塗装方法
	素地調整	シンナー拭きを基本として、動力工具にて(ディスクサンダーワイヤーブラシ等)調整する			
工場	下塗り	鉛・クロムフリーさび止めペイント JIS K 5674 1種 同等	1回	30 μm	吹付・刷毛・ローラー
	上塗り	合成樹脂調合ペイント1種上塗り	1回	30 μm	吹付・刷毛・ローラー
色：ブラウン (09-20B) 艶あり					

- 溶融亜鉛メッキ

工場	塗装仕様		付着量	塗装方法
	素地調整	シンナー拭きを基本として、動力工具にて(ディスクサンダーワイヤーブラシ等)調整する		
工場	溶融亜鉛メッキ		350~550 g/m ²	浸漬
	JIS H 8641			

- ※付着量は(一社)日本溶融亜鉛鍍金協会の仕様に準拠とする。

- 防錆塗装の範囲は、高力ボルトの摩擦面およびコンクリートで被覆される以外の部分とする。

- ベースプレート下面は防錆塗装を行う。

(3) 検査

- 目視と膜厚計により確認を行うものとする。
- 塗膜に目立つ凹凸や垂れはサンドペーパー等で平滑にした後、再塗装とする。
- 塗装厚が不足した場合は増し塗りとする。

(4) 色

- 鉄骨各部位の色については、打ち合わせ等により決定とする。

9. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。
- 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし、管の間隔を5cm以上とする。

10. その他

- 緒官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。

課長	主査等	担当者	図面内容	(仮称)防災備蓄基地新築工事	図面番号
			構造物標準仕様(2)	(倉庫棟)	
精尺	NS		精尺		区分

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1. 一般事項

1-1. 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

1-2. 記号

d	異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径	R	直径	ST	あばら筋
Q0	部材間の内法距離	@	間隔	HOOP	帯筋
h0	部材間の内法高さ	r	半径	S. HOOP	補強帯筋
D	部材の成	⊕	中心線	φ	直径または丸鋼

2. 鉄筋加工・かぶり

2-1. 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイのみに用いる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				

2-2. 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SD295 SD345	16φ D16以下	3d以上
	上記以外の鉄筋	SR235, SD295 SD345	19φ以下 D19以下	4d以上
			16φ以下 D16以下	4d以上
			19φ~25φ D19~D25	6d以上
			28φ~32φ D29~D38	8d以上

2-3. 鉄筋の重ね継手及び定着の長さ

【重ね継手】	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	SD295	SD345	SD390	SD490
フック付き重ね継手の長さ[L1h]	18 21 24~27	35d 30d 25d	35d 30d 30d	— 35d 35d	— — 40d
フックなし重ね継手の長さ[L1]	18 21 24~27	45d 40d 35d	45d 40d 40d	— 50d 45d	— — 55d

1. 末端のフックは、重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 軽量コンクリートの場合は表の値に[5d]を加えたものとする。

※ 重ね継手（下図のいずれかとする）
〈フック付き〉



【定着長さ】	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	SD295	SD345	SD390	SD490
フック付き定着の長さ[L2h]	18 21 24~27	30d 25d 20d	30d 25d 25d	— 30d 30d	— — 35d
直線定着の長さ[L2]	18 21 24~27	40d 35d 30d	40d 35d 35d	— 40d 40d	— — 45d

1. フック付きの定着長さは定着起点からフックの折り曲げ開始点までの長さとする。
2. 軽量コンクリートを使用する場合は表の値に[5d]を加えたものとする。

* 定着（下図のいずれかとする）
〈フック付き〉

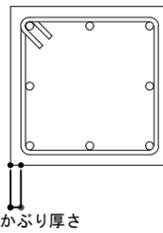


〈フックなし〉



2-4. かぶりの厚さ

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

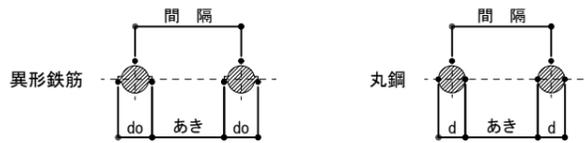


部 位	設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)	
土に接しない部分	屋根スラブ	30	20
	床スラブ	30	20
	非耐力壁	40 ⁽¹⁾	30 (20)
	柱はり	40	30
土に接する部分	耐力壁	50 ⁽²⁾	40 ⁽¹⁾ (30)
	擁壁	50 ⁽³⁾	40
	柱・梁・床スラブ・耐力壁	50	40 ⁽⁴⁾
	基礎・擁壁	70	60 ⁽⁴⁾

- 【注】(1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
 (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 (5) () 内は仕上げがある場合。

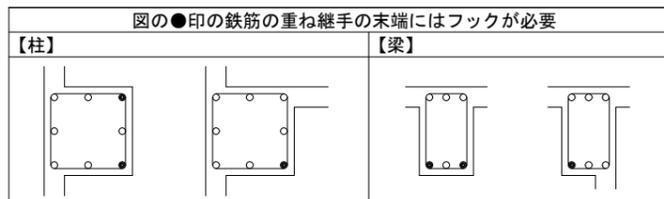
2-5. 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



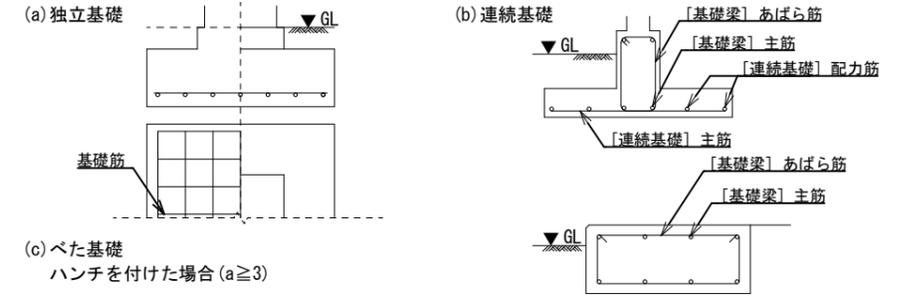
2-6. 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける)

- [a]丸鋼 [b]あばら筋・帯筋 [c]煙突の鉄筋 [d]柱・梁(基礎梁は除く)の出隅部分の鉄筋(下図参照)
 [e]単純梁の下端筋 [f]その他、本配筋標準に記載する箇所



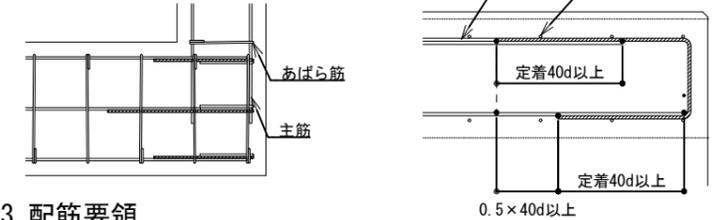
3. 基礎

3-1. 直接基礎の配筋



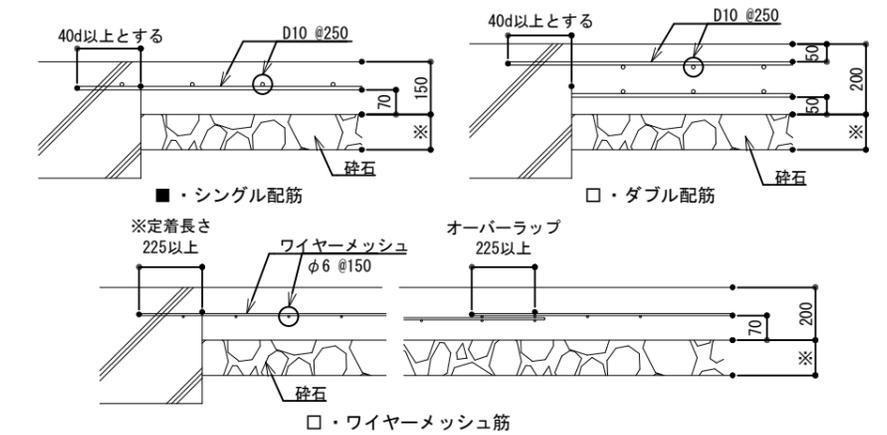
1. 耐圧鉄筋の継手位置は床スラブにならう但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋め戻し土のある場所は40を70とする

3-2. 端部の配筋



3-3. 配筋要領

- ・防湿シートなし
- ・防湿シートあり

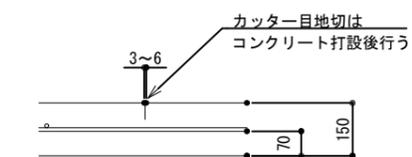


3-4. 目地仕様

- ・標準仕様から変更がある場合は、監理者の承認を得ること。
- ・目地間隔は目地割付図による。指定がない場合は4~5m間隔で、できる限り正方形に近くなよう計画する。
- ・目地切までの間は、土間コンクリート表面の乾燥を防ぐため散水養生を行う。

(a) 誘発目地仕様

- ・充填材なし □・充填材あり



鉄骨構造標準図

1. 一般事項

- (1) 材料および検査
- 構造設計仕様による
 - 適用範囲は鋼材を用いる工事に適用し、且つ鋼材の厚さが40mm以下のものとする。
 - 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他結果を添付する。

- (2) 工作一般
- 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し、工事監理者の承認を得る。
 - 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。
 - 高張力鋼の歪み矯正は冷間矯正とする。

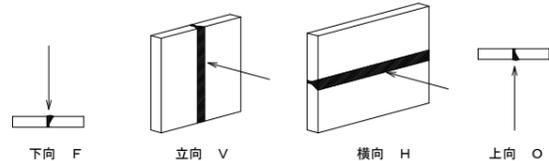
- (3) 高力ボルト接合
- 本締めに使用するボルトと仮締めボルトを併用してはならない。

- (4) 溶接接合
- 溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3801(手溶接)またはJIS Z3841(半自動溶接)の溶接検定試験に合格し、引き続き半年以上溶接に従事している者とする。
 - 溶接器具
 - 交流アーク溶接機 300A*500A
 - アークエアークウンジング機(直流)
 - サブマージアーク溶接機一式
 - 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - 溶接電流を測定する電流計
 - 溶接棒乾燥機
 - 溶接方法

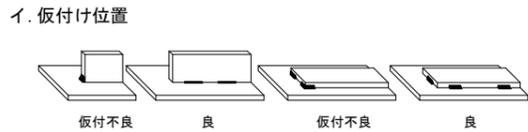
アーク手溶接(MC)

セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC)

アークエアークウンジング(AAG) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
 - 溶接姿勢



- 組み立て溶接技能者は原則として本工事に従事するものが行う。



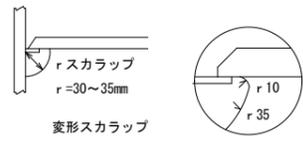
組み立て溶接は溶接の始端・終端・隅角部などの強度上、工作上問題となりやすい箇所は避ける。

- 完全溶け込み溶接部の仮付け溶接は必ず裏はつり側に施工する。

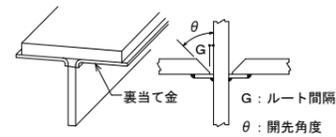
- f. 溶接施工
- エンドタブ
 - 完全溶け込み溶接・部分溶け込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先状のエンドタブを取り付ける。
 - エンドタブの材質は母材と同等とする。

- エンドタブの長さは、MC:35mm以上、NGC・GC:40mm以上とし、特記のない場合は溶接終了後、母材より10mm程度残して切断し、グラインダー仕上げとする。
- プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る。

- ロ. 裏当て金
- 材質は母材と同質とし、厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする。
- ハ. スカラップは半径30mm*35mmと10mmのダブルアールとする。ただし、梁せいが150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする。



ニ. ノンスカラップ工法

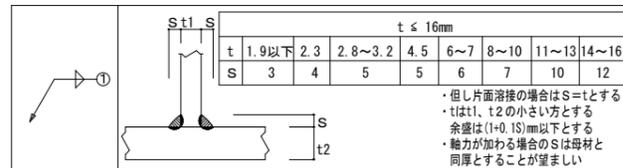


- ホ. 裏はつり
- 基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て溶接管理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける。
- ヘ. 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆剤を塗布する。また、開先を傷めないように養生を行う。

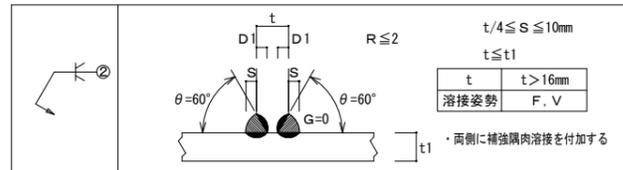
- (5) 塗装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は塗装しない。

2. 溶接基準図

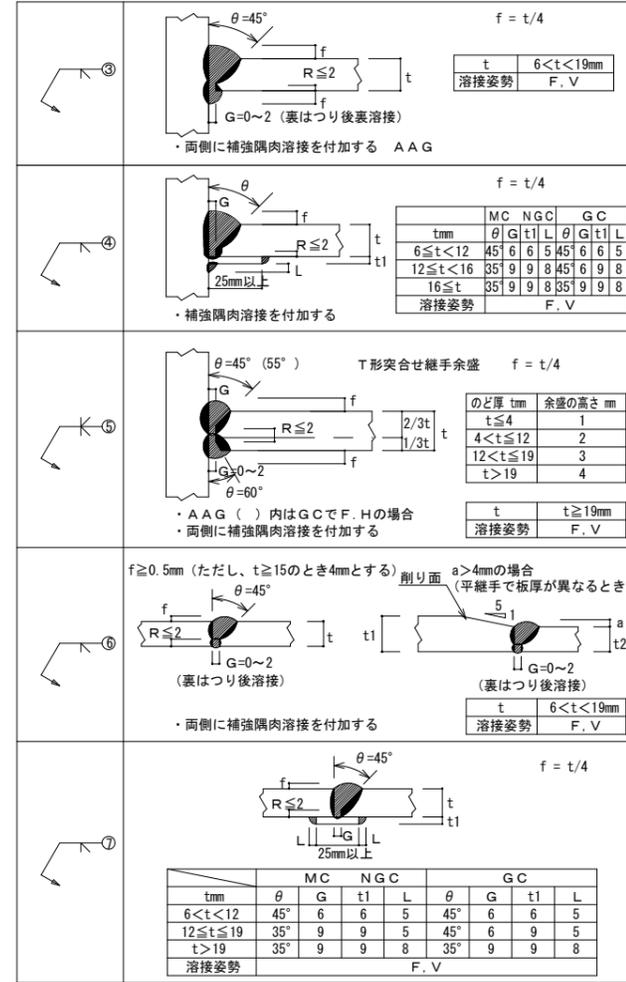
- (1) 隅肉溶接 (注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位: mm)



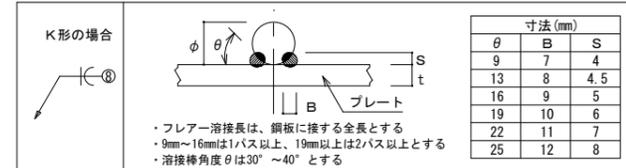
- (2) 部分溶け込み溶接



- (3) 完全溶込み溶接 (平継手 T継手)



- (4) フレー溶接

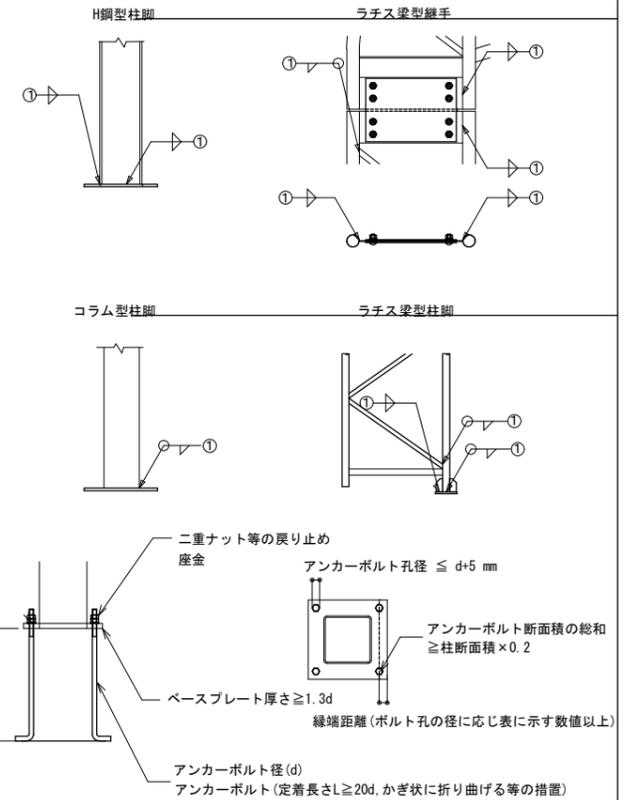


3. 縁端距離

呼び	ボルトピッチ (P)、ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)					
	最小縁端距離 (e)			ピッチ (P)		
	(1)	(2)	(3)	(2) (3)の標準	最小	標準
M16	18.0	40	28	22	40	60
M20	22.0	50	34	26	40	70
M22	24.0	55	38	28	40	80
M24	26.0	60	44	30	45	90

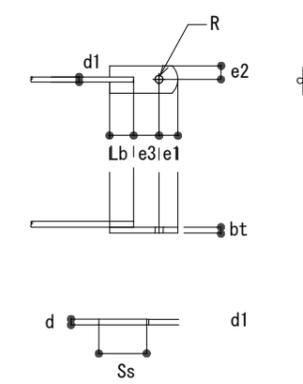
- [注] (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の縁端距離

4. 継手・柱脚



5. ブレース標準図

※ターンバックル筋交いの計算図表(JIS) JIS A 5540に準じたブレースを使用する

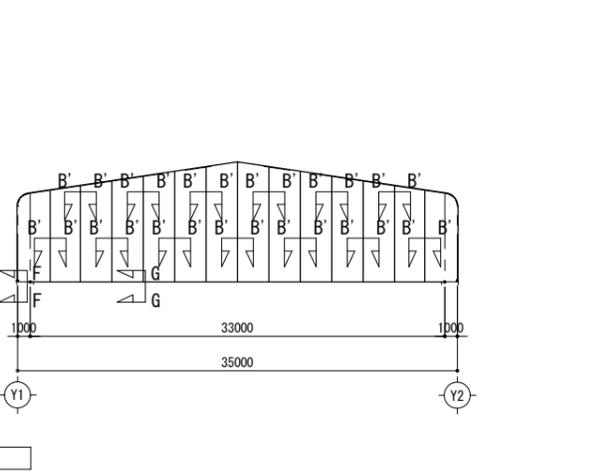
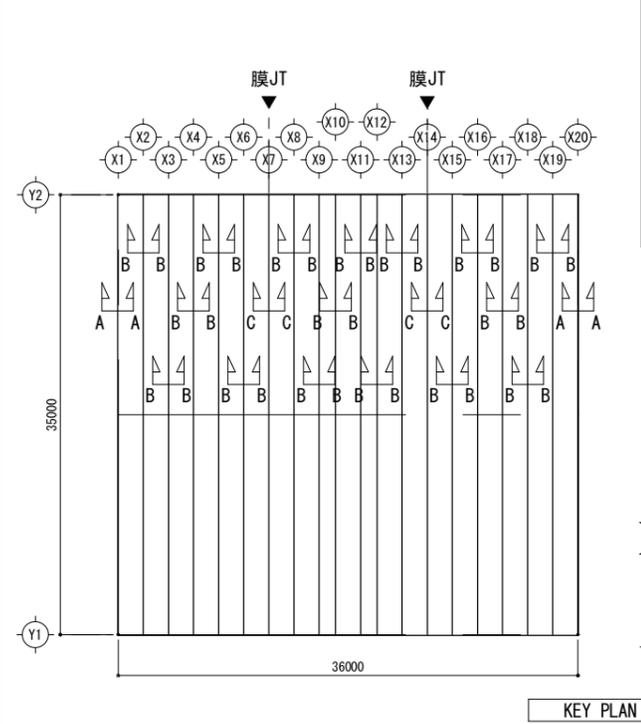
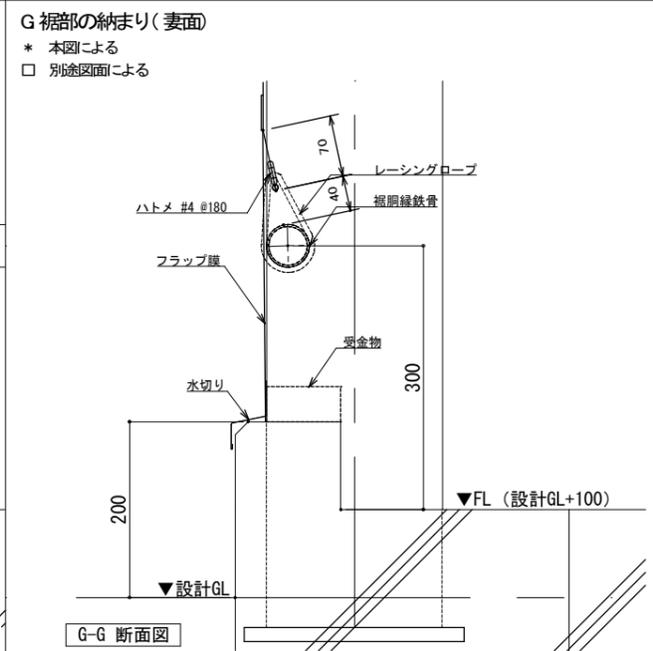
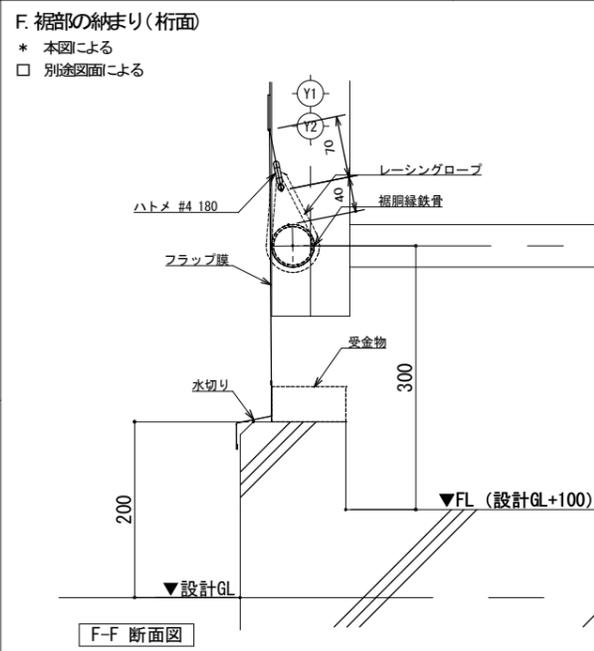
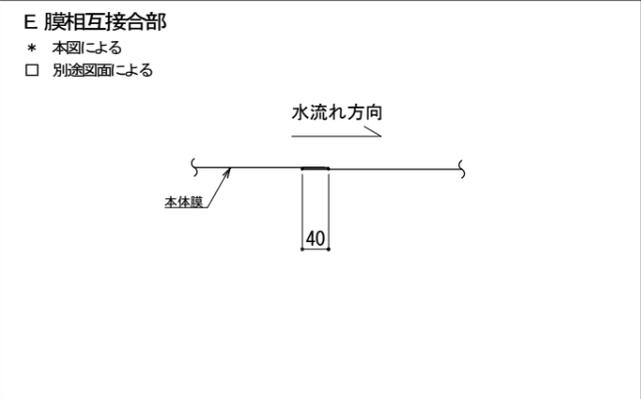
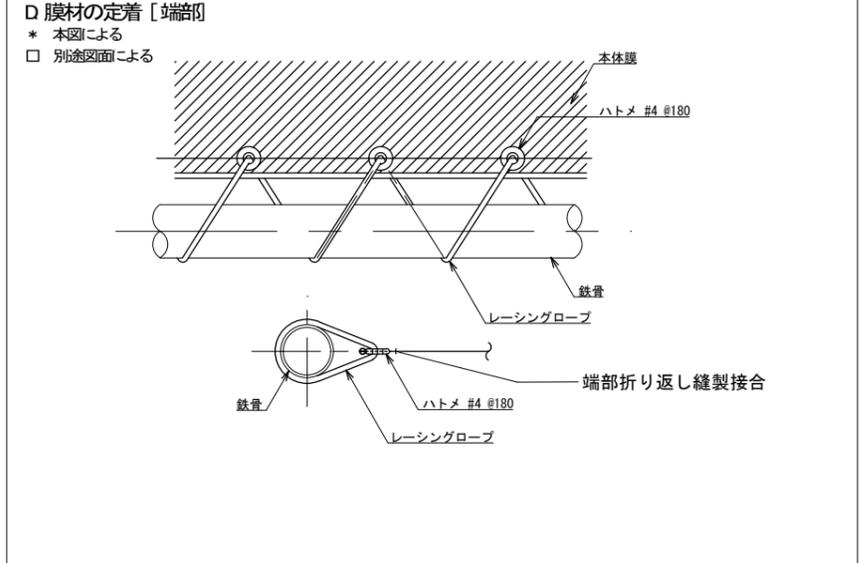
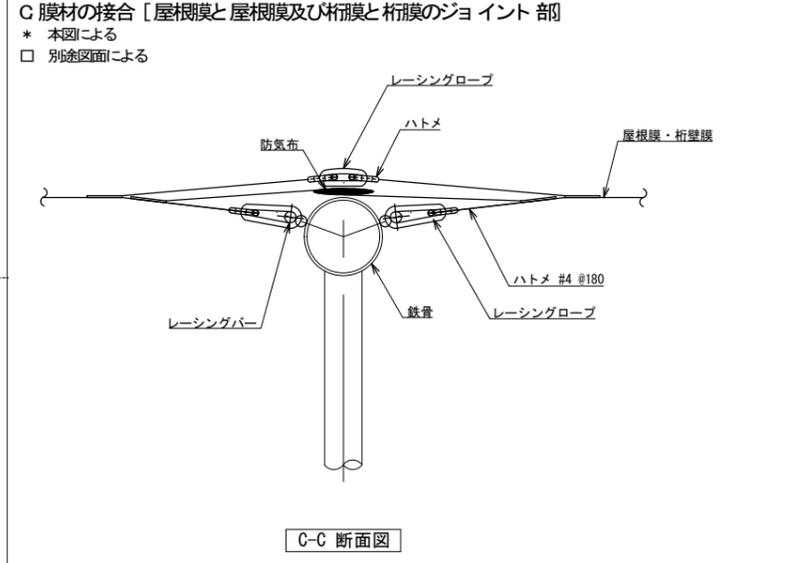
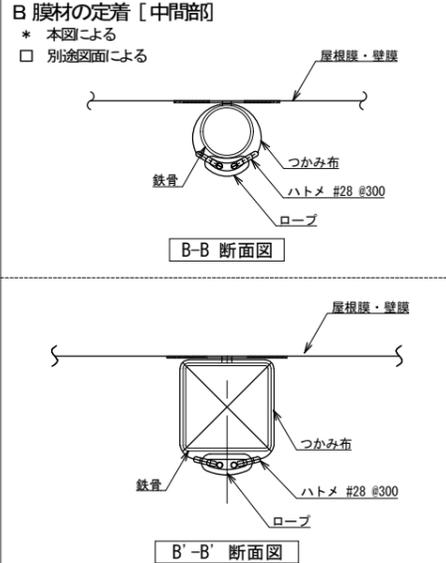
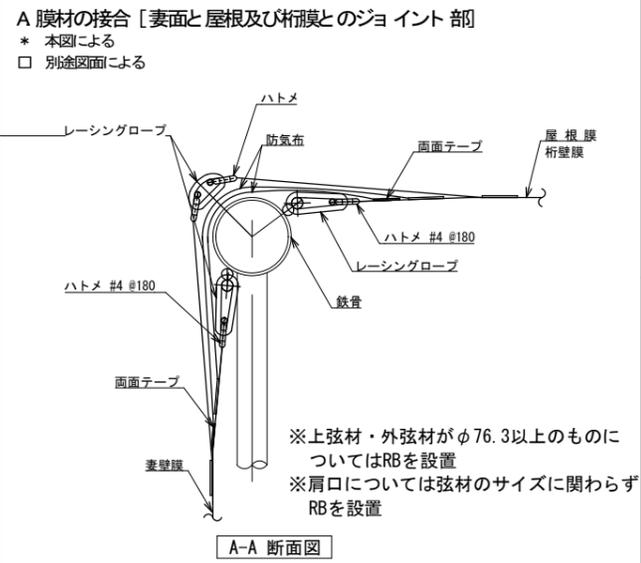


羽子板ボルトの形状及び寸法 (単位: mm)				
ネジの呼び (d)	M12	M14	M16	
軸径 (d1)	最大	10.81	12.65	14.65
	最小	10.64	12.46	14.46
調整ねじの長さ (Ss)	100	115	125	
取付けボルトの穴径 (R)	13	17	17	
端あき(最小) (e1)	35	40	45	
切板製	へりあき(e2)	22	28	28
	板厚(bt)	4.5	6	6
平鋼製	へりあき(e2)	19	25	25
	板厚(bt)	4.5	6	6
ボルト端から取付けボルト穴心のあき(最小) (e3)	47	52	59	
	溶接長さ(最小) (Lb)	40	50	55
取付けボルト	種類	JIS B1186 (F10T)		
	ねじの呼び	M12	M14	M16
	本数	1	1	1

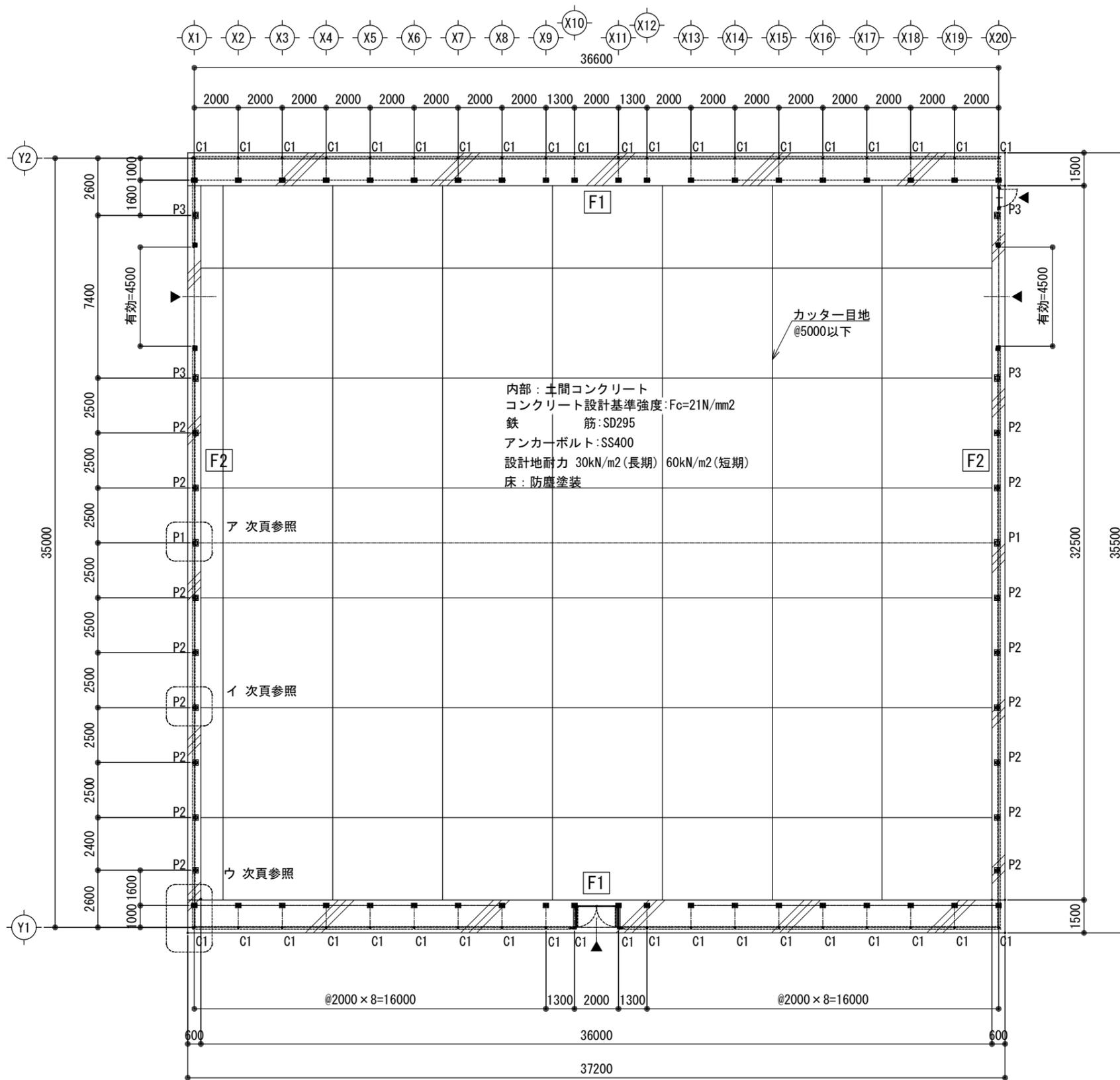
※ターンバックル筋交いのボルト締付けに関しては、高力ボルトによる一次締めとする。

図面内容	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 鉄骨構造標準図 (倉庫棟)	図面番号	S-04
縮尺	NS	区分	
課長		主査等	
担当者			
製図	令和8年1月	承認	
検印		作成	
訂正			
特記			

【骨組膜構造標準図-膜納まり詳細】



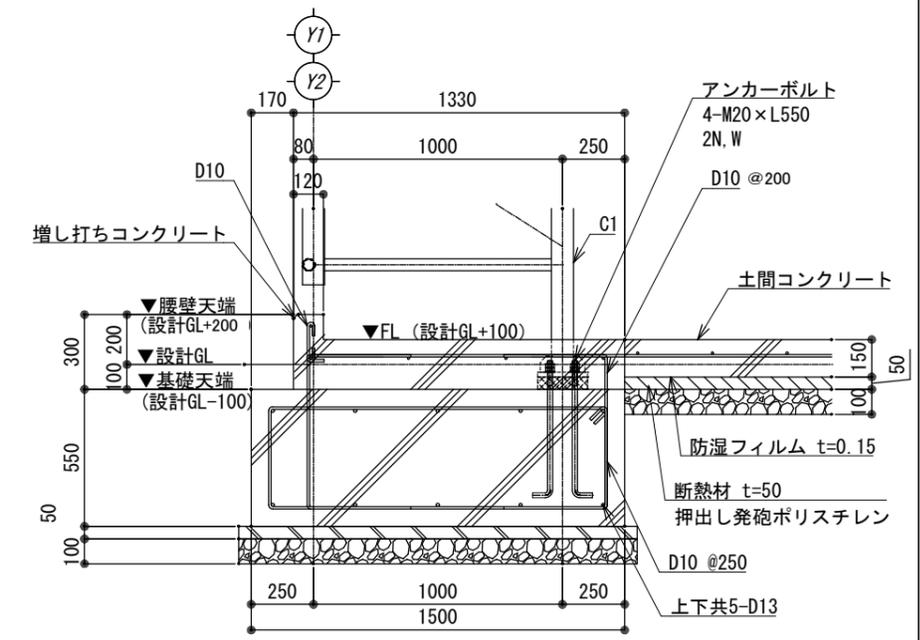
図面内容 膜納まり詳細図 縮尺 NS	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 (倉庫棟)	図面番号 S-06 棟内 区分	課長	主査等	担当者
			訂正 特記	竣工 検査 承認 作成 令和8年1月	特記



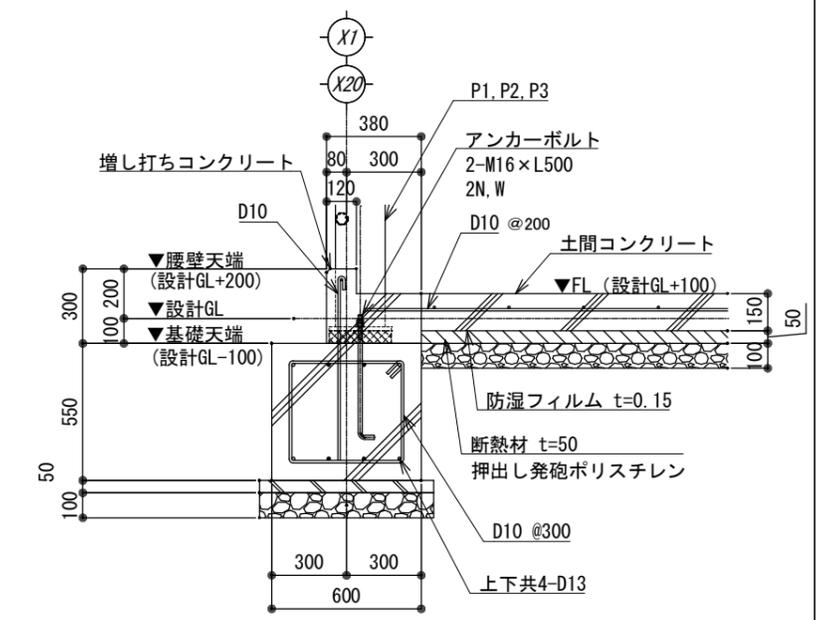
基礎伏図 S=1/150

基礎断面詳細図 S=1/20

F1断面詳細図

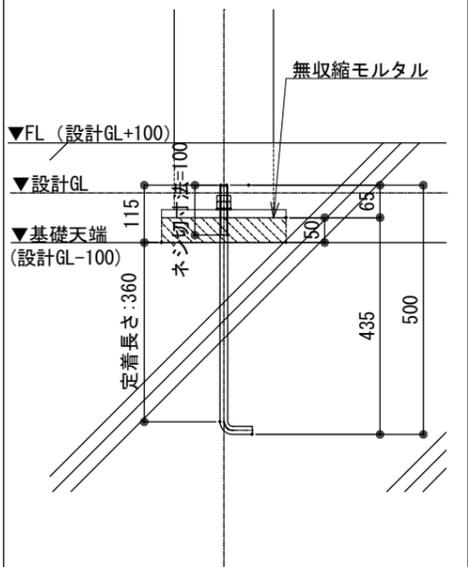
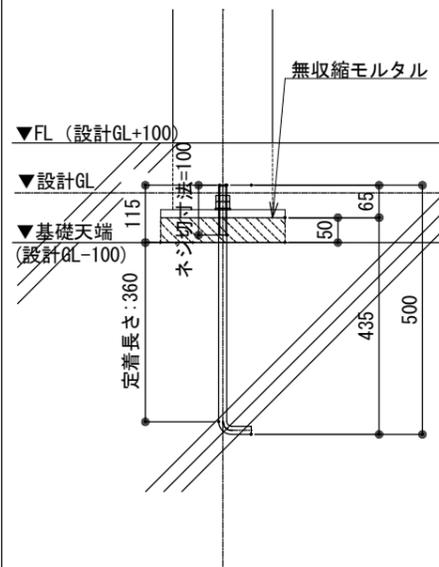
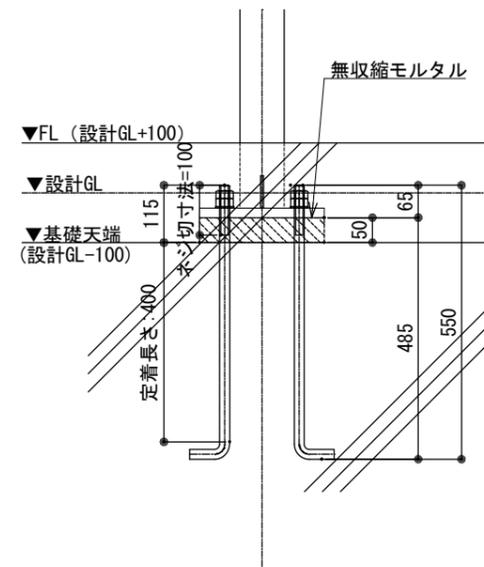
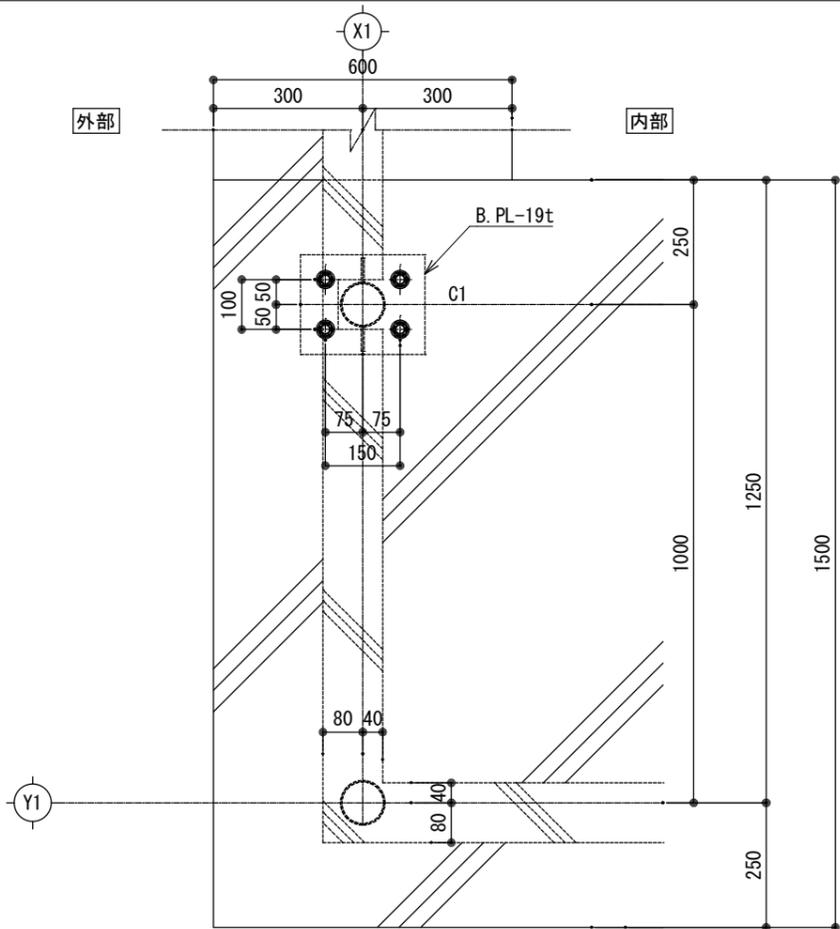
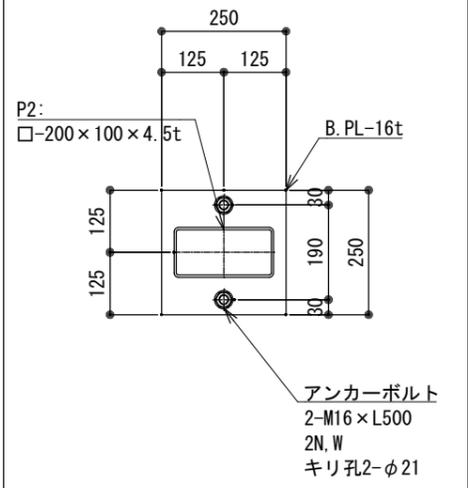
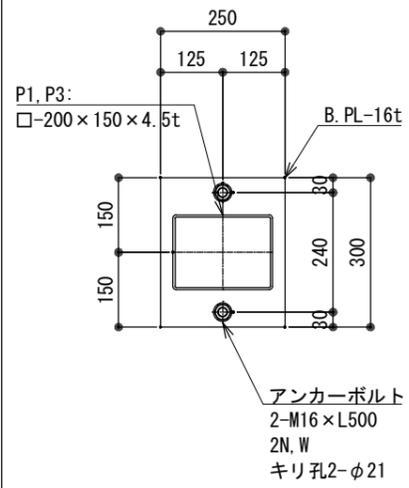
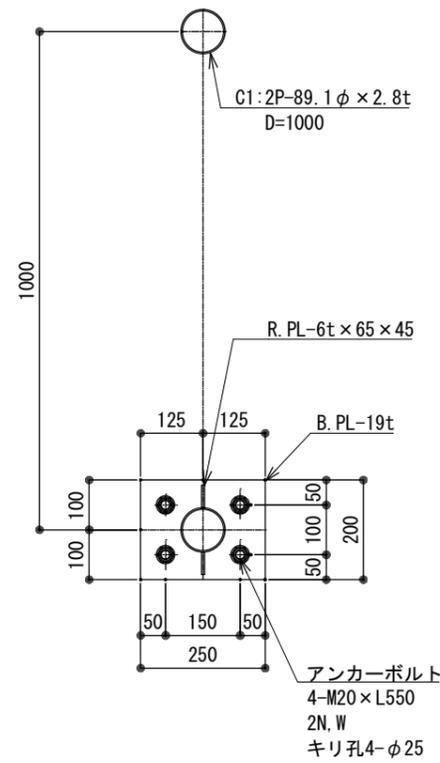
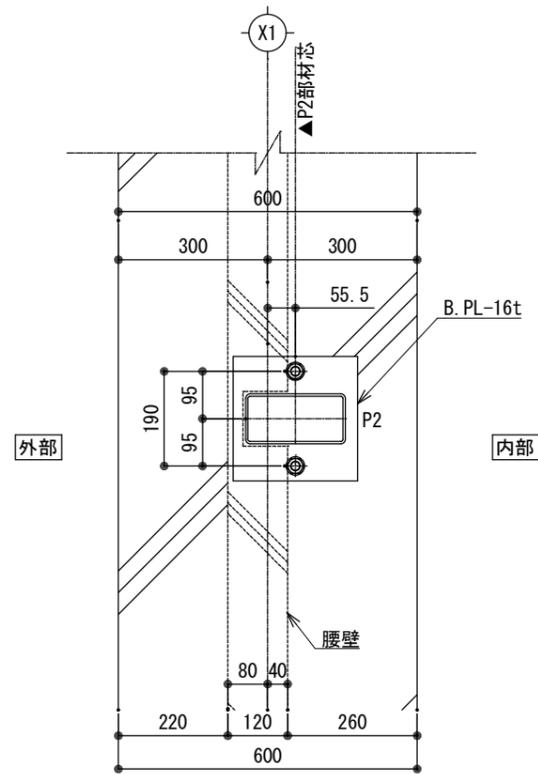
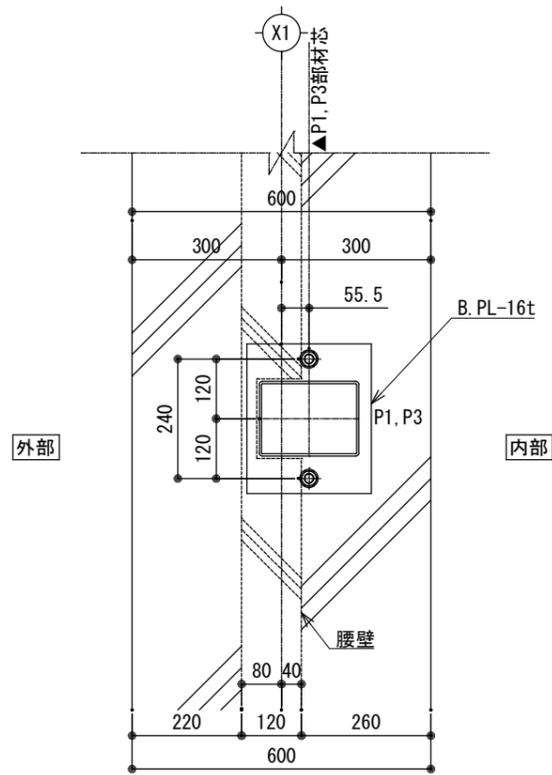


F2断面詳細図



課長	主査等	担当者	図面内容	図面番号
			(仮称) 防災備蓄基地新築工事 基礎伏図・基礎断面詳細図 (倉庫棟)	S-07
			縮尺 S=1/150 1/20(A2)	校区内 区分

竣工	設計	監理	校核	作成	訂正	特記
/	/	/	/	/	/	/
令和8年1月						



竣工	保管	/	/
承認	承認	/	/
確認	確認	/	/
作成	作成	/	/

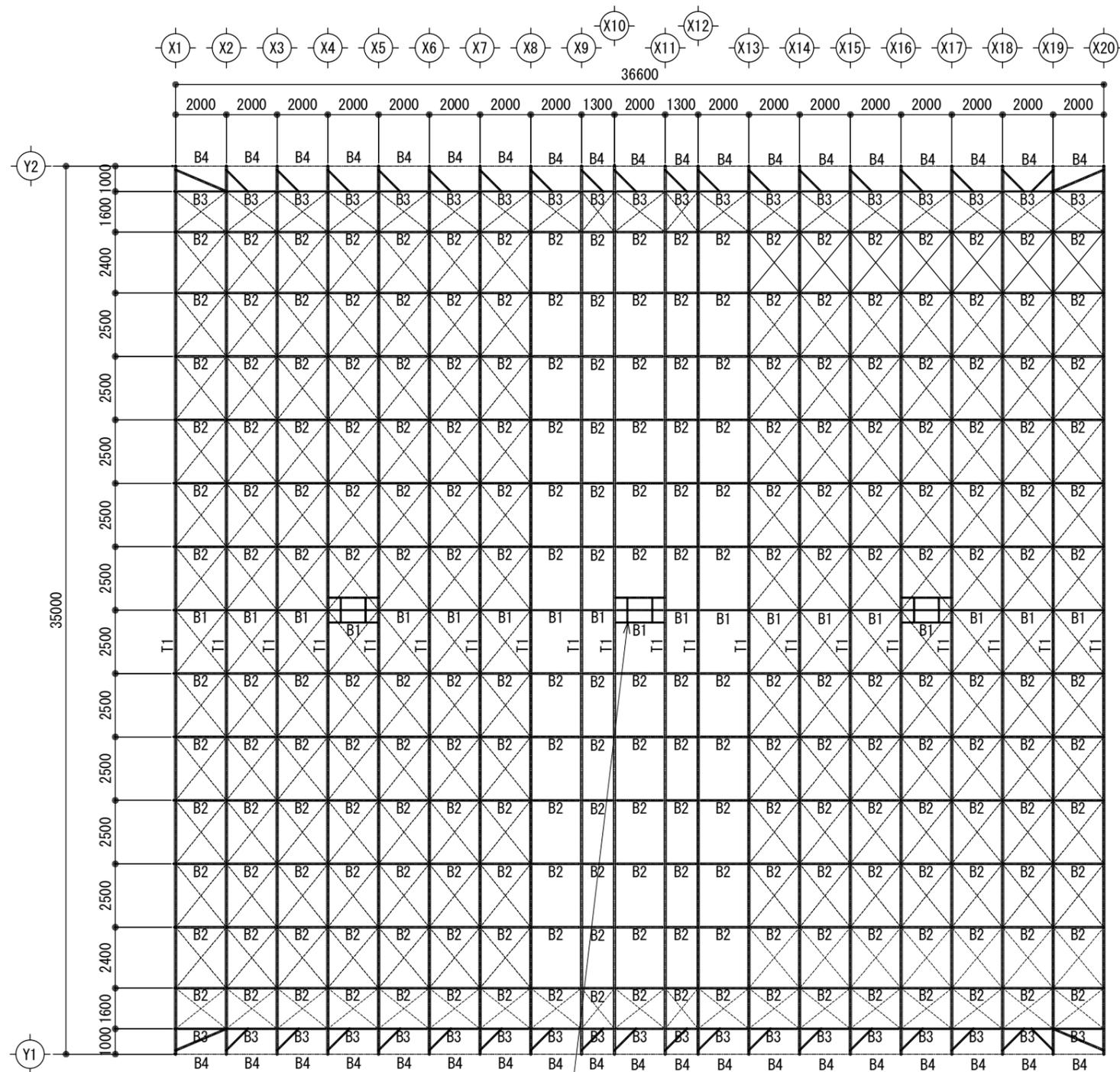
訂正	訂正	訂正	訂正
訂正	訂正	訂正	訂正
訂正	訂正	訂正	訂正
訂正	訂正	訂正	訂正

特記	特記	特記	特記
特記	特記	特記	特記
特記	特記	特記	特記
特記	特記	特記	特記

課長	主査等	担当者

図面内容	(仮称) 防災備蓄基地新築工事
各階詳細図・柱脚詳細図	(倉庫棟)
縮尺	S=1/10(A2)

図番	S-08
図名	柱脚詳細図
図区	柱内



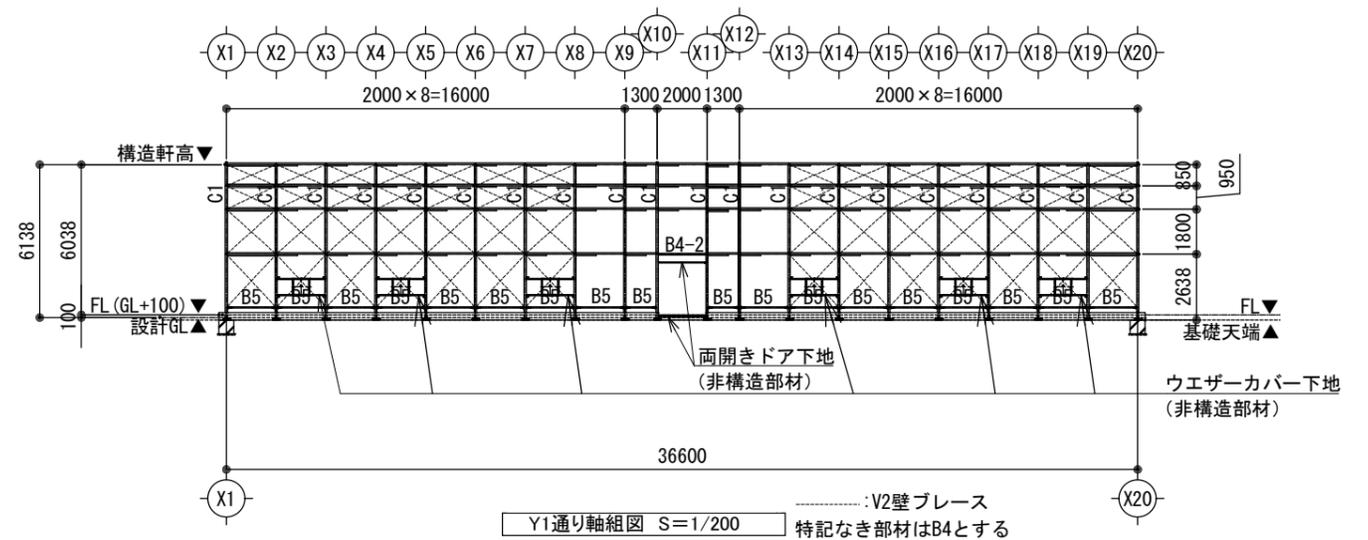
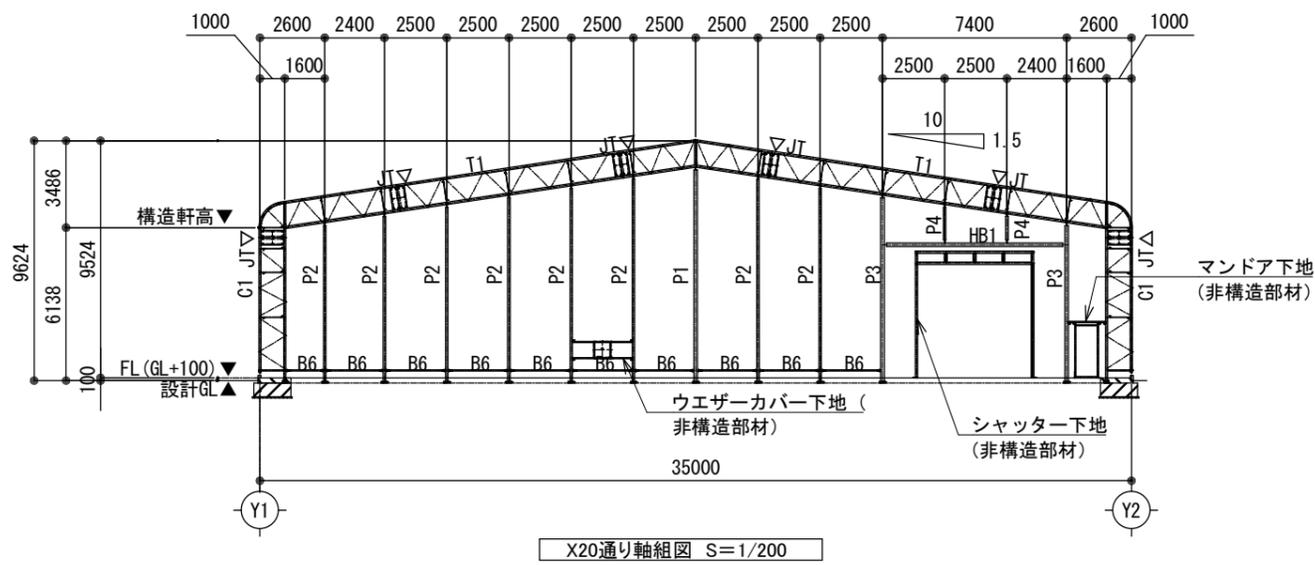
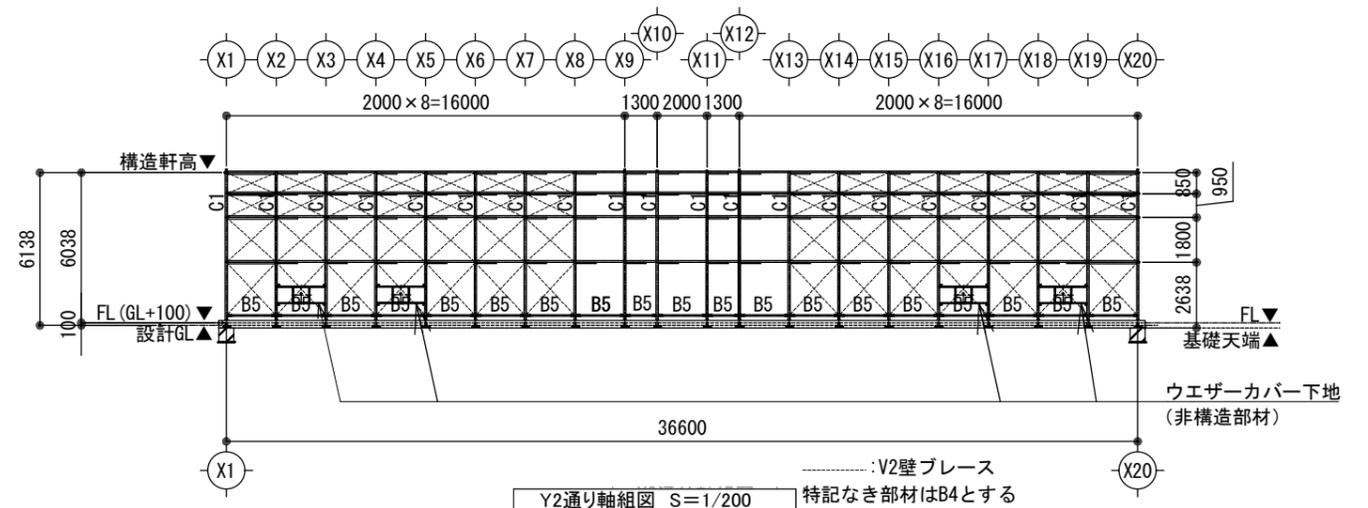
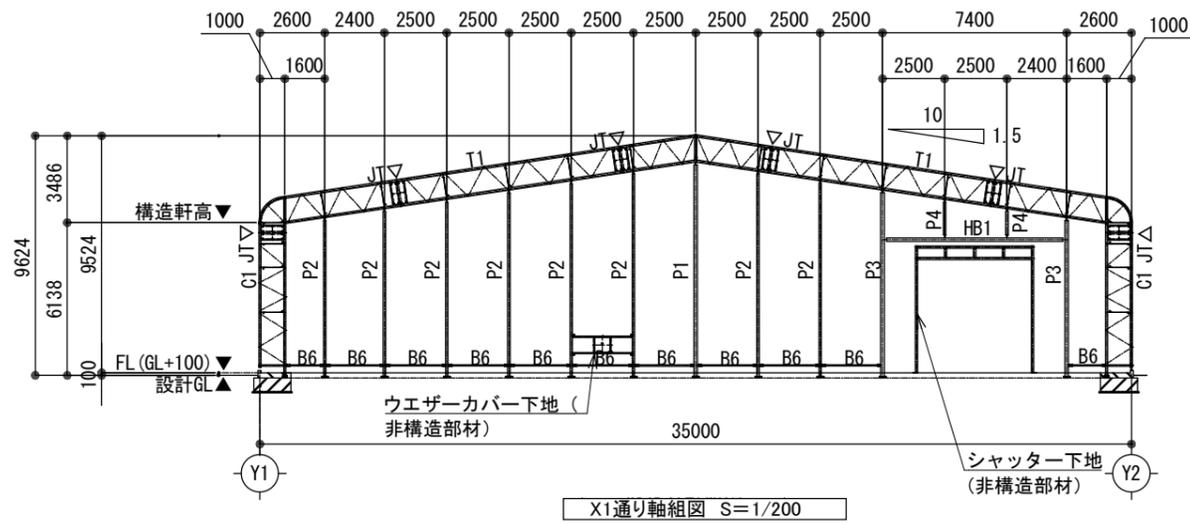
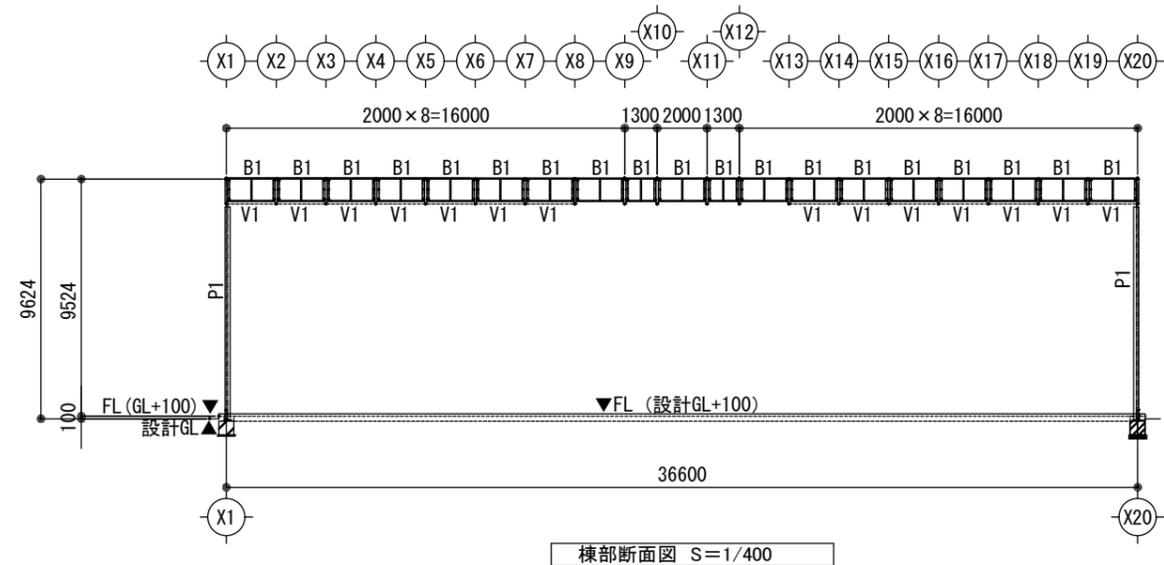
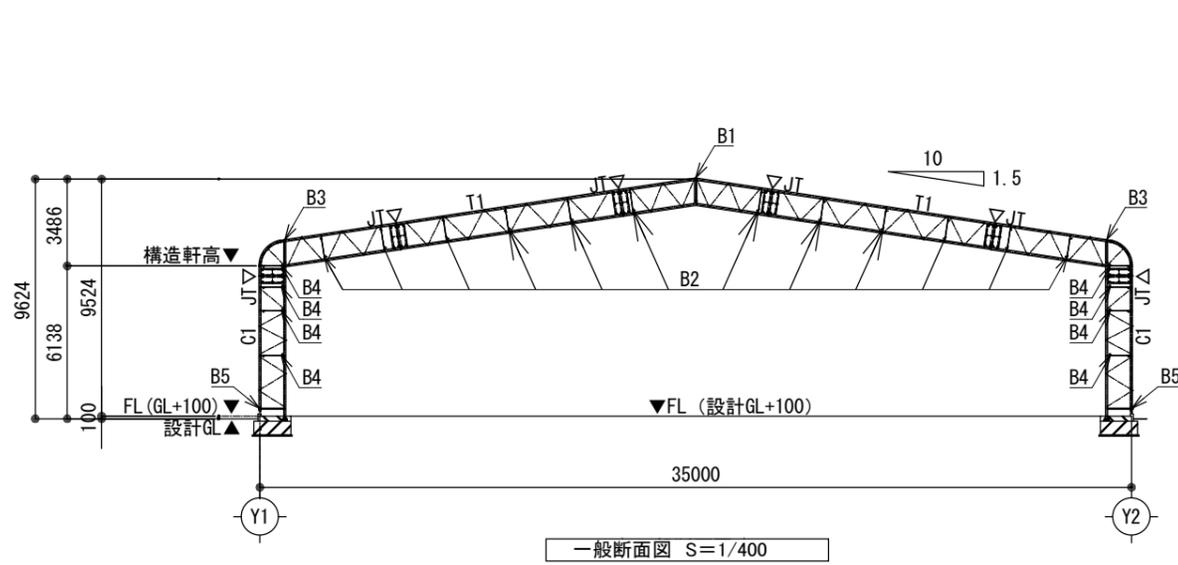
小屋伏図 S=1/150:V1屋根ブレース

部材リスト

記号	名称	サイズ	材質	品質	形状	有効細長比
C1	柱	主 材 : 2P-89.1φ × 2.8t D=1000	STK 400	JISG3444		87
		ラチス材 : P-42.7φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		92
T1	梁	主 材 : 2P-89.1φ × 2.8t D=1000	STK 400	JISG3444		80
		ラチス材 : P-42.7φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		92
B1	棟つなぎ	上下主材 : 2P-48.6φ × 2.3t D=900	STK 400	JISG3444		122
		束 材 : P-48.6φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		55
B2	屋根つなぎ	主 材 : L-65 × 65 × 6t	SS 400	JISG3101		160
		材 : L-65 × 65 × 6t	SS 400	JISG3101		170
		材 : L-50 × 50 × 6t	SS 400	JISG3101		103
B3	屋根つなぎ	上下主材 : 2P-48.6φ × 2.3t D=900	STK 400	JISG3444		122
		束 材 : P-48.6φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		55
B4	壁つなぎ	主 材 : L-65 × 65 × 6t	SS 400	JISG3101		160
		材 : L-65 × 65 × 6t	SS 400	JISG3101		163
		材 : L-50 × 50 × 6t	SS 400	JISG3101		103
B4-2	壁つなぎ	主 材 : 2□-75 × 75 × 2.3t D=1000	STKR 400	JISG3466		68
		束 材 : □-75 × 75 × 2.3t	STKR 400	JISG3466		34
B5	裾同縁	主 材 : P-48.6φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		-
B6	妻裾同縁	主 材 : P-48.6φ × 2.3t	STK 400	JISG3444		-
HB1	面風梁	主 材 : □-200 × 150 × 4.5t	STKR 400	JISG3466		-
P1	間柱	主 材 : □-200 × 150 × 4.5t	STKR 400	JISG3466		141
P2	間柱	主 材 : □-200 × 100 × 4.5t	STKR 400	JISG3466		197
P3	間柱	主 材 : □-200 × 150 × 4.5t	STKR 400	JISG3466		114
P4	束材	主 材 : □-200 × 100 × 4.5t	STKR 400	JISG3466		45
V1	屋根ブレース	M12 建築用ターンバックル付き	SS 400	JISG3101		-
V2	壁ブレース	M12 建築用ターンバックル付き	SS 400	JISG3101		-

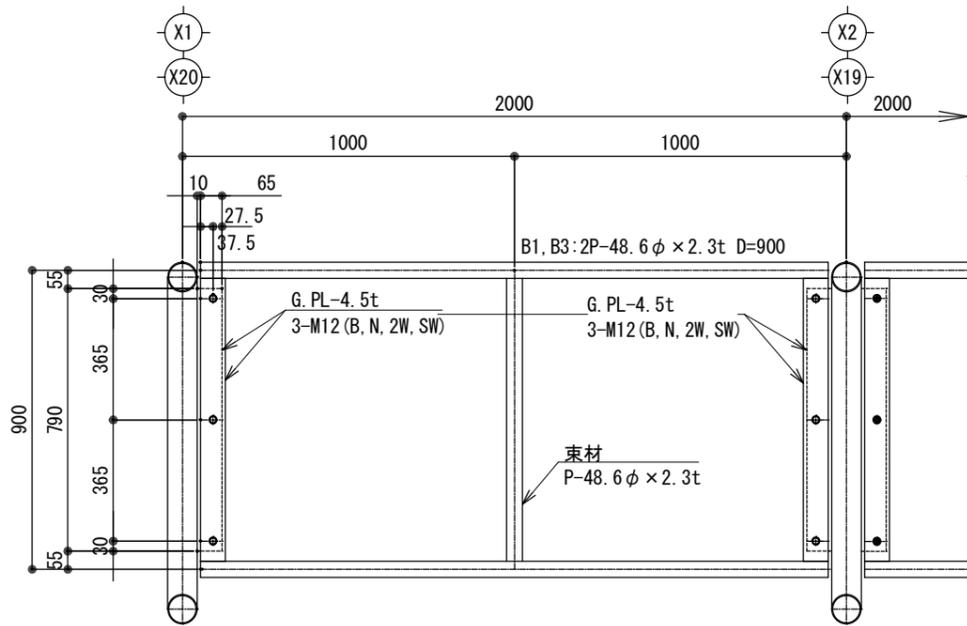
高力ボルト	F8T-M16 / F8T-M20
中ボルト	M12 / M16 (B. N. 2W. SW)
アンカーボルト	主材: 4-M20 × L550 / 間柱: 2-M16 × L500
ベースプレート	PL-19t / PL-16t

	設計 監理 施工 完成	訂正 _____ _____ _____ _____	特記 膜材はジョイント部分を数カ所設けるものとする	課長	主査等	担当者	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 小屋伏図- 部材リスト (倉庫棟)	図面番号 S-09 校ノ内 区分
	令和 8 年 1 月							縮尺 S=1/150(A2)

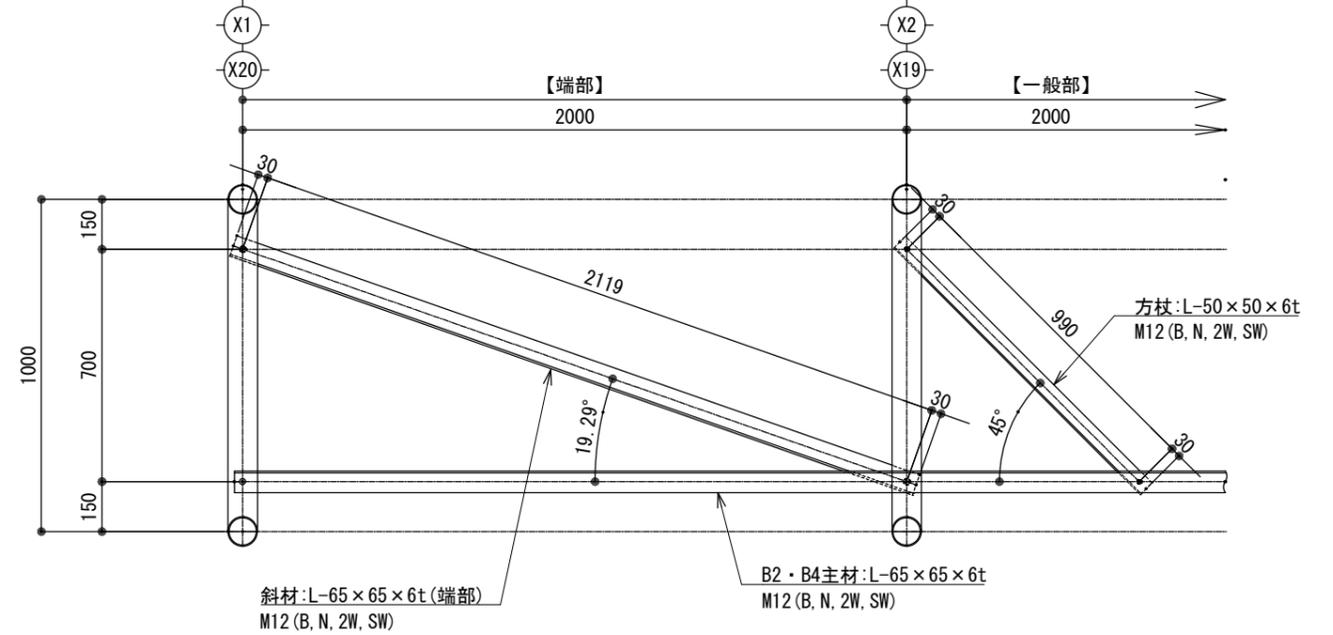


図面内容 断面図・軸組図 縮尺 S=1/200 (A2)	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 (倉庫棟)	図面番号 S-10	課長	主査等	担当者
			校核	承認	作成
令和8年1月	竣工図	訂正	特記	特記	特記

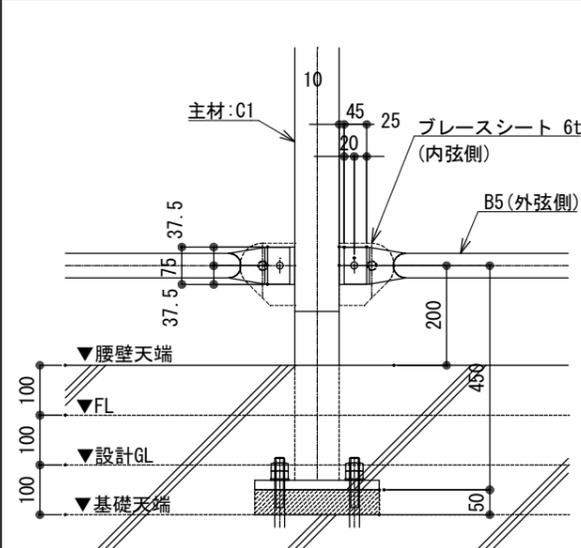
棟部、肩口部：B1, B3 継手詳細図 S=1/15



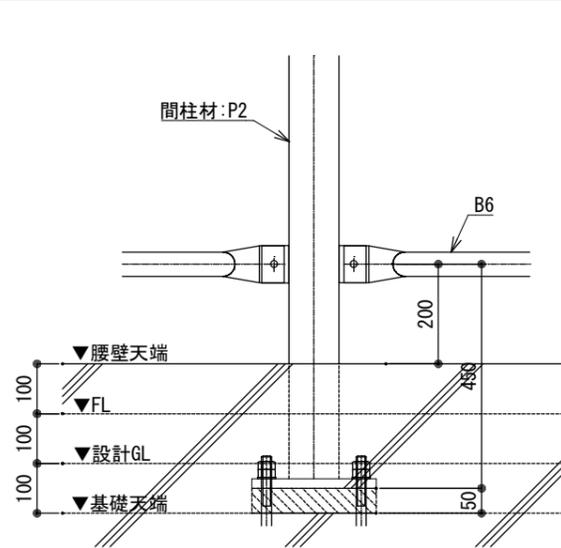
B2・B4 継手詳細図 S=1/15



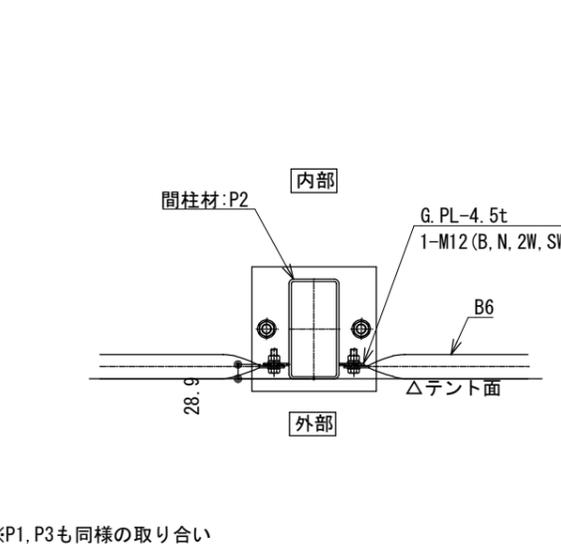
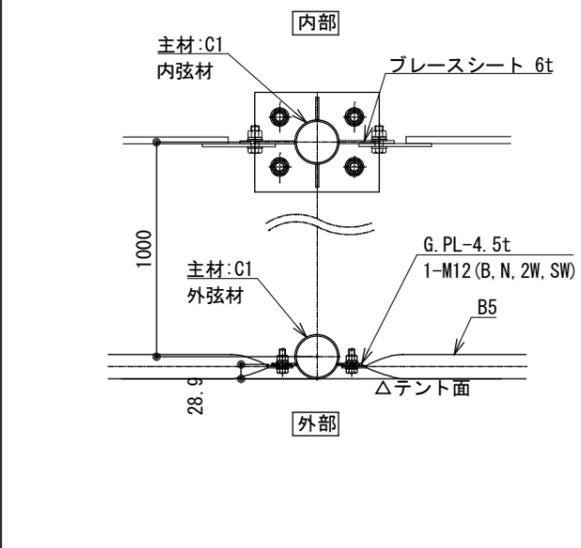
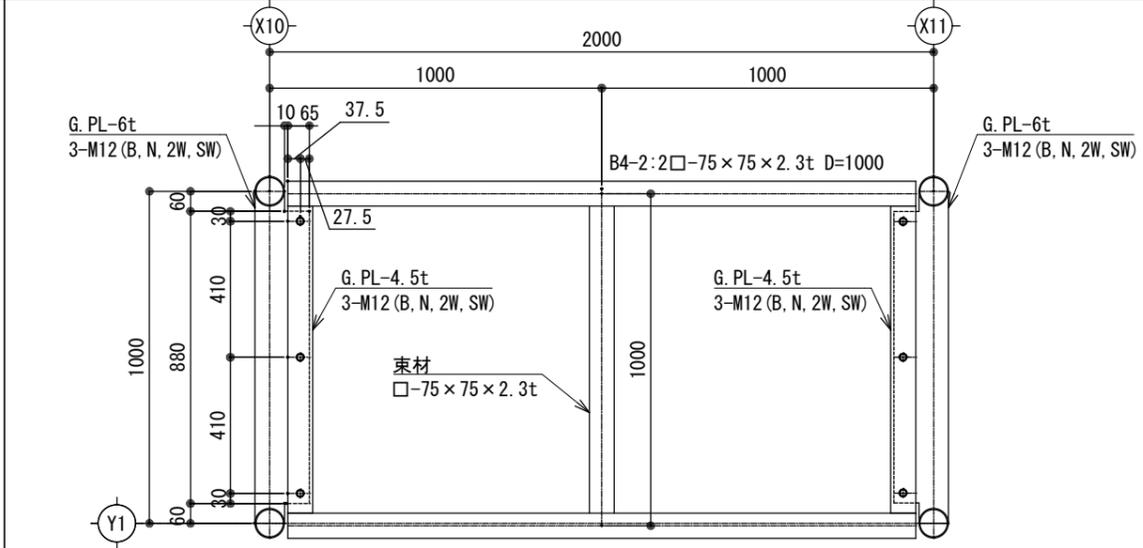
B5 桁裾胴縁 一般部 継手詳細図 S=1/10



B6 妻裾胴縁 一般部 継手詳細図 S=1/10

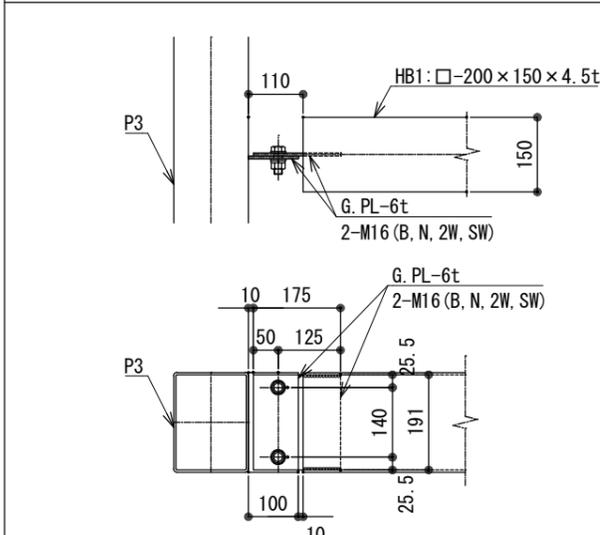


B4-2 継手詳細図 S=1/15

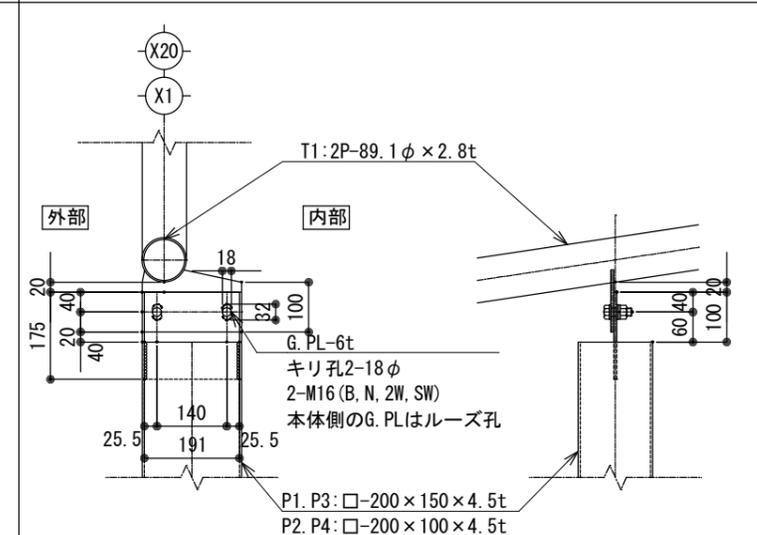


※P1, P3も同様の取り合い

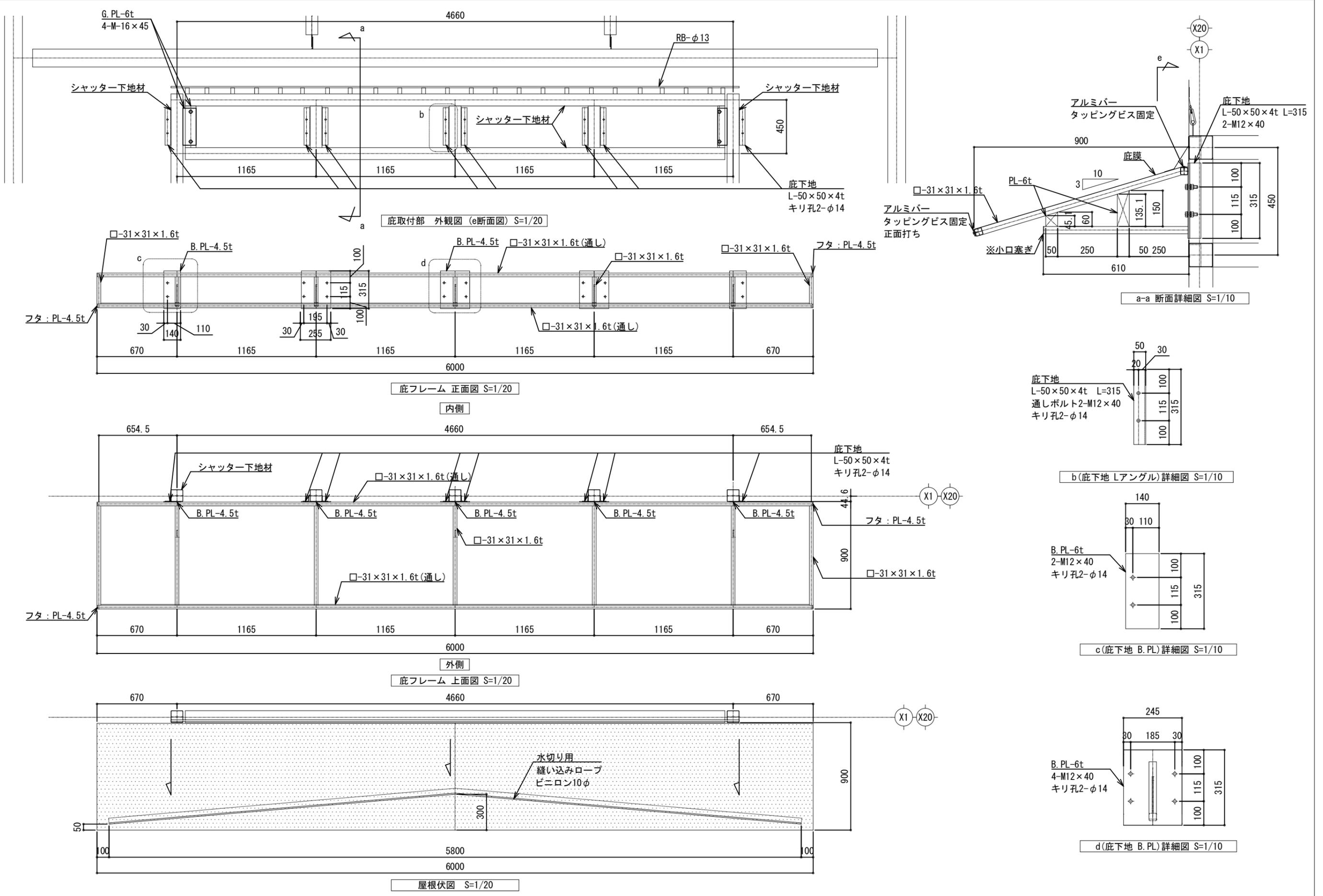
HB1 継手詳細図 S=1/10



P1, P2, P3, P4 継手詳細図 S=1/10

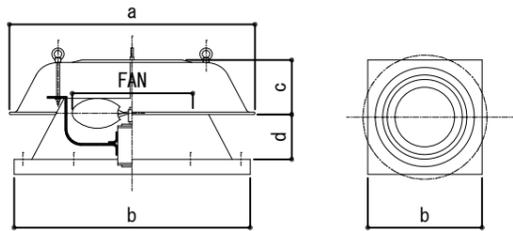


竣工図 承認 作成 令和8年1月	訂正 訂正 訂正 訂正	特記 特記 特記 特記	課長	主査等	担当者	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 継手詳細図(2) (倉庫棟) 縮尺 S=1/10(A2), S=1/15(A2)	図面番号 S-12 枚数 1/1



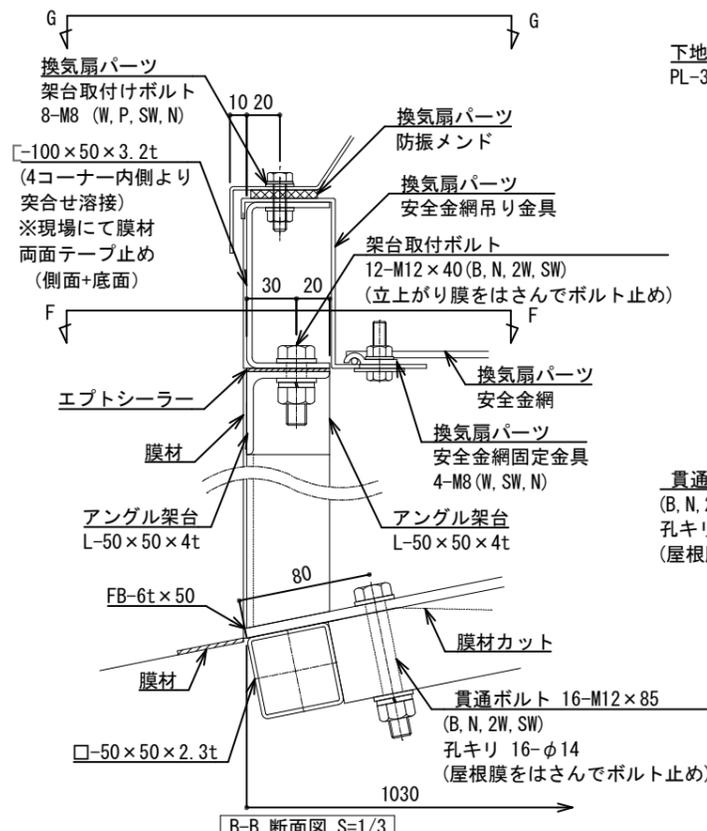
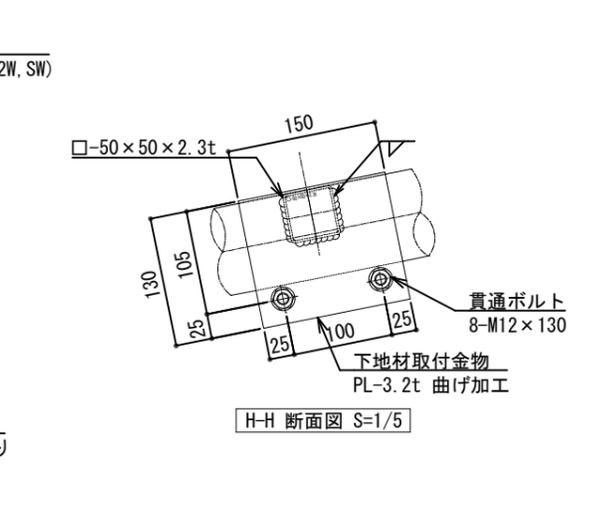
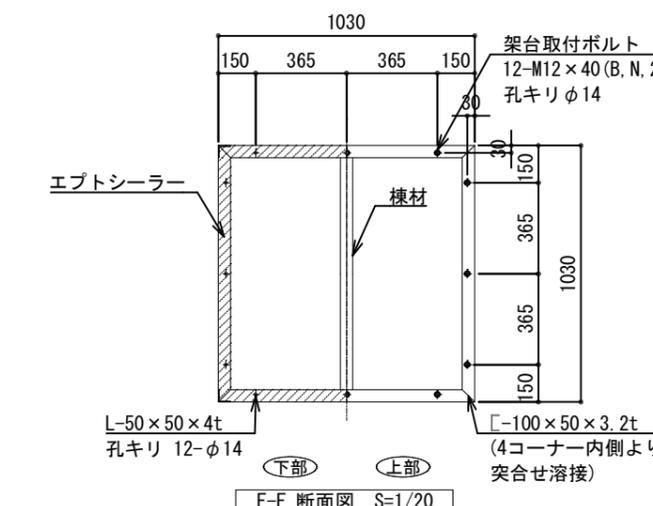
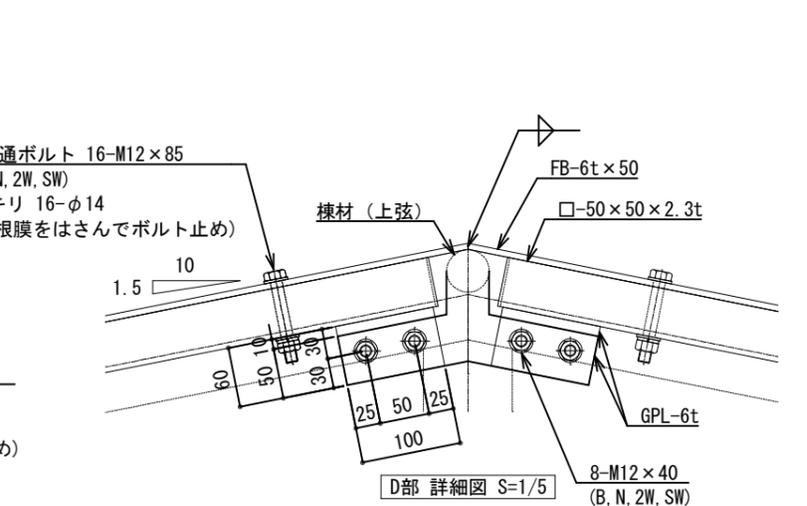
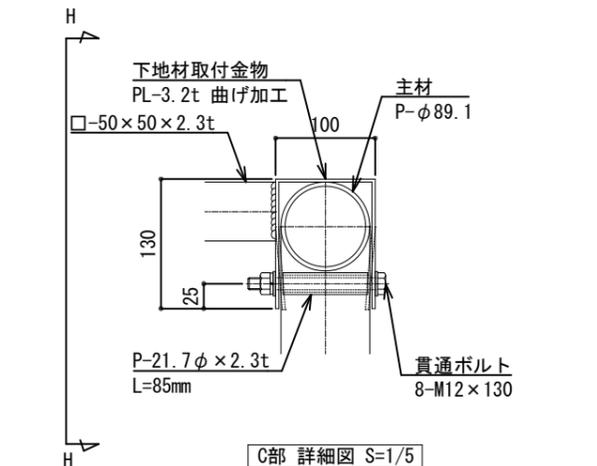
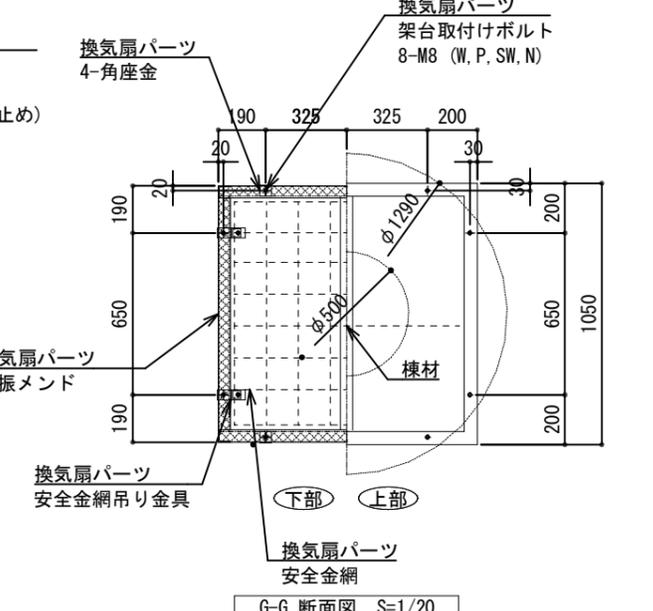
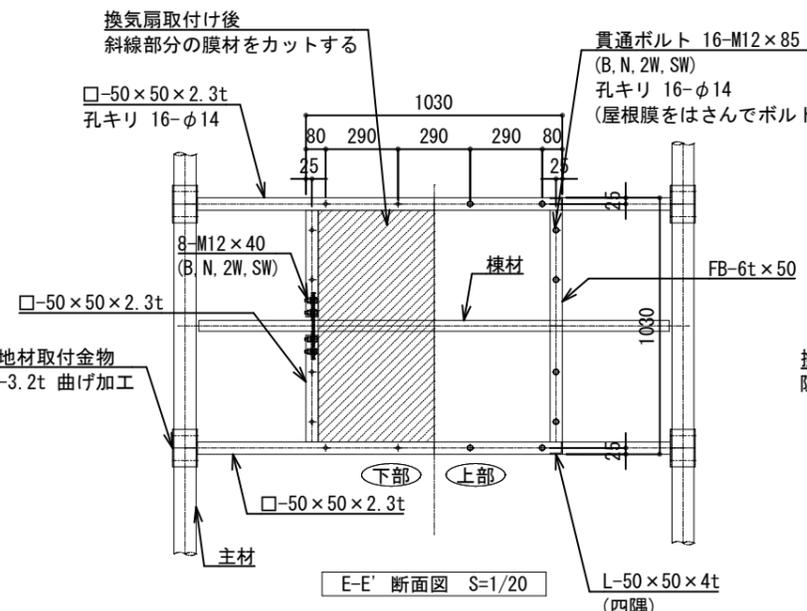
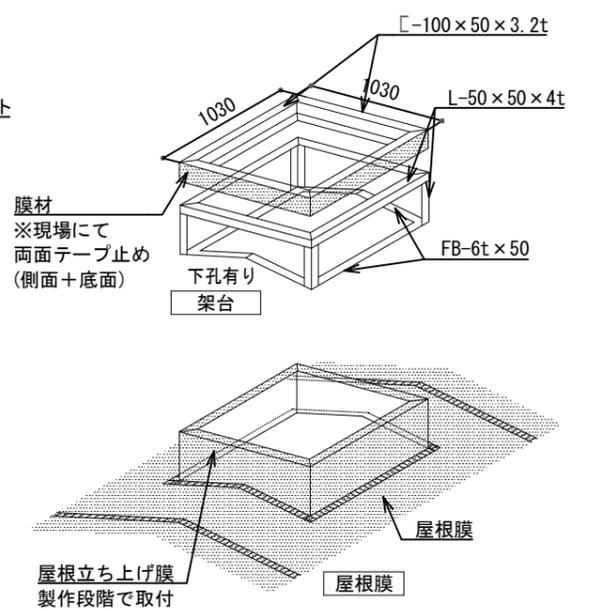
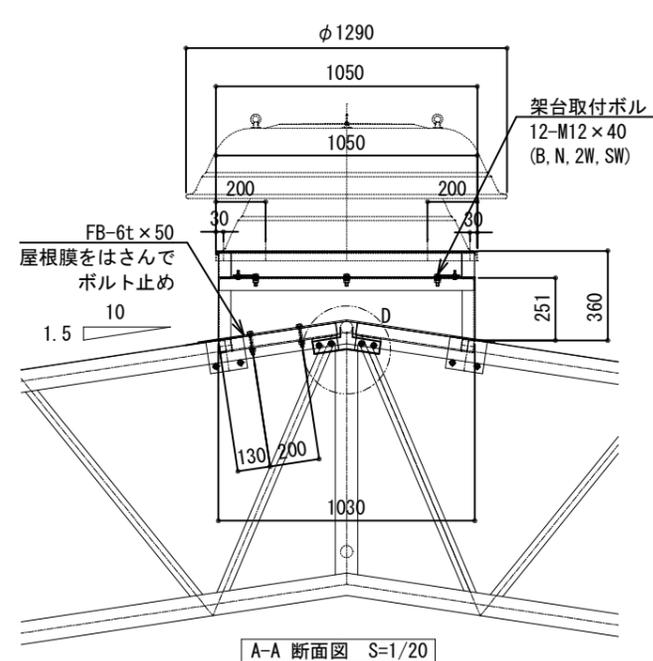
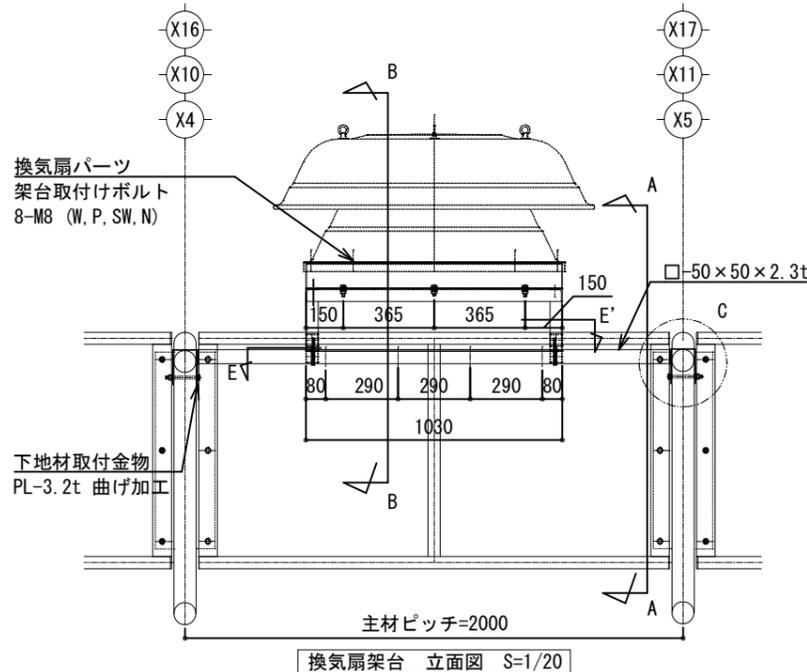
図面内容 底詳細図 (倉庫棟) 縮尺 S=1/10 1/20(A2)	課長	主査等	担当者	図面番号 S-13
	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 校ノ内 区分			図面番号 S-13
竣工 令和8年1月	訂正	特記		

Ultra Ace ルーフファン 強制換気タイプ



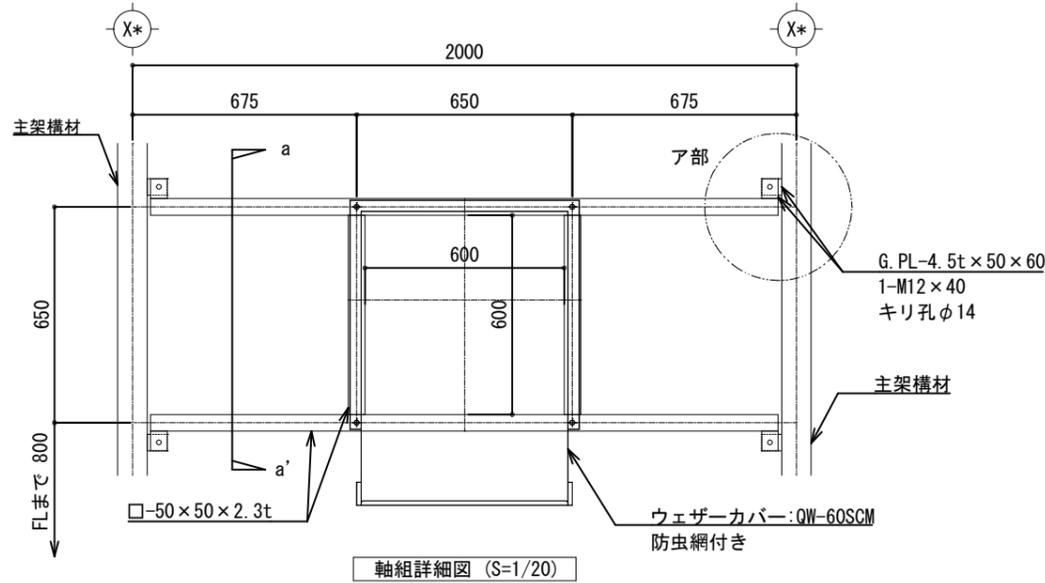
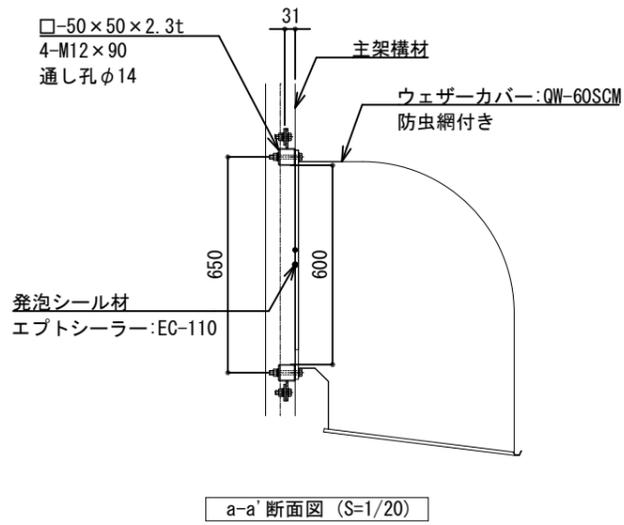
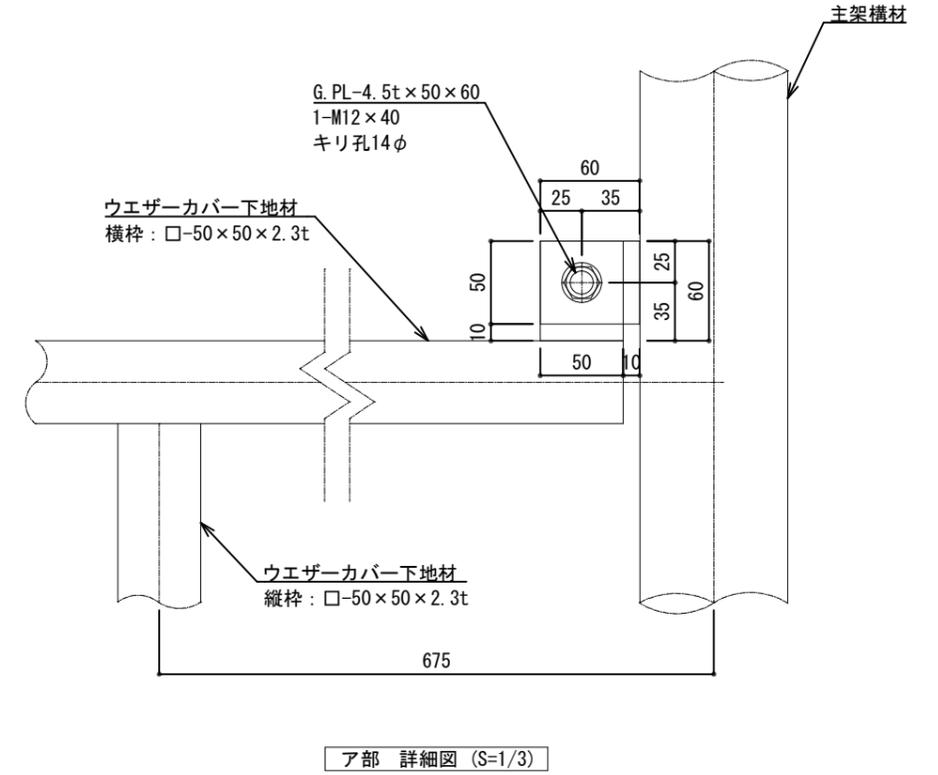
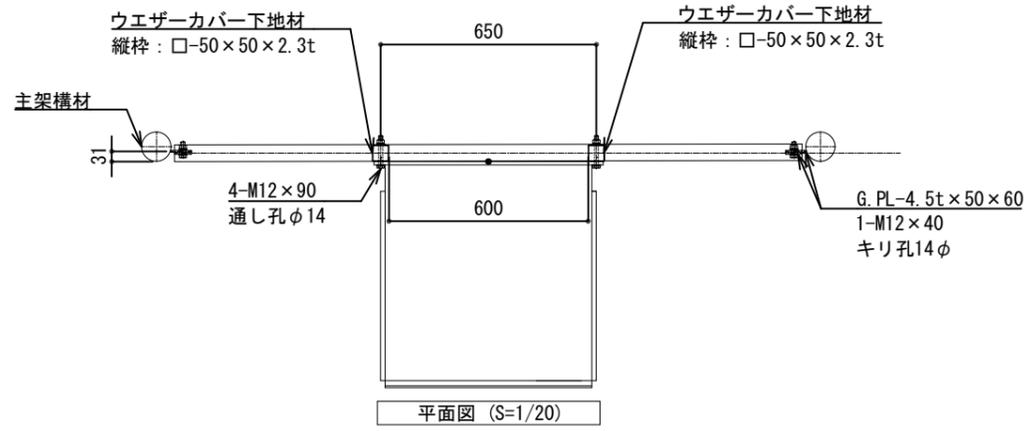
仕様	型式	UAF-60EG3M
	電源	三相 200V
	出力	0.4 KW
	定格電流 (50Hz/60Hz)	三相 2.8 A/2.6 A
		■ 防虫網 (16メッシュ)
	ファン径 (mm)	600
各部規格 (mm)	a	1290
	b	1050
	c	302
	d	(210)
	本体重量 (kg)	(49)
発注台数		3 台

- 特記事項
- ・電源について
UAF-30, UAF-40, UAF-50のみ三相200V, 単相100Vどちらか選択できます。UAF-60については、三相 200Vとなります。
 - ・性能は、メーカー仕様による。
 - ・配線、取付けは、メーカー仕様により行うこと。
 - ・本図面は、設備図面を含まず。



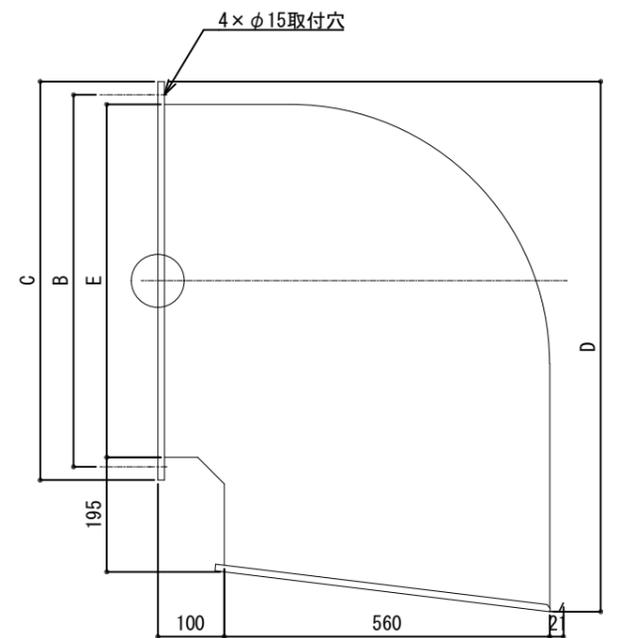
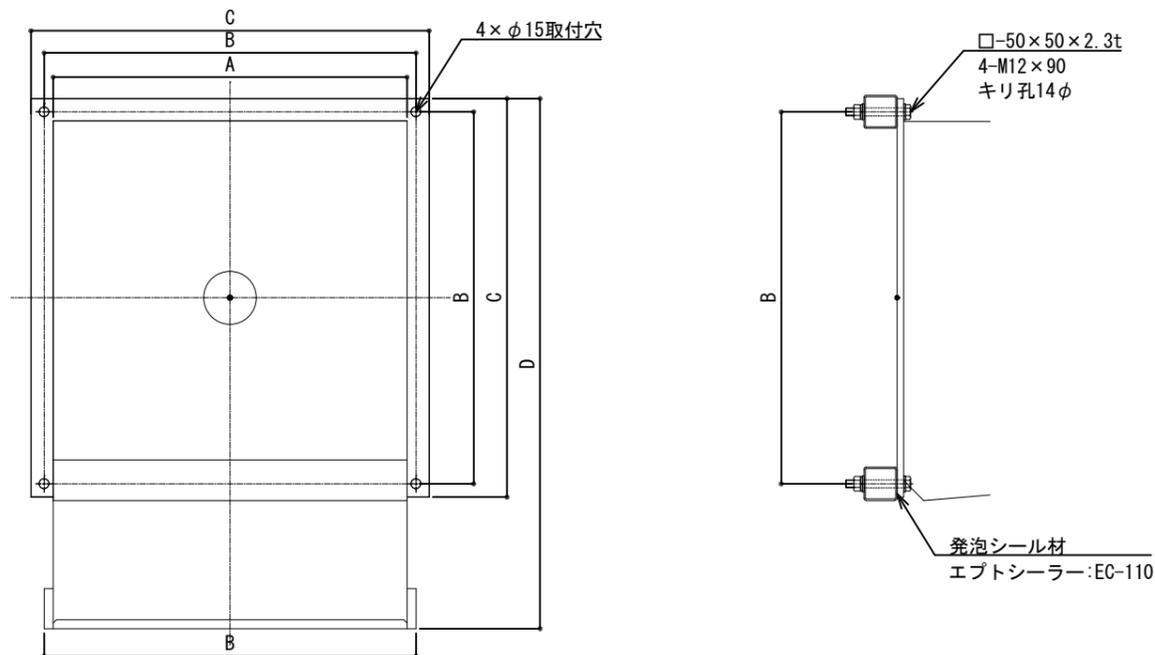
図面内容	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 ベンチレーター 詳細図 (倉庫棟)	図面番号	S-14
縮尺	S=1/3, 5, 20 (A2)	校/内 区/分	
課長		主査等	
担当者			
特記			
訂正			
竣工			
製図	令和8年1月		

給排気口枠 仕様	
三菱有圧換気扇用 ウェザーカバー SUS製 防虫網付	
型名	QW-60SCM
網仕様	エキスパンドメタル (SUS304)
数量	10 カ所

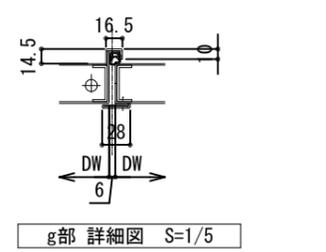
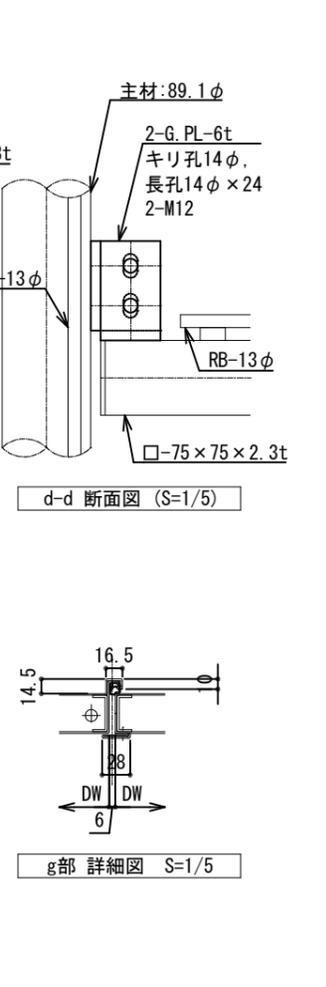
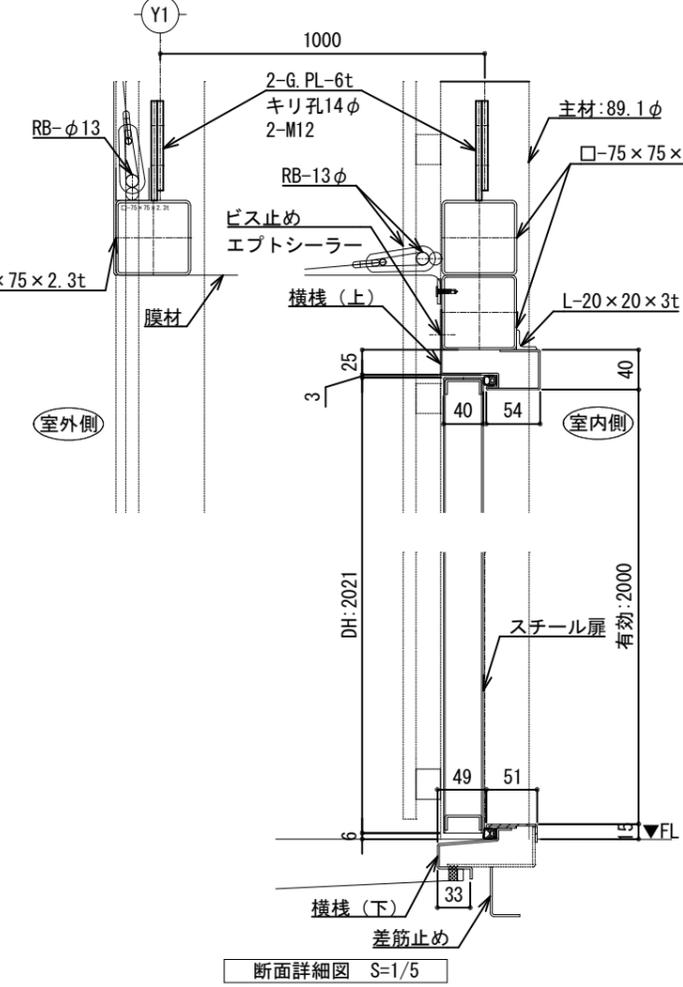
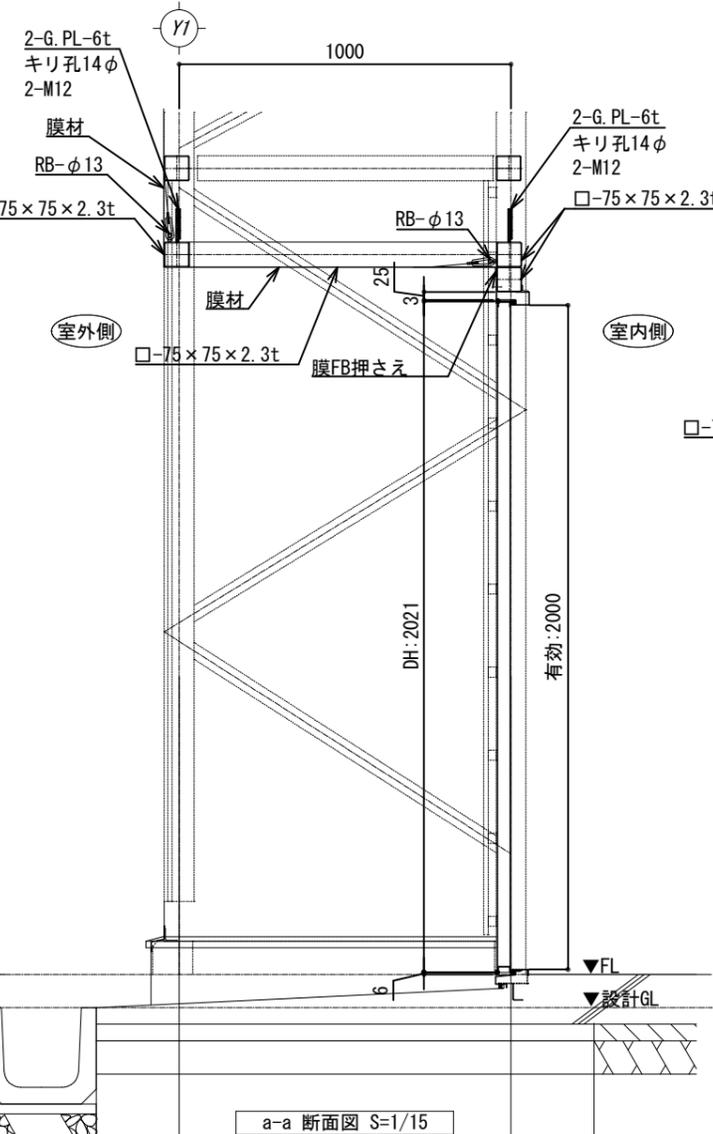
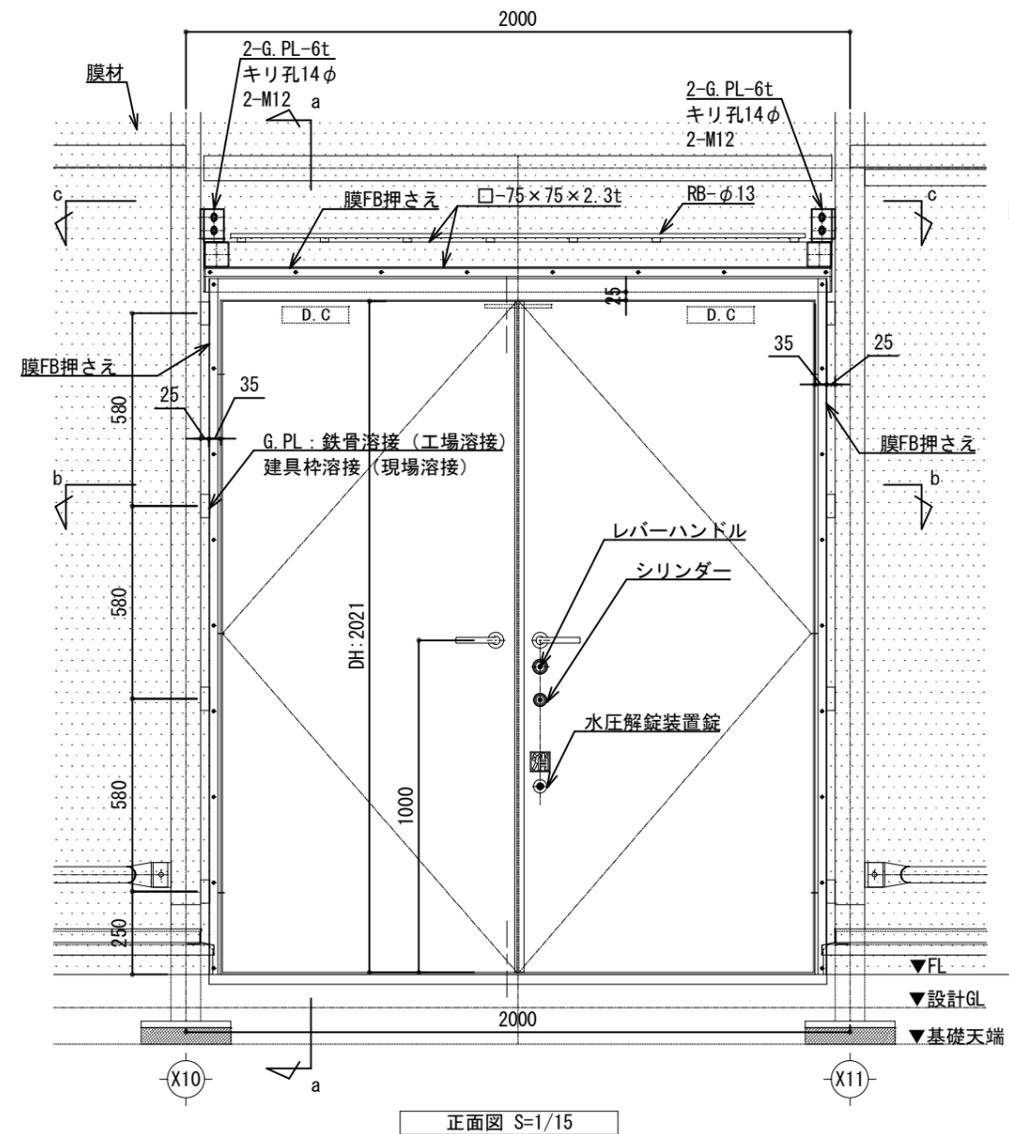
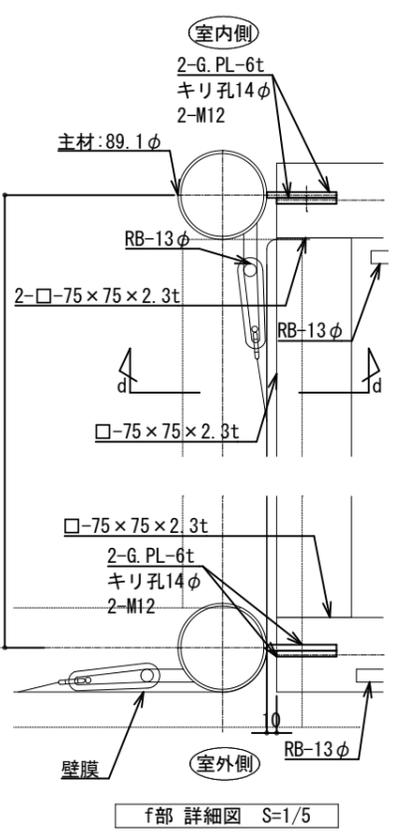
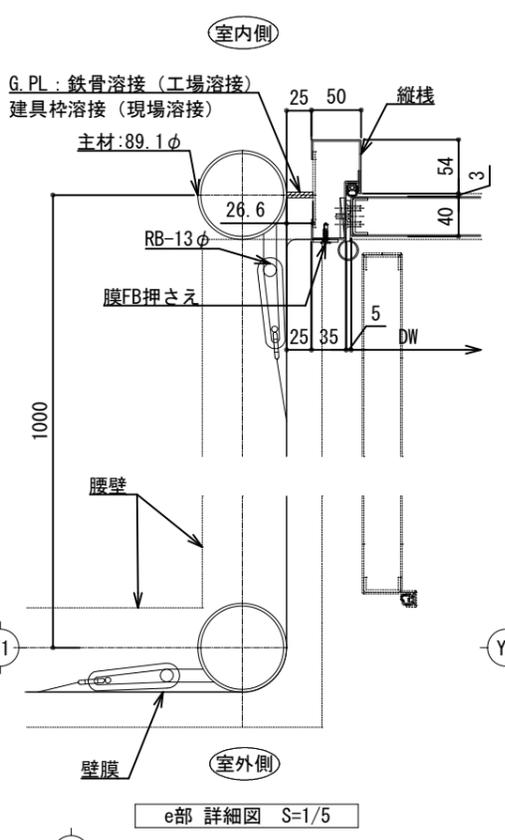
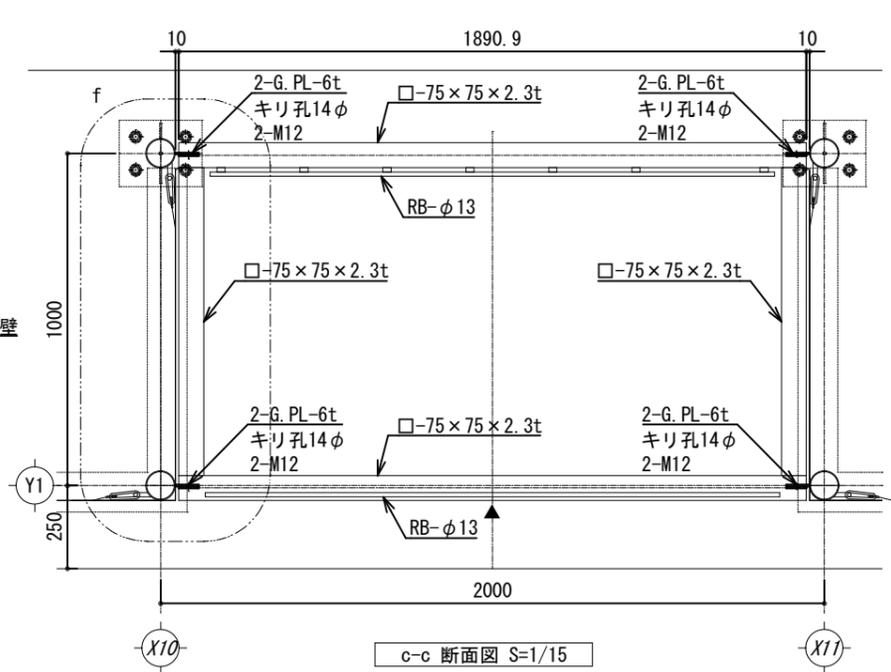
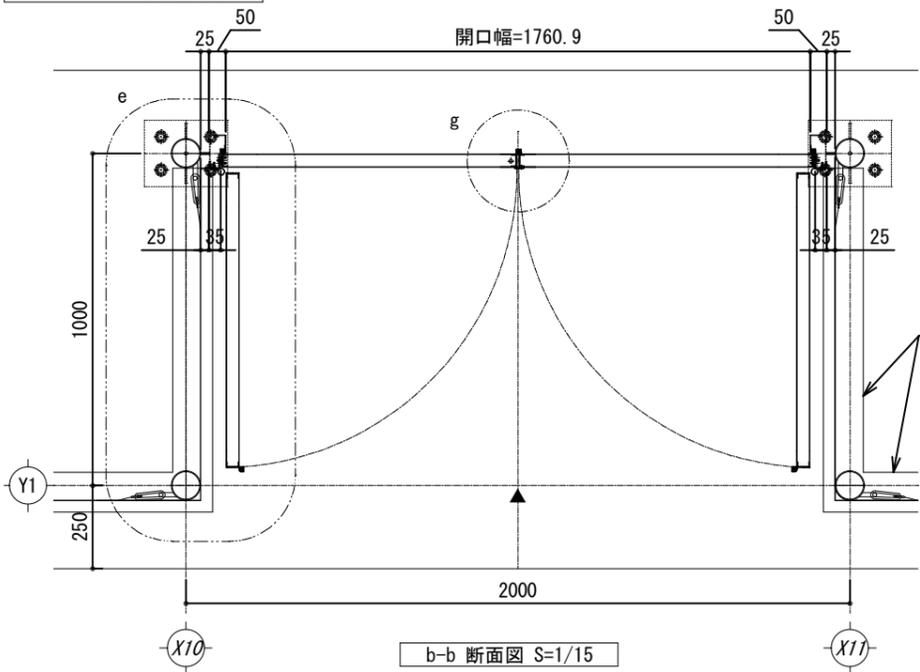


取付図

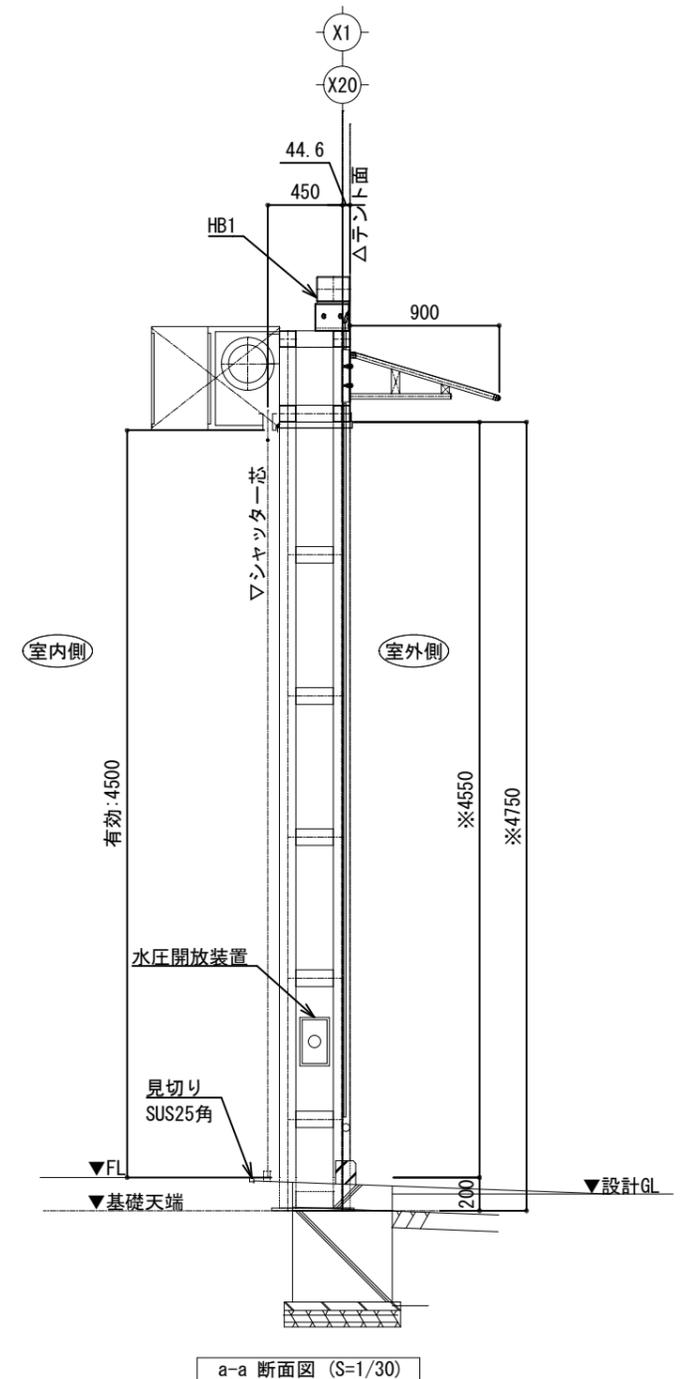
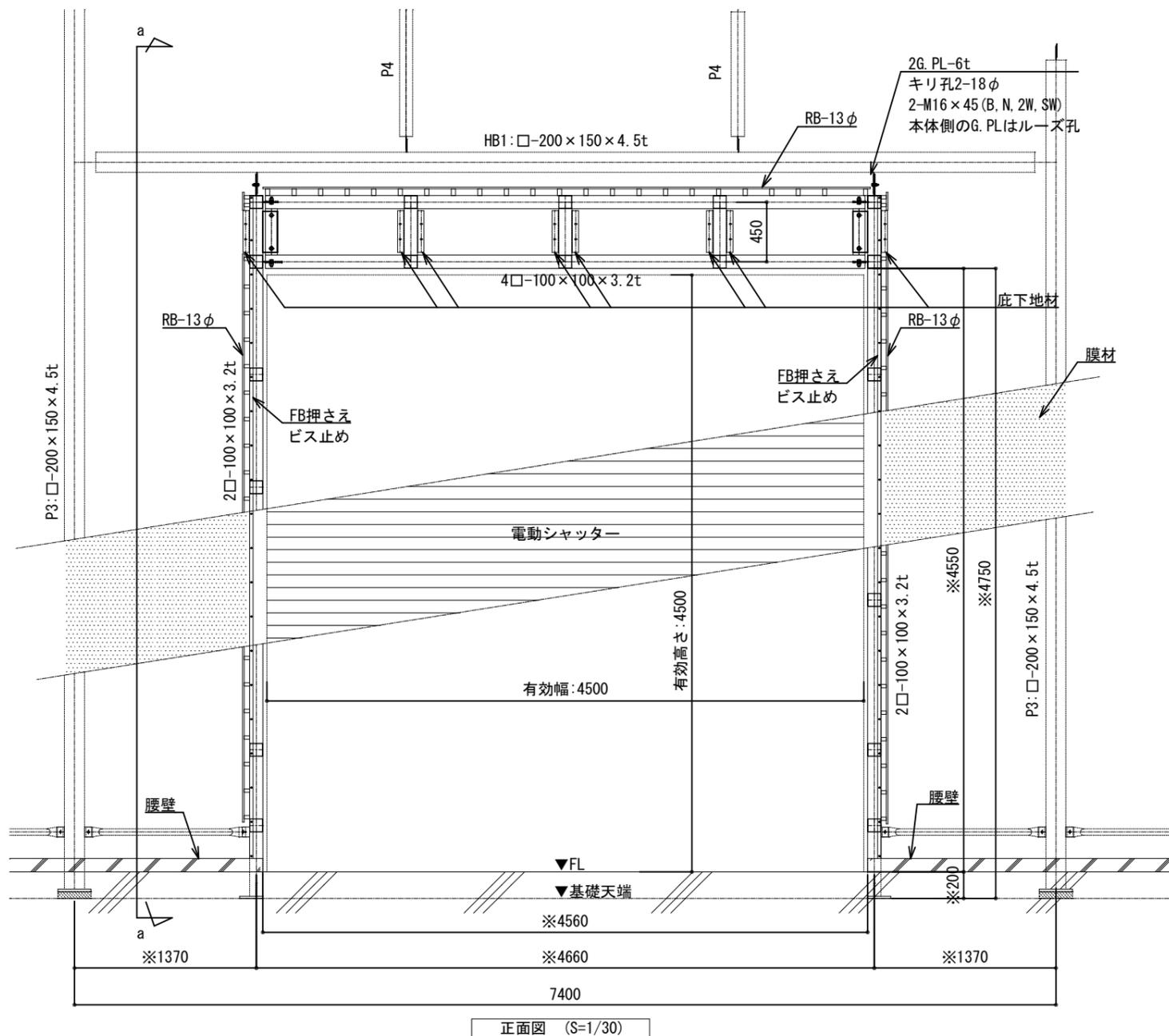
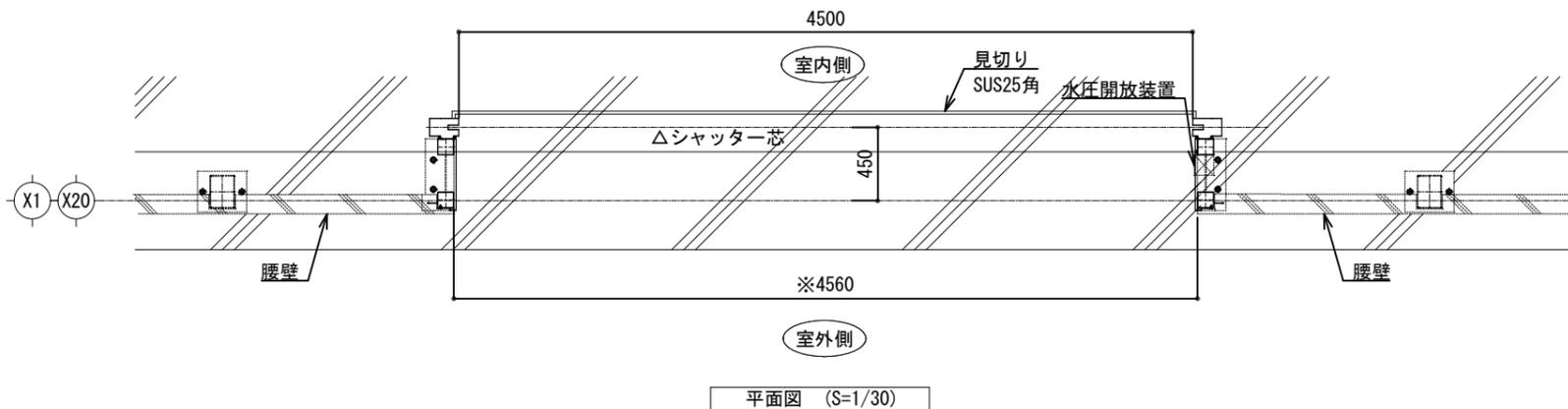
記号	QW-60SCM	
寸法 (mm)	A	623
	B	650
	C	690
	D	919
	E	620



校 図 製 図	令和8年1月	竣工	/	訂正	特 記	課長	主査等	担当者	図 面 内 容 S=1/3 1/20(A3)	(仮称) 防災備蓄基地新築工事	図 面 番 号 S-16
		承認	/	校 内 区 分							
		作成	/							校 内 区 分	

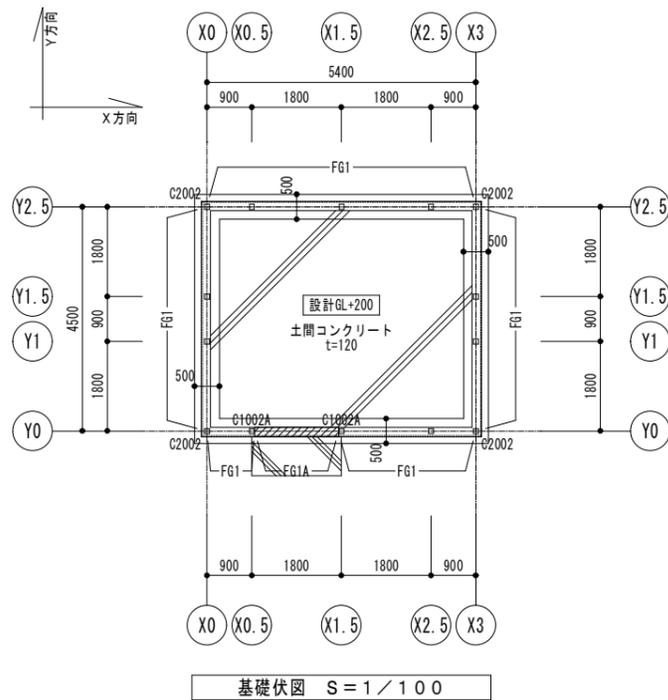


図面内容 SD-2 スチール両開き扉詳細図 (倉庫棟) 縮尺 S=1/5, 15(A2)	課長	主査等	担当者	図面内容	(仮称) 防災備蓄基地新築工事	図面番号 S-18 棟内 区分
				図面内容	SD-2 スチール両開き扉詳細図 (倉庫棟)	
				縮尺	S=1/5, 15(A2)	
竣工 令和8年1月	訂正	特記	備考	設計	監工	図面番号 S-18



※:三方枠の納まりによっては寸法が変更となる場合があります

図面内容 図面番号 S-19	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 シャッター部分詳細図 (倉庫棟) 校ノ内 区分	課長 主査等 担当者	特記 三和シャッター] ブロード SB20形 A6K 0.8mm 非常電源装置・水圧開放装置 (WS-2型) スイッチボックス	訂正	竣工	令和8年1月
				図面番号 S=1/30(A2)		

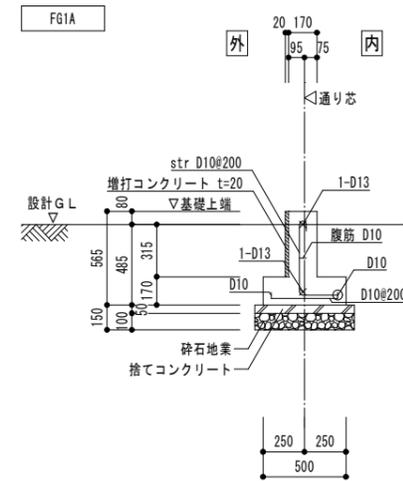
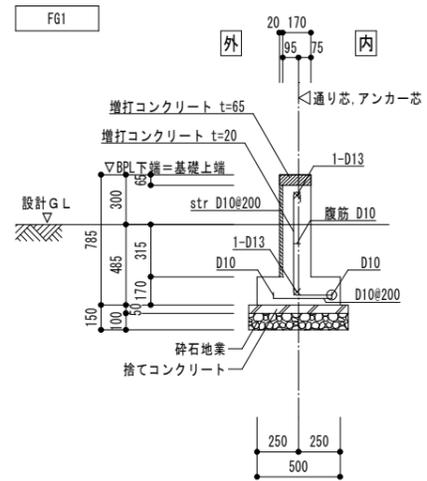


基礎伏図 S=1/100

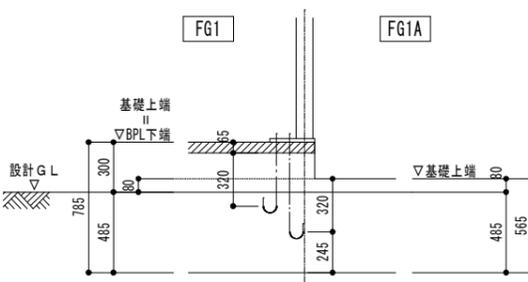
凡例：特記無き場合下記による

- 特記無き柱は、C1002 とする。
- は、土間コンクリートを示す。
- は、立上り落とし部を示す。
- 内数値は、土間天端を示す。
- 1FL=設計GL+200 とする。
- 基礎下端レベルは、設計GL-485 とする。

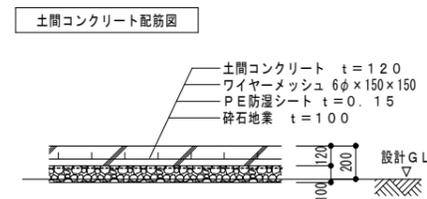
※地耐力は 30kN/m² を確保できるよう、転圧を行い確認すること。



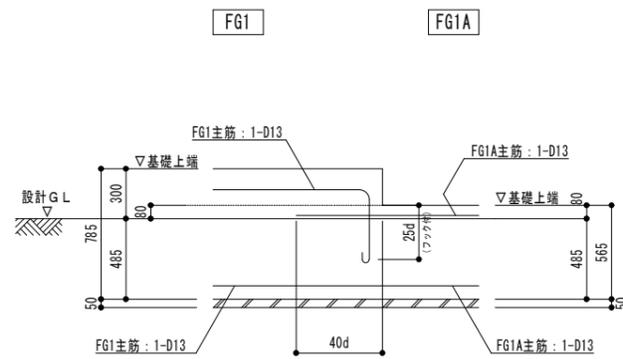
アンカーボルト(C1002A) 取合い図



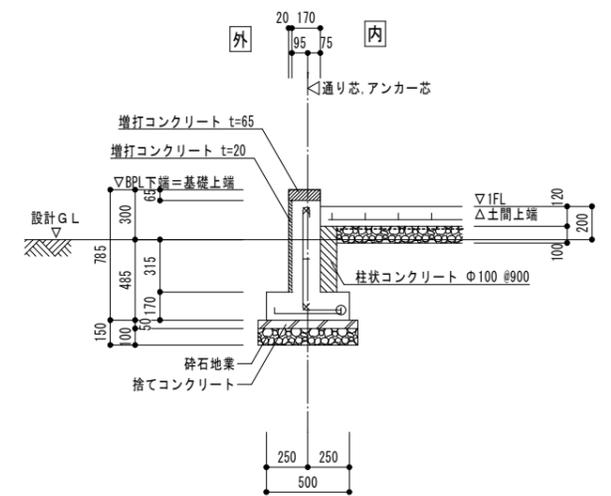
〔註〕基礎落とし部のアンカーボルトは成の低い梁の天端から必要定着長をとる事。



基礎梁段差部鉄筋定着長さ

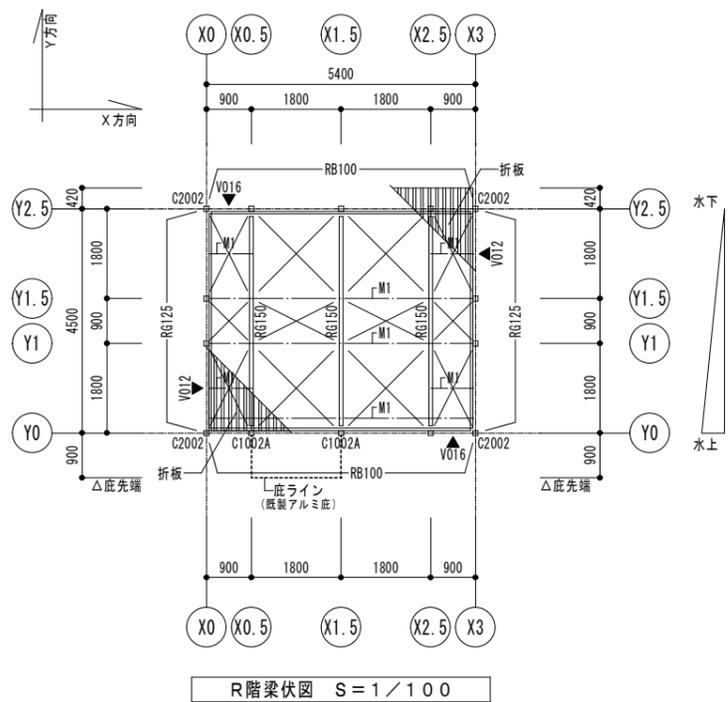


基礎-土間 取合い図



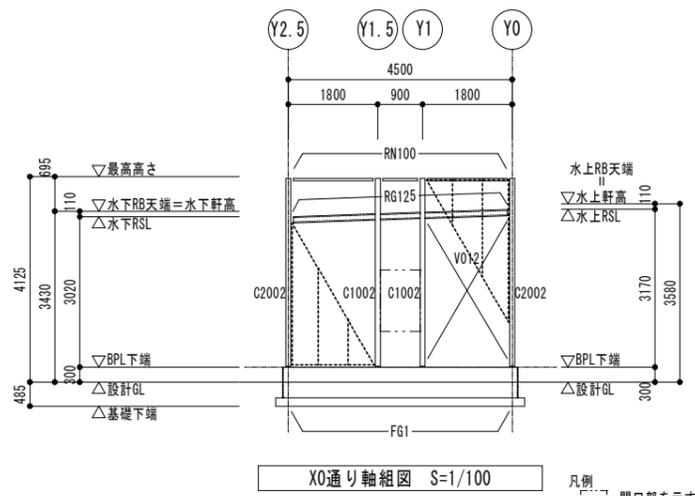
基礎リスト S=1/30

竣工 令和8年1月	竣工 令和8年1月	訂正	特記	課長 . . .	主査等 . . .	担当者 . . .	図面内容 (仮称) 防災備蓄基地新築工事 基礎伏図・基礎リスト(事務所棟)	図面番号 S - 21
							補尺 S=1/100・1/30 (A2)	

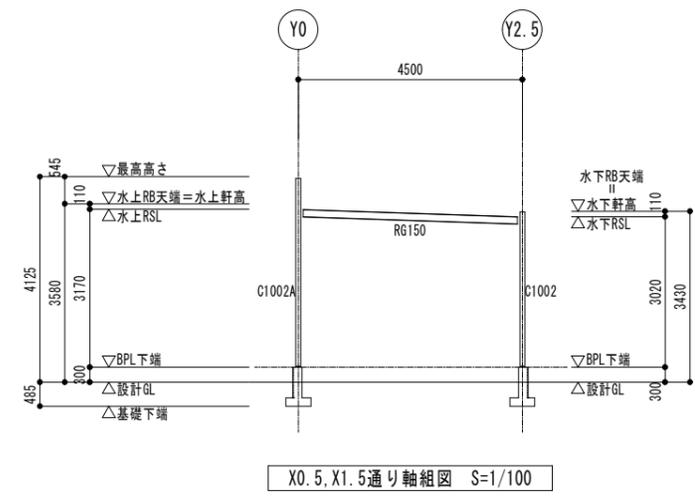


凡例：特記無き場合下記による

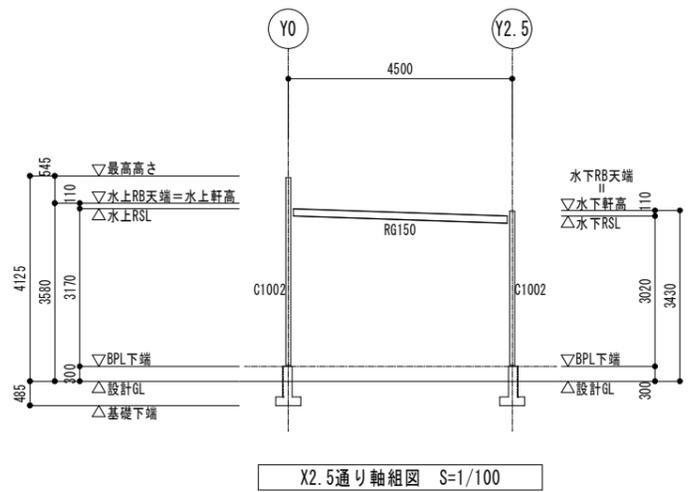
- 特記無き柱は、C1002 とする。
- 特記無き水平ブレースは、V012(M12) とする。
- — — は、母屋 (M1) を示す。
- 建屋屋根勾配は、大梁にて構成する。
- 建屋屋根は、折板屋根とする。



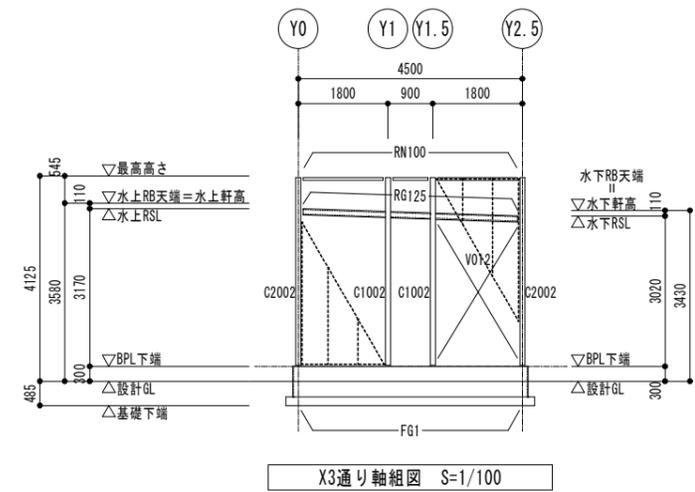
凡例
[]: 開口部を示す



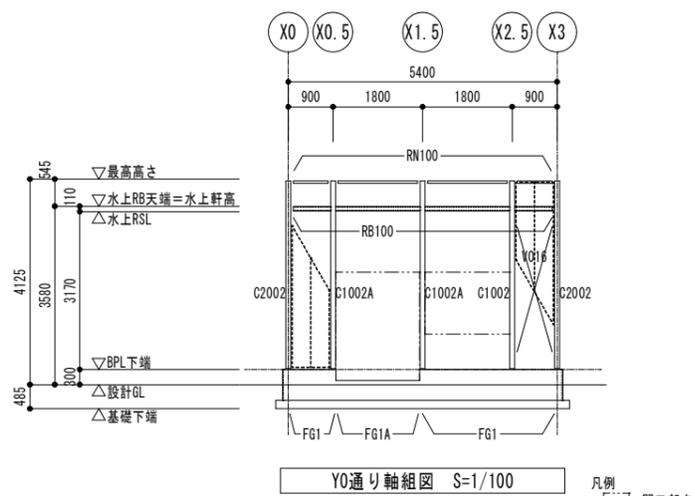
X0.5, X1.5通り軸組図 S=1/100



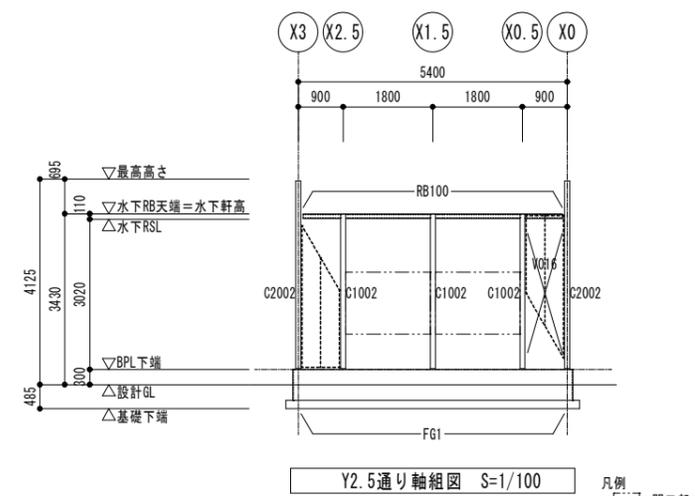
X2.5通り軸組図 S=1/100



X3通り軸組図 S=1/100



凡例
[]: 開口部を示す



凡例
[]: 開口部を示す

竣工 令和8年1月	竣工 令和8年1月	訂正	特記	課長	主査等	担当者	(仮称) 防災備蓄基地新築工事	図面番号 S-22
							R階梁伏図・軸組図(事務所棟)	
							補尺 S=1/100 (A2)	図面区分

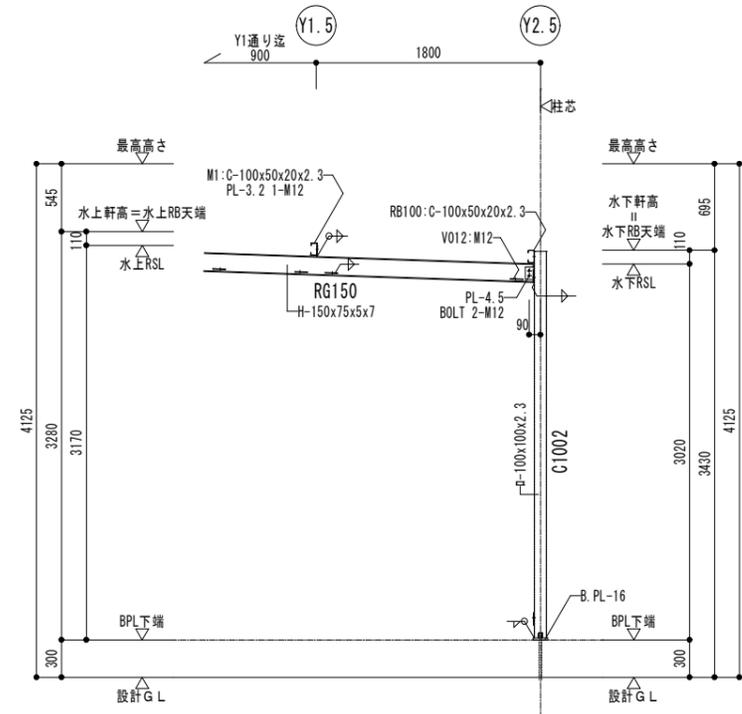
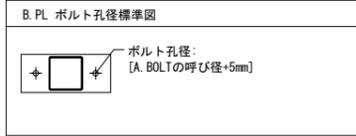
鉄骨部材リスト S = 1 / 15 ※特記なき接合部ボルトは中ボルトとする。中ボルトには戻り止め(スプリングワッシャー)を使用する。

符号	C1002	C1002A	C2002	R1
仕口				
細長比	$\lambda = 79.8$	$\lambda = 79.8$	$\lambda = 79.8$	
部材	□100×2.3	□100×2.3	□100×2.3	□100×2.3
材質	STKR400	STKR400	STKR400	STKR400
ベースプレート	PL-16 (SS400)	PL-16 (SS400)	PL-16 (SS400)	PL-6 (SS400)
アンカーボルト	2-M16 L=320 (SNR400B) ダブメット	2-M16 L=320 (SNR400B) ダブメット	2-M16 L=320 (SNR400B) ダブメット	2-M16
備考	柱口100×2.3 (一般部)	柱口100×2.3 (出入口脇柱)	柱口100×2.3 (出隅部)	柱口100×2.3 (開口梁上部)

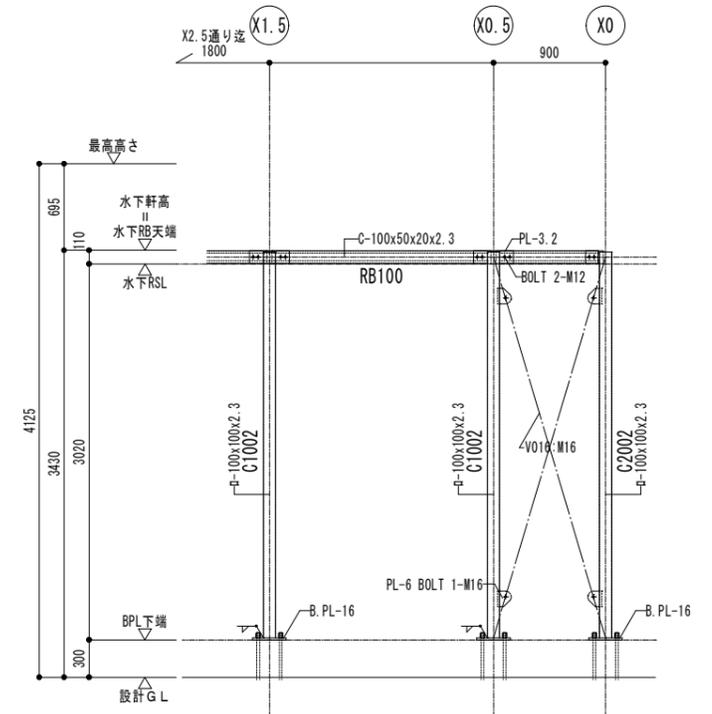
符号	RG150	RG125	RB100
仕口			
部材	H-150×75×5×7	C-125×50×20×2.3	C-100×50×20×2.3
材質	SS400	SSC400	SSC400
接合プレート	PL-4.5 (SS400)	PL-3.2 (SS400)	PL-3.2 (SS400)
接合ボルト	2-M12	2-M12	2-M12
備考	小梁	小梁	小梁

符号	RN100	縦胴縁	縦胴縁2	胴縁受け材	開口上下水平材
仕口					
部材	C-100×50×20×2.3	C-75×45×15×2.3	#600	2C-75×45×15×2.3	2C-75×45×15×2.3
材質	SSC400	SSC400	SSC400	SSC400	SSC400
接合プレート	PL-3.2 (SS400)	PL-3.2 (SS400)	PL-3.2 (SS400)	PL-3.2 (SS400)	PL-3.2 (SS400)
接合ボルト	1-M12	1-M12	1-M12	1-M12	1-M12
備考	笠木受け・胴縁受け材	縦胴縁	縦胴縁	胴縁受け材	開口補強材

符号	V016	V012	M1	折板
仕口				
部材	M16 プレース	M12 プレース	C-100×50×20×2.3	H=90 t=0.6 (ハゼ式)
材質	SNR400B	SNR400B	SSC400	ガルバリウム鋼板
接合プレート	PL-6 (SN400-B)	PL-6 (SN400-B)	PL-3.2 (SS400)	
接合ボルト	F8T又は10.9(支圧接合) 1-M16	F8T又は10.9(支圧接合) 1-M16	1-M12	
備考	壁プレース	壁プレース・水平プレース	母屋	建屋屋根



X0.5通り架構詳細図 S=1/40



Y2.5通り架構詳細図 S=1/40

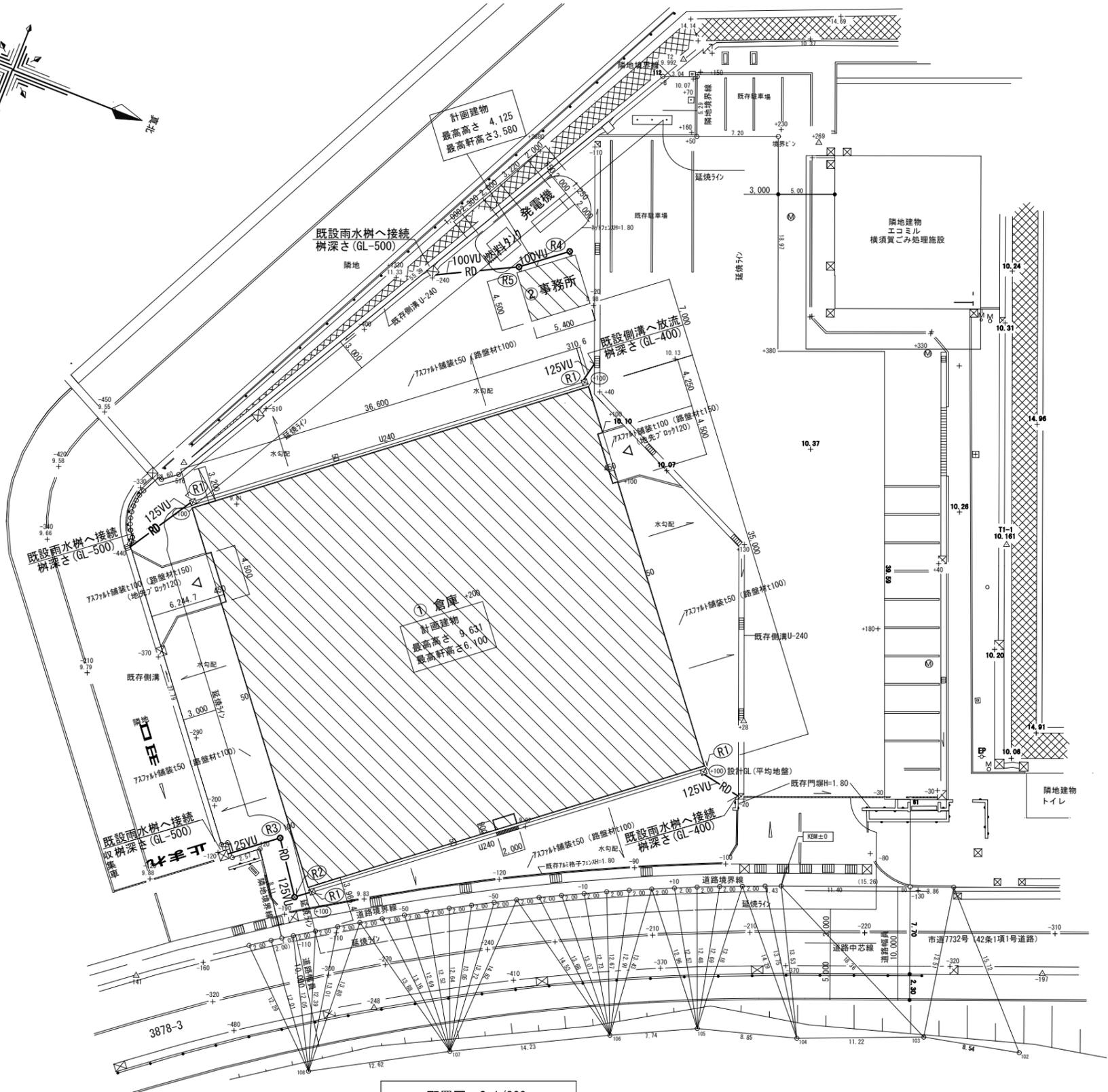
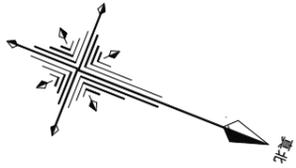
竣工	保管	訂正	特記	課長	主査等	担当者	図面内容	図面番号
令和8年1月	/	/	/				(仮称) 防災備蓄基地新築工事 部材リスト・架構詳細図(事務所棟)	S-23
							補尺 S=1/15・1/40 (A2)	図面区分

工事区分表 (各工事は○印の付いたものを適用する。)													
項目		建築	電気	機械	別	備考	項目		建築	電気	機械	別	備考
躯体関係						屋外排水設備・外構							
1. RC造(壁・床・梁)の貫通孔・開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け		○	○			1. 雨水	U字側溝及び蓋	○				
	補強を要する型枠材及び取付け	○						U字側溝接続樹	○				
	補強を要しない型枠材及び取付け		○	○				地盤面までの雨水縦樋	○				
	貫通孔・開口部の墨出し		○	○				地盤面以降の雨水管			○		
	貫通孔・開口部の補強	○						屋外雨水排水樹及び樹蓋			○		
2. 設備機器の基礎・架台	ルーフファン取付け用架台	○					屋外雨水排水設備残土処分(場外搬出)	○					
	ルーフファン本体、取付け用アンカー			○									
内装・仕上げ関係						2. 雑排水・汚水	該当なし						
1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○											
	補強を要しないボードの切り込み		○	○									
	開口部の墨出し		○	○									
2. つりボルト及びあと施工アンカー	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○									
3. 外壁まわり	ベントキャップ(排気用)			○				電気配線配管					
	給気口(室内グリル共)	○						機器への1次側電源供給配管配線		○			
	エアコン用スリーブ(内外キャップ共)	○						一般換気扇のスイッチ及び渡り配管配線		○			
	給気用ウエザーカー	○						機器と附属操作スイッチの渡り配管配線		○			付属スイッチ支給
	給気用ウエザーカー取付	○											
4. 防火、防犯	消火器本体	○											
	消火器BOX設置	○											
	自動火災報知		○										
5. その他	点検口(天井・床下)	○											
	貫通部穴埋め補修		○	○								仕上げは建築	
	倉庫棟簡易エアコン(スポットエアコン)				○								
	倉庫棟給排水衛生設備				○								
	事務所棟エアコン				○								
	事務所棟法的換気(24時間換気共)		○										

凡 例			
名称	記号	材質	備考
雨水排水管	— RD —	右記による	100A未満: 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
			100A以上: 硬質ポリ塩化ビニル管(VU)
			小口径塩ビ樹間: 硬質ポリ塩化ビニル管(VU)
雨水樹	⊗	小口径塩ビ製	泥だめ150H以上
排気ダクト	— EA —	右記による	亜鉛鉄板製スパイラルダクト
換気口	PFC	(SUS)・アルミ	パイプフード・(深形パイプフード) 耐外風圧パイプフード 耐重塩害・(指定色塗装)
天井埋込型換気扇	F		
ルーフファン	□		
サーモスイッチ	TS		換気機器付属品

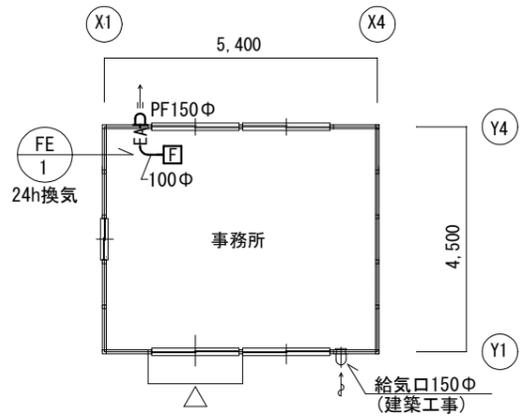
排水樹リスト ※○を適用とする														
記号	内寸法(mm)	深さ(mm)	管底高(m)	地盤高(m)	樹仕様		蓋仕様				耐荷重			備考
					コンクリート製樹	塩ビ製樹	鋳鉄製防臭蓋	防護蓋[T-14](内蓋共)	化粧蓋(仕上り用)	ステンレス製格子蓋	樹脂製蓋	軽耐	中耐	
(雨水樹)														
R1	450□	400	9.70	10.10	○							○		側溝樹(建築工事)×4ヶ所
R2	φ200	330	9.55	9.88		○						○	○	
R3	φ200	420	9.46	9.88		○						○	○	
R4	φ150	300	9.70	10.00		○						○	○	
R5	φ150	390	9.61	10.00		○						○	○	

注記)
 ※ 雨水樹は泥だめ150H以上を設ける。(樹リスト深さは管底高さとする)
 ※ 塩ビ樹蓋は鎖付とする。
 ※ 設計GL ±0 (平均地盤) = 10.00

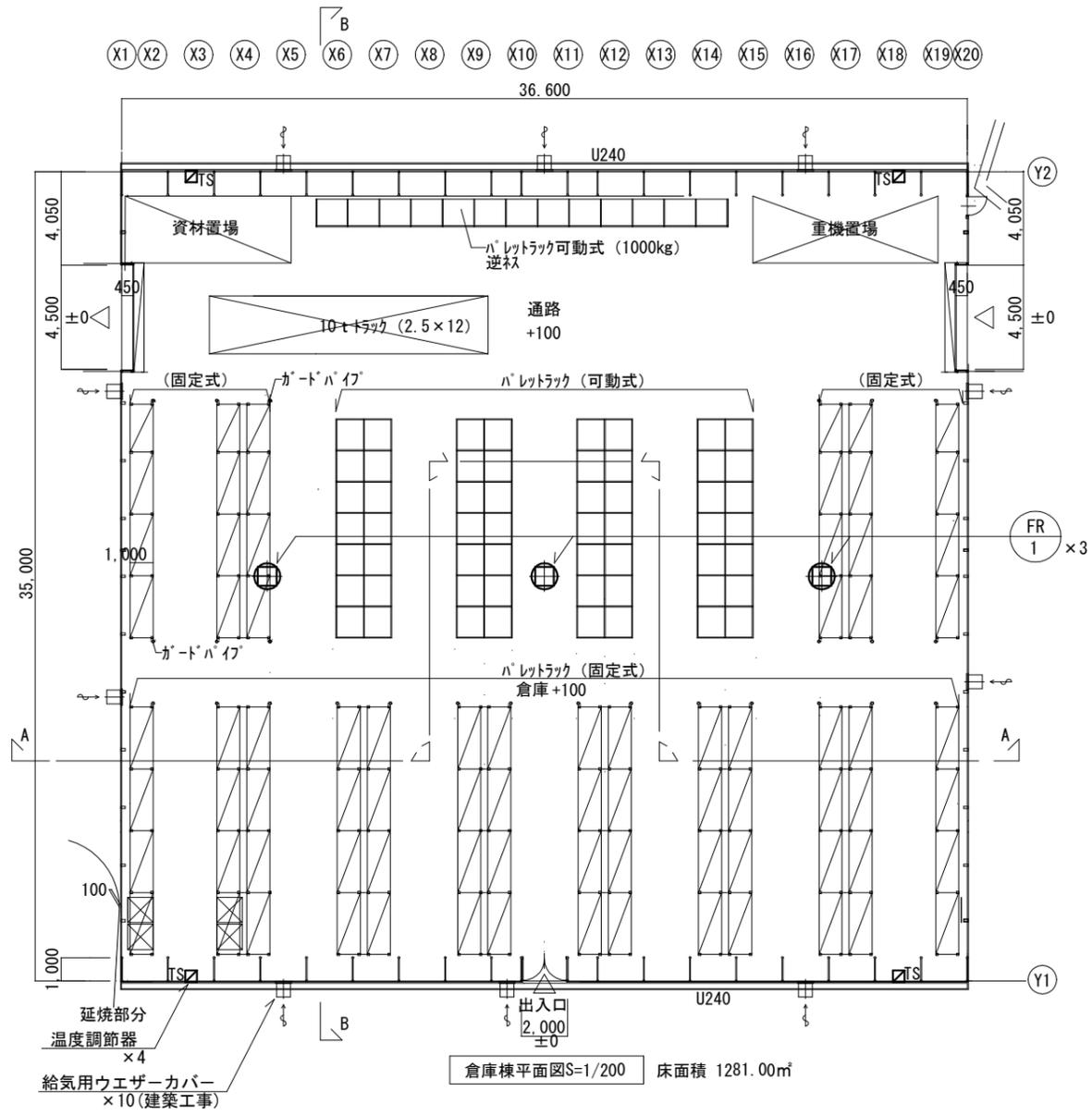


▨ : 計画建物

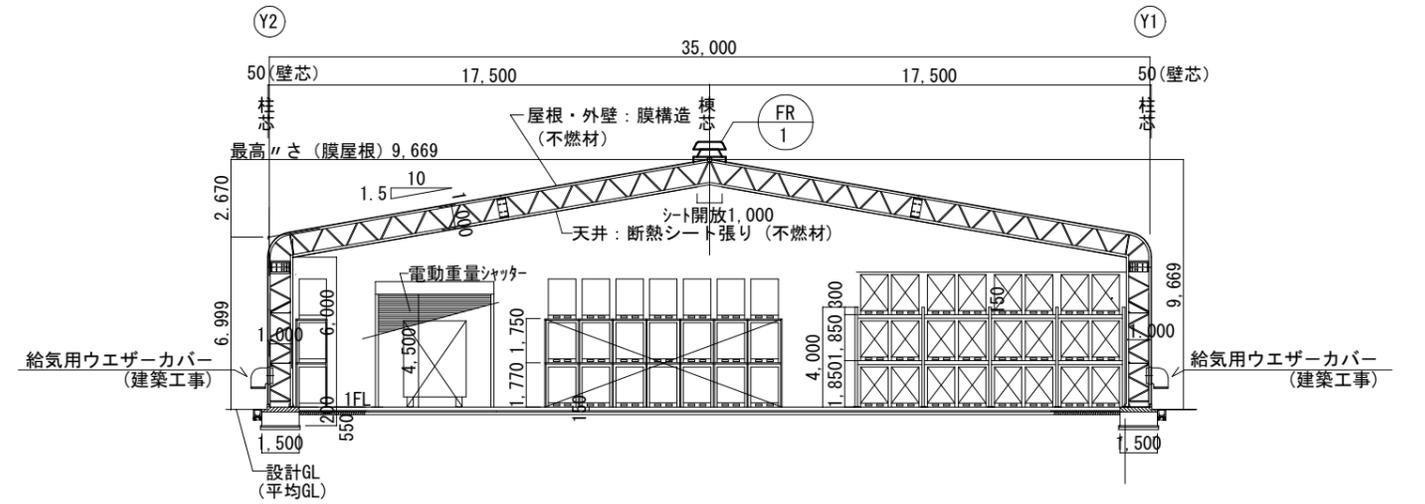
図面内容 配置図 縮尺 S=1/300 (A2)	(仮称) 防災備蓄基地新築工事	図面番号 M - 03 枚/内 区 分
	配置図	
波管 / . . . 承継 / . . . 確認 / . . . 作成 / . . .	訂正	特記
令和 8年 / 1月 . . . 1月 . . .		



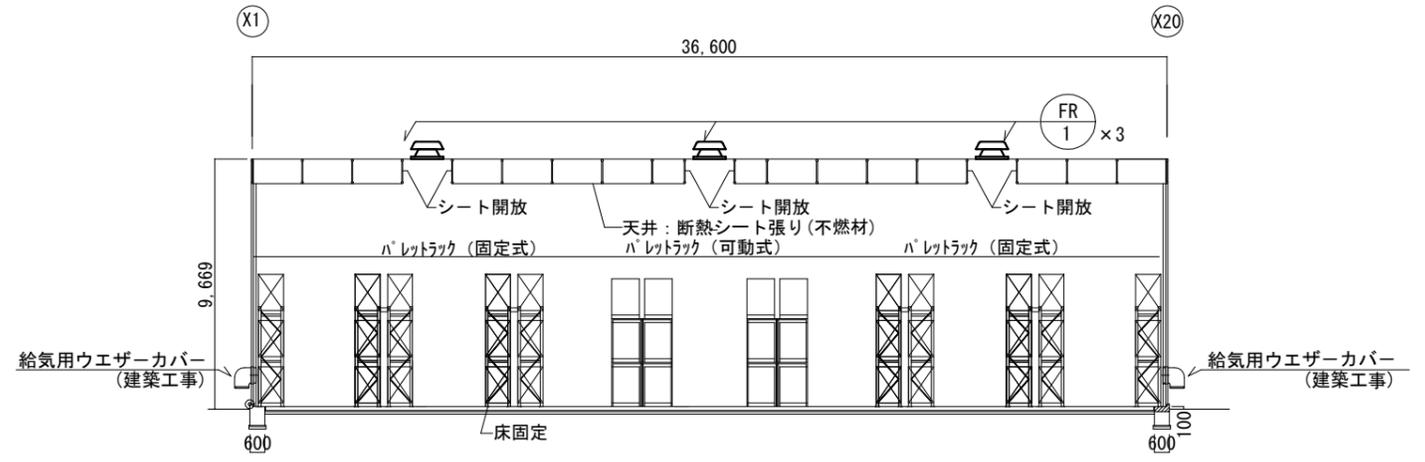
事務所棟平面図S=1/100 床面積 24.30㎡



倉庫棟平面図S=1/200 床面積 1281.00㎡



B~B断面図S=1/200



A~A断面図S=1/200

竣工図 令和8年1月	保管 / . . . 承認 / . . . 確認 / . . . 作成 / . . .	訂正 / . . . 訂正 / . . . 訂正 / . . . 訂正 / . . .	特記 / . . . 特記 / . . . 特記 / . . . 特記 / . . .	(仮称) 防災備蓄基地新築工事 換気設備 倉庫棟・事務所棟 平面図・断面図 S=1/200 (A2)	図面番号 M-05 枚/内 区分
				縮尺 S=1/200 (A2)	図面番号 M-05